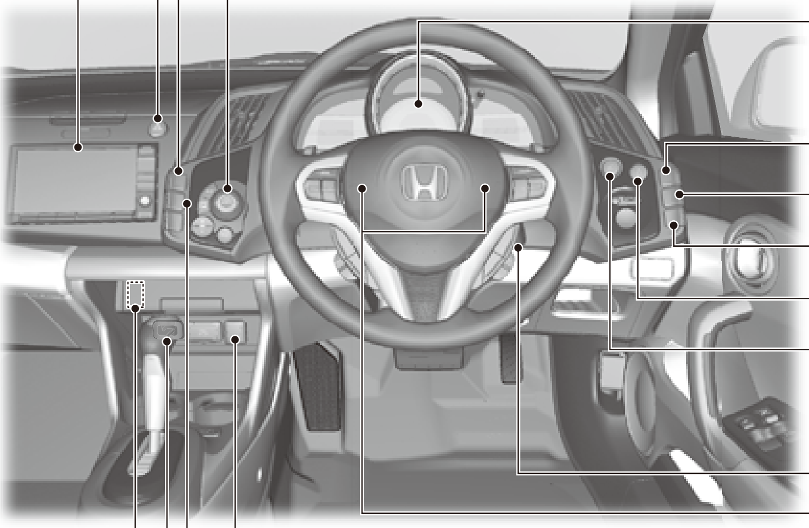
HONDA

CR-Z

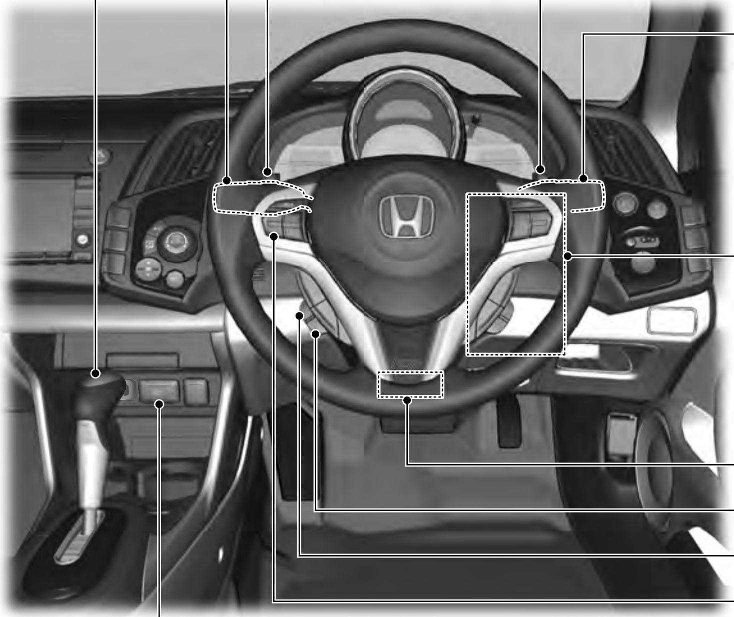
オーナーズマニュアル

クイックガイド
安全なドライブ
計器の見かた
各部の操作
オーディオ
運転
メンテナンス
万一の場合には
資料
索引

ビジュアル目次



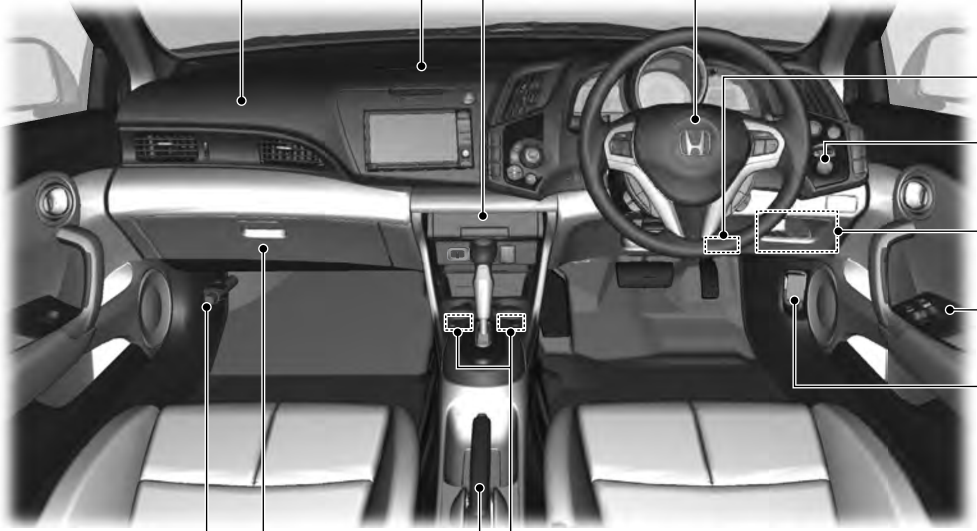
Honda インターナビシステム* 別冊
AM/FM チューナー付 CD プレーヤー* P.132
非常点滅表示灯（ハザードスイッチ）
デフロスタースイッチ P.127
オートエアコン P.126
メーター P.69
警告灯 P.57
表示灯 P.62
SPORT モードスイッチ P.169
NORMAL モードスイッチ P.169
ECON モードスイッチ P.169
VSA OFF スイッチ P.174
ヘッドライトレベリングダイヤル* P.109
フォグライトスイッチ* P.106
エンジンスイッチ P.101,102
ホーンスイッチ
アクセサリーソケット P.122
リヤデフロスタースイッチ P.111 / ヒーテッドドアミラースイッチ* P.113
携帯電話接続端子*
USB ジャック* P.122



- セレクトレバー✤/ チェンジレバー✤ P.160,167
- ワイパー / ウォッシャースイッチ P.107
- シフトスイッチ（シフトダウン）✤ P.163
- シフトスイッチ（シフトアップ）✤ P.163
- ライト / 方向指示器（ウィンカー）スイッチ P.105
- クルーズコントロールスイッチ✤ P.170
- インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲ / ▼） P.71
- SEL/RESET スイッチ P.71
- ハンドル位置調節レバー P.111
- 取り消しスイッチ✤ P.128
- 発話スイッチ✤ P.128
- オーディオリモートコントロールスイッチ✤ P.147
- AV 入力端子✤

✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

ビジュアル目次



SRS エアバッグシステム（助手席用） P.32

センターアッパーボックス

センターロアボックス

SRS エアバッグシステム（運転席用） P.32

ETC 車載器 ✤ 別冊

ドアミラー調節スイッチ P.112

室内ヒューズボックス P.242

パワーウィンドースイッチ P.99

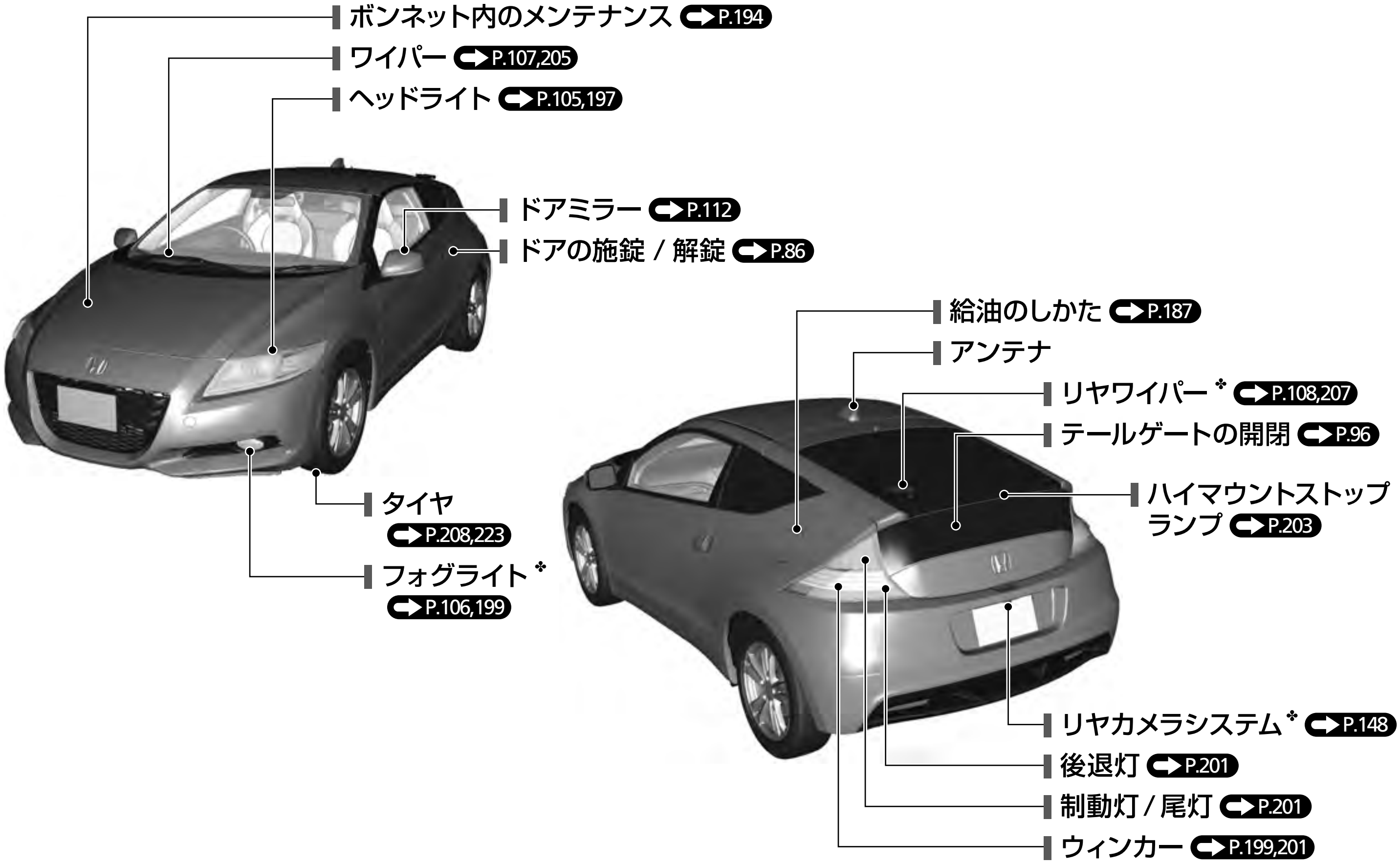
ボンネット解除ノブ P.195

シートヒータースイッチ ✤ P.123

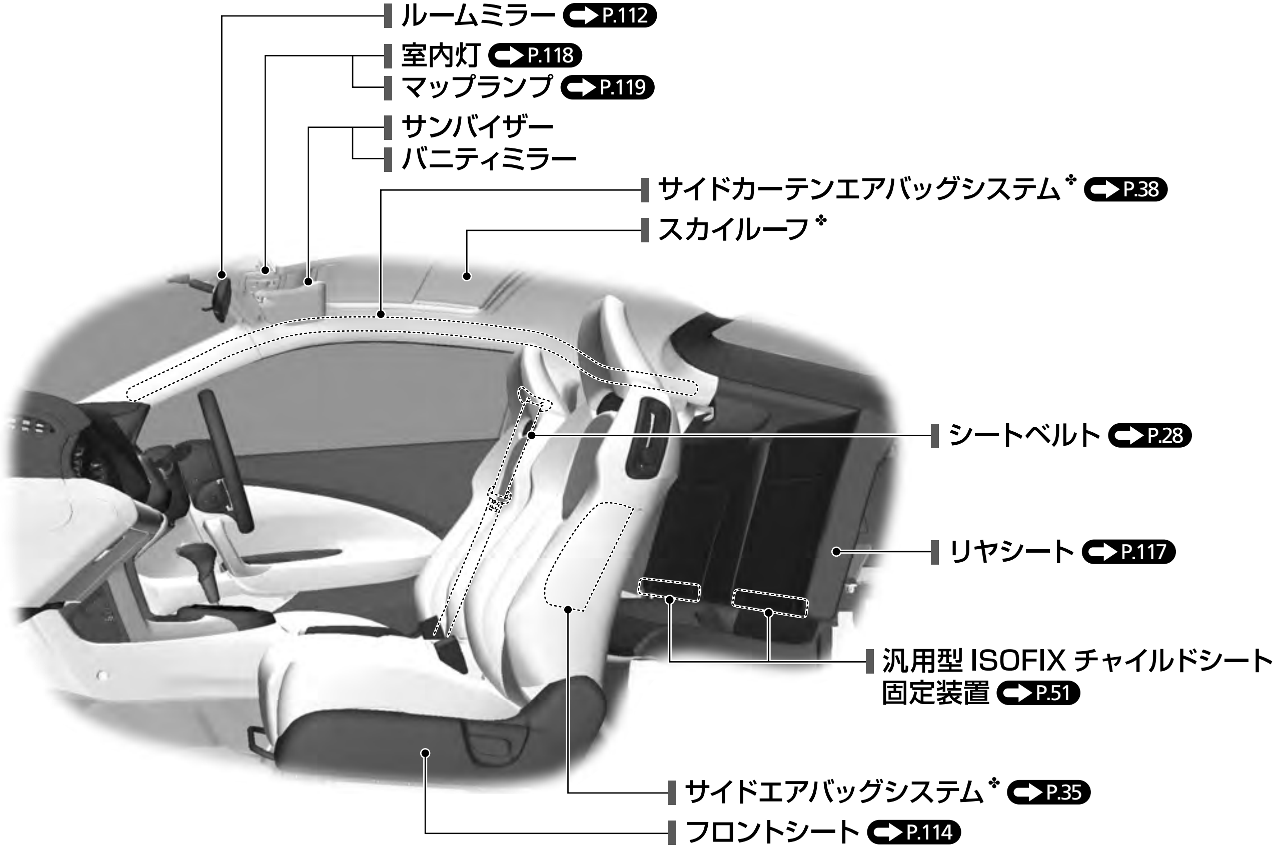
パーキングブレーキ P.175

グローブボックス P.120

発炎筒 P.222


ボンネット内のメンテナンス P.194
ワイパー P.107,205
ヘッドライト P.105,197
ドアミラー P.112
ドアの施錠 / 解錠 P.86
タイヤ P.208,223
フォグライト* P.106,199
給油のしかた P.187
アンテナ
リヤワイパー* P.108,207
テールゲートの開閉 P.96
ハイマウントストップランプ P.203
リヤカメラシステム* P.148
後退灯 P.201
制動灯 / 尾灯 P.201
ウィンカー P.199,201

ビジュアル目次



ルームミラー P.112
室内灯 P.118
マップランプ P.119
サンバイザー
バニティミラー
サイドカーテンエアバッグシステム* P.38
スカイルーフ*
シートベルト P.28
リヤシート P.117
汎用型 ISOFIX チャイルドシート固定装置 P.51
サイドエアバッグシステム* P.35
フロントシート P.114

3モードドライブシステム

3モードスイッチを押すことで、SPORT モード・NORMAL モード・ECON モードの 3 つの異なる特性を備えた走行モードを選べるシステムです。通常走行するときは NORMAL モードを推奨します。

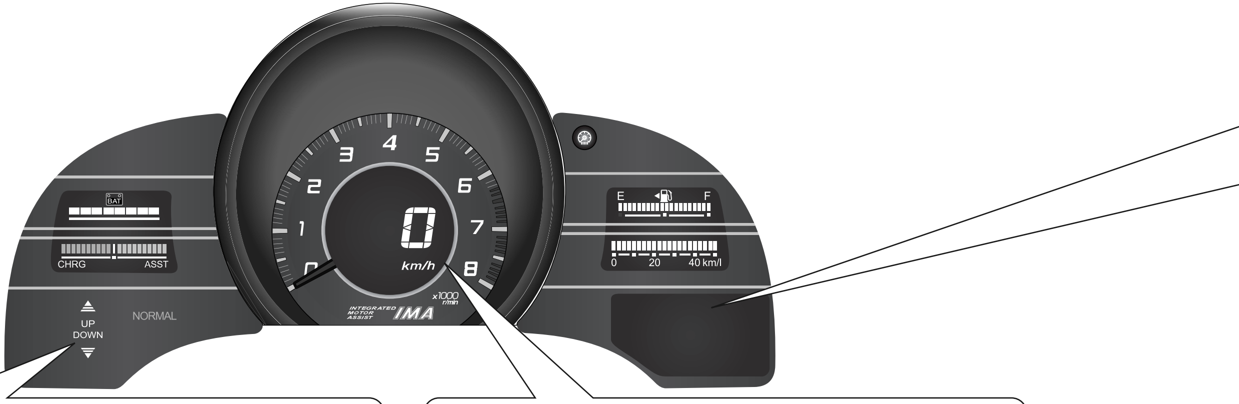
選択しているモードの表示灯が点灯

SPORT モード
高い応答性能により、力強く伸びのある走行を可能にし、操舵力を高めに設定しているモードです。
山間部などの坂道やカーブ、または郊外での走行に適しています。

NORMAL モード
走行性と省燃費性のバランスを高次元で実現するモードです。
街中を含め、あらゆる場面での走行に適しています。

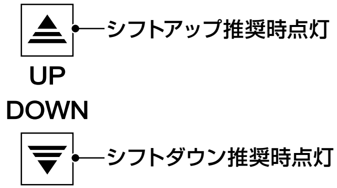
ECON モード
他のモードを使用しているときよりも、省燃費運転がしやすくなるモードです。
運転状況に応じて省燃費制御に切り換えをしたり、エアコン使用時のアイドリングストップを長くする制御をします。

エコアシストシステム



シフトアップ / ダウン表示灯✤ P.168

●省燃費走行のため、チェンジレバーのシフトチェンジに適したタイミングを点灯によりお知らせします。



※ SPORT モードの時は表示しません。

アンビエントメーター

●運転の状態を表示します。運転操作の状態に応じて、メーターの色が変化します。

●メーターの色

緑色 : 省燃費状態

青緑色 : ゆるやかな加減速状態

青色 : 急加減速状態

● SPORT モード時は、常に赤色になります。

オートマチック車

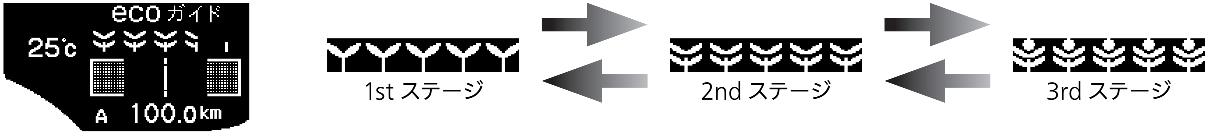
ブレーキペダル、アクセルペダルの操作方法により、メーターの色が変化します。

マニュアル車

ブレーキペダル、アクセルペダル、シフトアップ / ダウン表示灯の点灯に合わせた操作方法により、メーターの色が変化します。

ECO ガイド P.73

●運転操作の状態に応じて、リーフの表示が変化します。

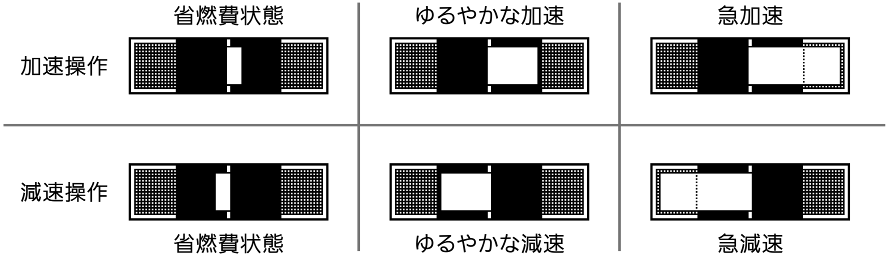


ECO スコア

●エンジンスイッチを 0 にしたときに表示します。

ECO ドライブバー P.74

●運転操作の状態に応じて、表示が変化します。バーが左右に伸びないように運転すると、スムーズな省燃費運転となります。



Honda IMAシステム

Honda IMA システムは、ガソリンエンジンを主動力とし、モーターが走行状況に応じて走行をアシストします。 IMA=Integrated Motor Assist

省燃費運転の方法

燃費をよくするため、次の点に気をつけて走行してください。

- 不必要な急加速、急減速を避ける
- メーターに表示される燃費表示を参考に走行する P.71

発進加速・急加速・低速クルーズ時

- エンジンとモーターを使って走行

ゆるやかな加速・高速クルーズ時

- エンジンだけで走行

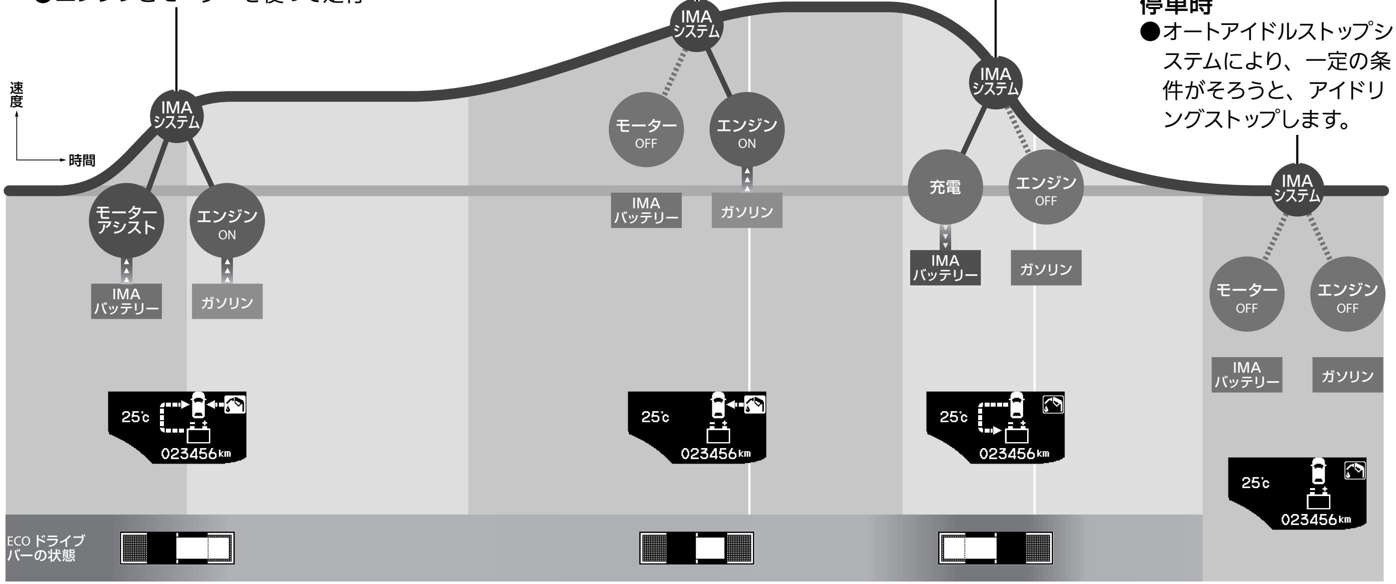
減速時

- IMA バッテリーに充電

Honda IMA システムのモーターは、タイヤの回転により発電することができます。

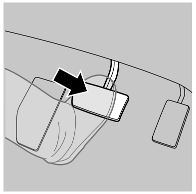
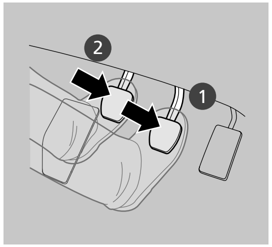
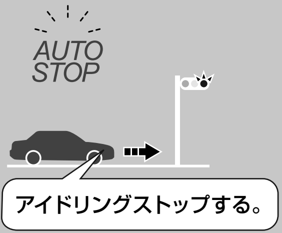
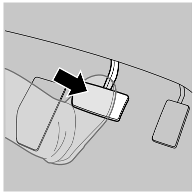
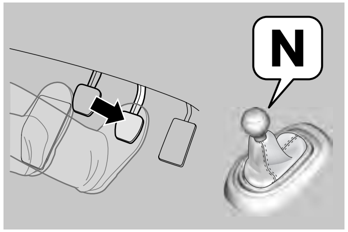
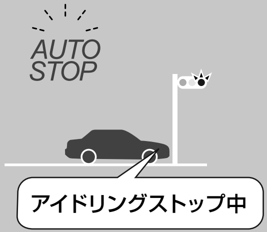
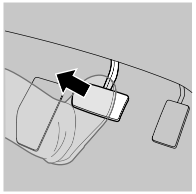
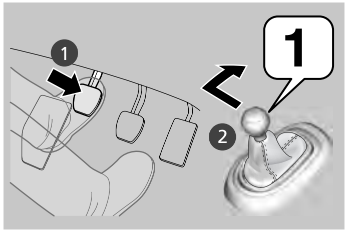
停車時

- オートアイドルストップシステムにより、一定の条件がそろうと、アイドリングストップします。



オートアイドルストップシステム

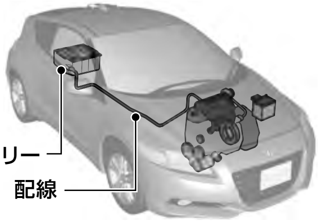
燃費向上のために、下記の手順によりアイドリングストップしたり、エンジンが自動的に再始動するシステムです。
アイドリングストップしているときは、メーター内の「AUTO STOP」が点滅します。 P.180,183

走行状態	オートマチック車の操作	マニュアル車の操作	操作後のエンジンの状態
減速	ブレーキペダルを踏んだまま、約 10km/h 以下になったとき 	**1.** ブレーキペダルを踏んだまま、約 30km/h 以下になったとき **2.** クラッチペダルをいっぱいに踏み込む。 	
停車	ブレーキペダルを踏み続ける。 	• ブレーキペダルを踏み続ける。 • チェンジレバーを N（ニュートラル）にする。 • クラッチペダルを離す。 	
発進	ブレーキペダルを離す。 	**1.** クラッチペダルをいっぱいに踏み込む。 **2.** チェンジレバーを 1 にする。 **3.** 通常の発進時の操作をする。 	

IMA バッテリーのコンディションを良好に保つために

月に一度、30 分以上走行をして充電してください。
長時間走行しないと、IMA バッテリーがあがったり、寿命が縮む原因となります。

ご使用にあたっての注意



冷却風取り入れ口をふさがない

冷却風取り入れ口がふさがれると IMA バッテリーの温度が上昇し、IMA バッテリーの出力低下を招くおそれがあります。また、水や異物を入れないでください。IMA バッテリーが故障するおそれがあります。
IMA システム警告灯や充電警告灯が点灯することがあります。

IMA システム警告灯 P.61
充電警告灯 P.58

Honda IMA システムには触れない

Honda IMA システムは、100V の高電圧を使用しており、分解などを行うと感電するおそれがあります。点検・修理は、必ず Honda 販売店にご相談ください。

カーゴルームには大量の水などがかからないようにする

カーゴルーム下にある IMA バッテリーが故障するおそれがあります。
IMA システム警告灯が点灯することがあります。
IMA システム警告灯 P.61

事故が起きたとき

●感電に注意する
▶車体が大きく破損・変形するような事故が起きたときは、感電するおそれがあります。高電圧部位やそれらを接続する配線（オレンジ色）には、絶対に触れないでください。
●IMA バッテリー液に触れない
▶IMA バッテリー液がもれているときは、バッテリー液が目や皮膚に付くとその部分が侵されますので、十分に注意してください。万一付着したときは、すぐに多量の水（できれば飽和ほう酸水）で少なくとも 5 分以上洗浄し、ただちに医師の診察を受けてください。
●火災が発生したら電気火災用消化器を使用する
▶少量の水での消火は、かえって危険な場合がありますので、水はかけないでください。万一、消火の際に水を使う場合は、消火栓などから大量の水をかけてください。

廃車するとき

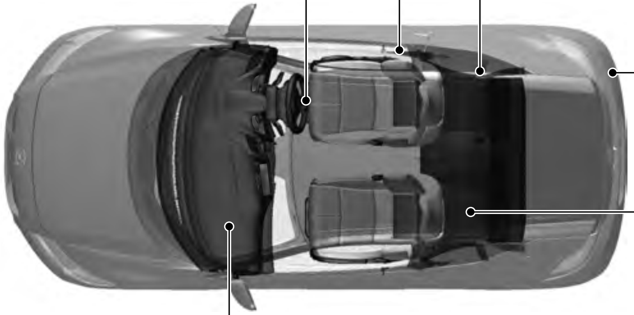
IMA バッテリーは、ニッケル水素（Ni-MH）バッテリーを使用しています。廃棄処分については、特別な取り扱いが必要です。廃車するときは、必ず下記にご相談ください。
（株）ホンダトレーディング 03-3215-9077

安全なドライブ P.26

●正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
●同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
●妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

運転を始める前の確認 P.27

●運転前にフロントシートの位置、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



シートベルト P.28

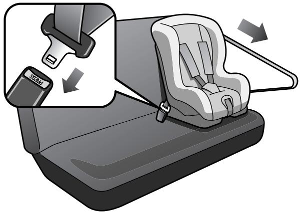
●リヤシートの乗車スペースは余裕がないため、正しくシートベルトを着用できない場合は、リヤシートには乗車しないでください。

排気ガスについて P.55

●車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンを始動しないでください。

お子さまの安全 P.43

●シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。



エアバッグ P.32

●万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

計器の見かた P.56

警告灯 P.57 / 表示灯 P.62 / メーター P.69

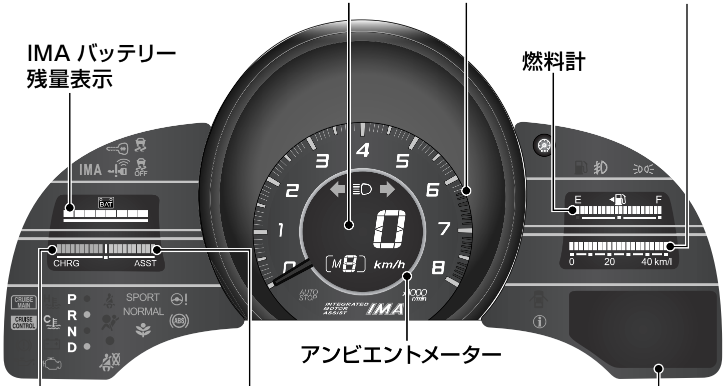
警告灯 / 表示灯

- VSA 警告灯
- OFF VSA OFF 警告灯
- イモビライザーシステム表示灯
- Honda スマートキーシステム警告灯
- IMA IMA システム警告灯
- CRUISE MAIN クルーズメイン表示灯
- CRUISE CONTROL クルーズコントロール表示灯
- ブレーキ警告灯
- 油圧警告灯
- H 高水温警告灯
- C 低水温表示灯
- 充電警告灯
- PGM-FI 警告灯
- P ○ R ○ N ○ D ○ トランスミッション警告灯（セレクトポジション表示灯）

スピードメーター　タコメーター　瞬間燃費表示

IMA バッテリー残量表示

燃料計



アンビエントメーター

チャージメーター表示（CHRG）

モーターアシスト表示（ASST）

マルチインフォメーションディスプレイ

警告灯 / 表示灯

- UP DOWN シフトアップ / ダウン表示灯
- シートベルト非着用警告灯
- エアバッグシステム警告灯
- ○ セキュリティアラームシステム作動表示灯
- サイドエアバッグ自動停止表示灯

警告灯 / 表示灯

- SPORT SPORT モード表示灯
- NORMAL NORMAL モード表示灯
- ECON モード表示灯
- EPS 警告灯
- ABS ABS 警告灯
- AUTO STOP オートアイドルストップ表示灯

警告灯 / 表示灯

- 方向指示器表示灯
- ハイビーム表示灯
- 燃料残量警告灯
- フォグライト点灯表示灯
- ライト点灯表示灯
- シフトインジケーター / M（7 速マニュアルシフトモード）表示灯
- ドア / テールゲート開閉警告灯
- インフォメーション表示灯

各部の操作 P.83

時刻を合わせる P.84

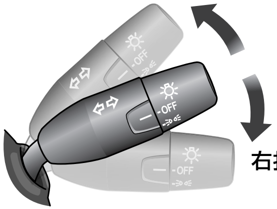
AM/FM チューナー付 CD プレーヤー装備車

AM/FMチューナー付CD プレーヤー非装備車
Honda インターナビシステム非装備車

Honda インターナビシステム装備車の時計は、人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

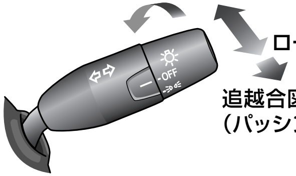
ウィンカー P.105

方向指示器（ウィンカー）スイッチ



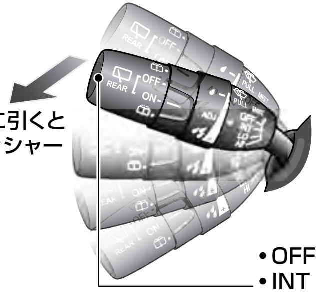
ライト P.105

ライトスイッチ



ワイパー P.107

ワイパー / ウォッシャースイッチ

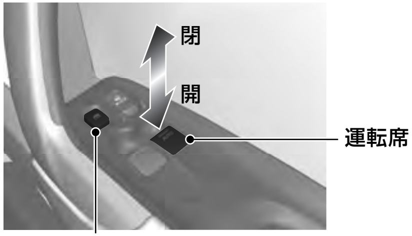


ドアミラー P.112

●エンジンスイッチが II のとき、ドアミラーの格納または角度の調節ができます。

パワーウィンドー P.99

●エンジンスイッチが II のとき、ウィンドーの開閉ができます。

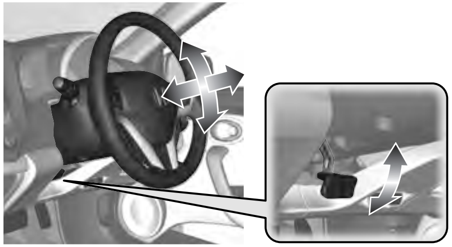


• ON　全てのウィンドーが作動
• OFF　運転席以外のウィンドーが非作動

ハンドル位置の調節

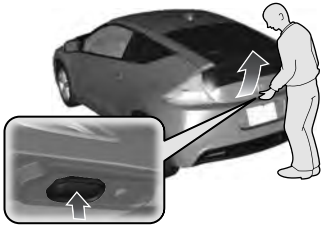
P.111

●ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルの位置を調節します。



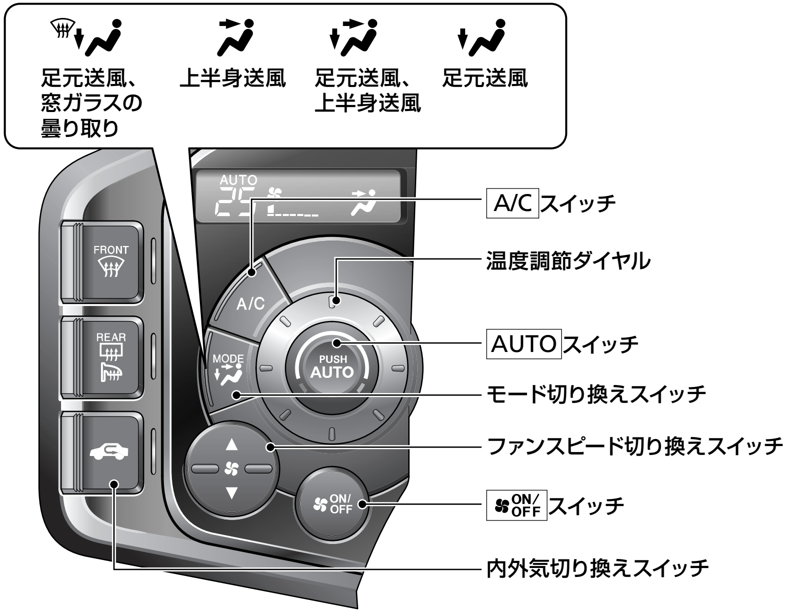
テールゲート P.96

● テールゲートは、テールゲートオープンスイッチを押して引き上げます。



エアコン P.125

●AUTO を押すと、オートエアコンが作動します。
●ON/OFF を押すと、止まります。
●前面ガラスの曇りを取るには、FRONT を押します。

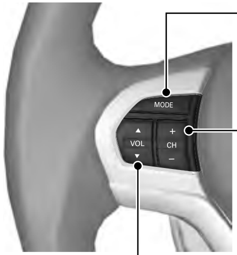


オーディオ*

P.130

AM/FM チューナー付 CD プレーヤー*

オーディオリモートコントロールスイッチ*



MODE スイッチ
- 押すごとにモードが切り換わる

CH スイッチ
- ラジオ / テレビ* 使用時：チャンネルの切り換え
- CD/USB デバイス */HDD*/DVD* 使用時：

＋を押す……… スキップ
−を押す……… リプレイ、フォルダーの選択 *

VOL スイッチ
- ▲を押す…音量が大きくなる
- ▼を押す…音量が小さくなる

運転 P.152

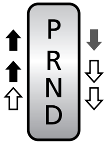
マニュアル車 P.167

オートマチック車 P.160

●セレクトレバーを P に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。

セレクトレバー

セレクトレバーの操作



⬇ ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作

⬆ ボタンを押して操作

⇩⇧ ボタンを押さずそのまま操作

P パーキング
駐車またはエンジンの始動

R リバース
車を後退

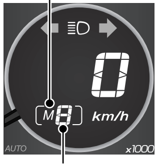
N ニュートラル
アイドリング状態

D ドライブ
- 通常走行
- 7 速マニュアルシフトモード
- L モード

7 速マニュアルシフトモード

●ハンドルから手を放さずシフトスイッチを引いて、自在にシフト操作ができます。

M表示灯



シフトインジケーター

－シフトスイッチ（シフトダウン）

＋シフトスイッチ（シフトアップ）

SPORT モード

●ハンドルにあるシフトスイッチを引くと、7 速マニュアルシフトモードになります。M（7 速マニュアルシフトモード）表示灯が点灯し、シフトインジケーターにギヤ位置が表示されます。

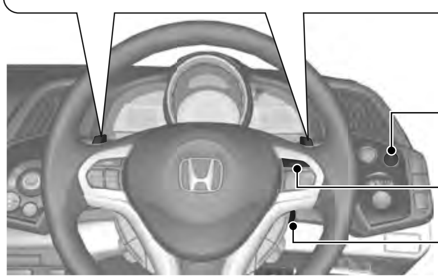
NORMAL モード、ECON モード

●ハンドルにあるシフトスイッチを引くと、一時的に 7 速マニュアルシフトモードになります。シフトインジケーターにギヤ位置が表示されます。

L モード

●急な上り坂を上るときなどは、通常走行に比べて、力強い走行が可能な L モードにすると便利です。

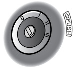
●＋と－のシフトスイッチを同時に引き続けると、L モードになります。このとき、シフトインジケーターに「L」が表示されます。P.164



VSA OFF スイッチ

CRUISE スイッチ（装備車）

エンジンスイッチ



Honda スマートキーシステム装備車

VSA OFF スイッチ

P.174

●VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

●エンジンを始動すると自動的に VSA は ON になります。

●VSA を停止（OFF）状態にするには、を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用（ON）するにはを「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

CRUISE スイッチ* P.170

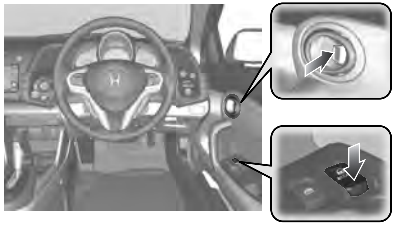
●クルーズコントロールは、高速道路などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。

●クルーズコントロールを使用しないときは、安全のために CRUISE を押して OFF にしてください。

ガソリンを入れる P.187

指定燃料	：無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	：40リットル

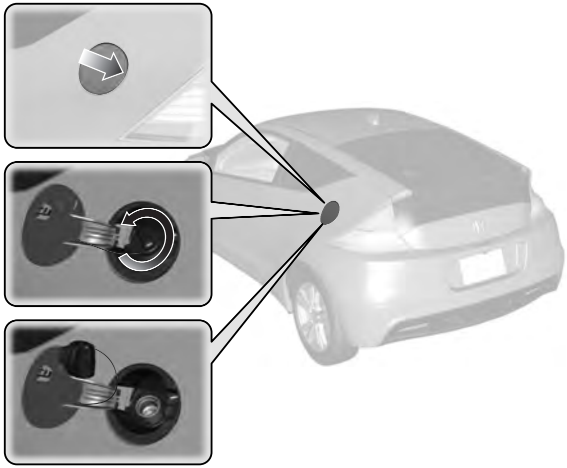
1 運転席のノブまたはマスタードアロックスイッチで解錠する。



2 フューエルリッドの右端を「カチッ」と音がするまで押して、リッドを浮かせる。

3 ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。

4 キャップをホルダーにかける。



メンテナンス P.191

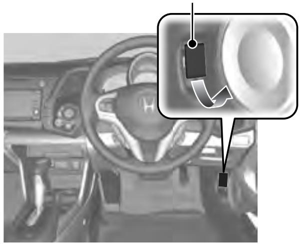
ワイパーブレード P.205

●拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

ボンネット P.194,196

●冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
●12V バッテリーを点検します。

1 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。



2 レバーを左に押し、ボンネットを開ける。

タイヤ P.208

●タイヤ、ホイールを点検します。
●降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

ライト P.197

●ヘッドライト、フォグライト電球*、テールライト電球などの点検または交換を行います。
●電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
●ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

万一の場合には P.221

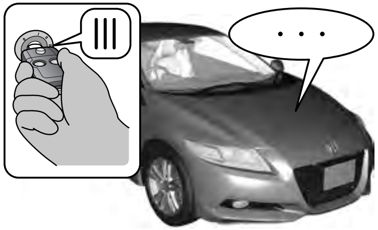
パンクした P.223

●安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。

エンジンが始動しない

P.232

●12V バッテリーあがりが考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。

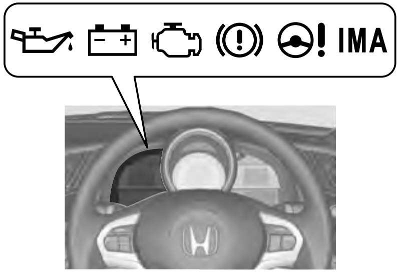


オーバーヒートした P.237

●安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。

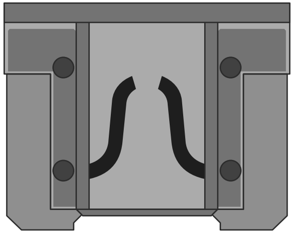
警告灯が点灯した P.238

●詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



ヒューズが切れた P.241

●運転席の足元とボンネット内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



けん引してもらいたい

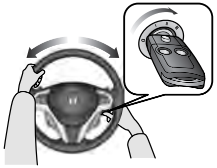
P.245

●必ず専門業者に依頼してください。やむをえず 4 輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。

こんなときは

Q キーが0からIに回らない

A
- ハンドルがロックされていませんか?
- ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー*を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



Q キーがIから0に回らない（キーが抜けない）

A
- セレクトレバーがP以外の位置になっていませんか?

Q ブレーキペダルを踏んだらガタガタと振動した

A
- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。
これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。
そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

Q キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている

A
- キーレスエントリー、Honda スマートキー*で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。

Q	A
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	・「ポーン」とブザーが繰り返し鳴り続けるときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？ Honda スマートキー❖を使用しているときは、エンジンスイッチノブを 0（プッシュオフ）以外にしていませんか？ ・「ポーン」とブザーが鳴り続けるときはライトを消し忘れていませんか？ ・アイドリングストップ中に運転席ドアを開けると、「ピーッピーッピーッ …」と鳴ります。
走行するとブザーが鳴る	・運転席シートベルトを着用していますか？ ・パーキングブレーキを完全に戻していますか？
走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする	・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。
レギュラーガソリン仕様車にプレミアム（ハイオク）ガソリンを使用しても大丈夫ですか？	・プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいことや、安全のために守っていただきたいこと。
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、安全のためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）
知識
知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと。
✤：タイプやオプションなどにより装備が異なります。

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。
なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

Honda および Honda が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

目次

安全なドライブ P.26

安全なドライブのために **27** シートベルト **28** エアバッグ **32** お子さまの安全 **43**
排気ガスの危険性 **55**

計器の見かた P.56

警告灯と表示灯 **57** メーターとマルチインフォメーションディスプレイ **69**

各部の操作 P.83

時刻の設定 **84** ドア **86** テールゲート **96** セキュリティシステム **97**
ウィンドー **99** ハンドルまわりのスイッチ **101** ミラー類 **112** シート **114**
室内灯 / 室内装備品 **118** エアコン **125**

オーディオ P.130

オーディオ装置 **131** AM/FM CD プレーヤー **132** オーディオリモートコントロールスイッチ **147**
リヤカメラシステム **148**

運転 P.152

運転の前に **153** 運転 **155** ブレーキ **175** 駐停車 **179**
給油 **187** アクセサリーと改造 **190**

メンテナンス P.191

メンテナンスの前に **192** ボンネット内 **194** 電球 **197** ワイパー **205**
タイヤ **208** リトラクタブルキー / Honda スマートキー **212** エアコンのお手入れ **215**
清掃 **217**

万一の場合には P.221

工具、発炎筒 **222** パンク **223** ジャッキアップ **230** エンジンが始動しない **232**
ジャンプスタート **234** セレクトレバーが動かない **236** オーバーヒート **237**
警告灯が点灯 / 点滅した **238** ヒューズ **241** けん引 **245**
フューエルリッドが解錠できない **248** テールゲートが開かない **249**

資料 P.250

仕様：**251**

安全なドライブ P.26
計器の見かた P.56
各部の操作 P.83
オーディオ P.130
運転 P.152
メンテナンス P.191
万一の場合には P.221
資料 P.250
索引 P.253

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前に、よくお読みいただき運転者と同乗者の安全を
確保してください。

安全なドライブのために 27
シートベルト
シートベルトについて 28
シートベルトの着用 30
シートベルトの点検 31
エアバッグ
エアバッグの種類 32
SRSエアバッグ 32
サイドエアバッグ 35
サイドカーテンエアバッグ 38
エアバッグシステム警告灯/表示灯 40
エアバッグのお手入れ 42
お子さまの安全 43
乳幼児の安全 44
大きなお子さまの安全 53
排気ガスの危険性
一酸化炭素について 55

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか?
  ▶ すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
  車内での施錠/解錠 P.94
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか?
  ▶ 正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置の調節をしてください。
  フロントシート P.114
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか?
  ▶ ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
  フロントシート P.114
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか?
  ▶ 運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
  シートベルトの着用 P.28
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか?
  ▶ エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
  エアバッグ P.32
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか?
  ▶ お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
  お子さまの安全 P.43
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを[P]またはチェンジレバーを上り坂の場合[1]、下り坂と平地の場合[R]にしているか?
  ▶ さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
  シフト操作 P.160,167

安全のための確認事項

ドア/テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、テールゲートがあります。

ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「ドア/テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。

ドア/テールゲート開閉警告灯 P.61

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

■三点式シートベルト
体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。
すべての席に三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用
- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1 本のシートベルトを 2 人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

≫シートベルトについて

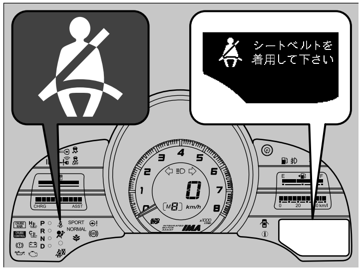
⚠警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。
シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

乗車中は正しい姿勢を保つ。
正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

リヤシートにチャイルドシートを取り付けると便利です。

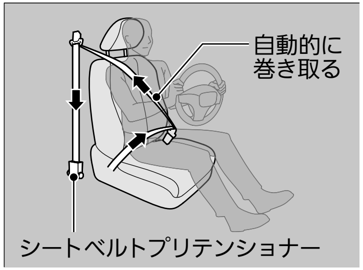
シートベルトリマインダー



エンジンスイッチを[II]にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。
シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。



»シートベルトリマインダー

知識

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。

オートマチック車

- セレクトレバーを[R]に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

»シートベルトプリテンショナー

⚠注意

シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。
誤作動や故障の原因となります。

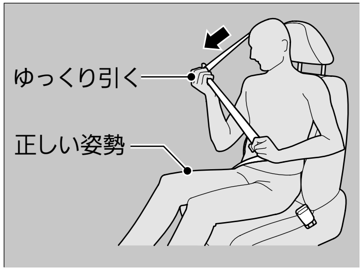
知識

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。
衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動すると、エアバッグシステム警告灯が点灯します。
衝突したときは、Honda販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

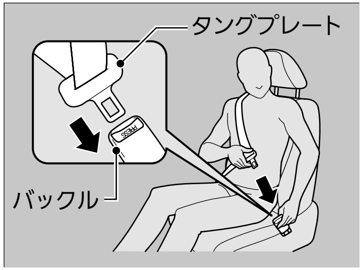
安全なドライブ

シートベルトの着用

■ 三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. シートベルトをゆっくり引き出す。



3. タングプレートをバックルに差し込む。
   ▶ このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。

4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

» シートベルトの着用

⚠注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

シートベルトを外すには、バックルの赤色の PRESS を押してください。

そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

■ 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常にシートベルトを着用してください。

シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか?
- バックルが確実に固定されるか?
- ベルトがスムーズに巻き取られるか?

≫妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

⚠注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点を注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

≫シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。

ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

安全なドライブ

エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチが II のときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。
エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ** : フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ** * : フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ** * : 窓側の天井部両側についたエアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS : サプリメンタルレストレイントシステム（Supplemental Restraint System）の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

■ 格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

》エアバッグの種類

⚠警告

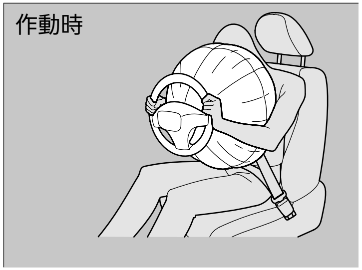
エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。
エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

⚠注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。
エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

SRS エアバッグの作動



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20 ～ 30km/h 以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形するもの）に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次ページに続く

»SRSエアバッグの作動

⚠警告

インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。

SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。

SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認後、ただちに車外に出てください。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。
- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小と SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

≫SRSエアバッグの作動

⚠注意

SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

知識
車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

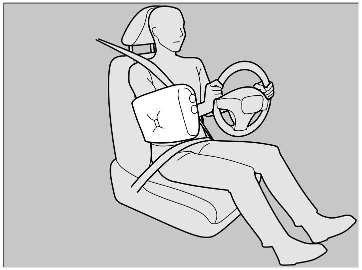
サイドエアバッグ*

フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

■ 格納場所

運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

■ 作動のしくみ



サイドエアバッグは、約30km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。
車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

次ページに続く

» サイドエアバッグ

⚠注意

ドアやその周辺にアクセサリーなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。
正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。

サイドエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。
サイドエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドエアバッグが作動します。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

知識
サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。
フロントシートへのシートカバー装着にあたってはHonda販売店にご相談ください。

■**作動条件**

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

»サイドエアバッグ

⚠注意

ドアに寄りかからない。
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。
リヤシート同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。
サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

知識

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

サイドエアバッグ自動停止システム

助手席に乗ったお子さまなどを保護する目的で、以下のような状態ではサイドエアバッグ自動停止システムがはたらきます。

- 小さなお子さまや小柄な大人のかたがドアに寄りかかるなどで、サイドエアバッグが膨らむ付近に頭があるようなとき
- 助手席の同乗者がサイドエアバッグの作動範囲に入ったとき
- 大人のかたが前かがみになっていたり、寝そべってドアに寄りかかっているとき

こうした状態になるとセンサーが検知し、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

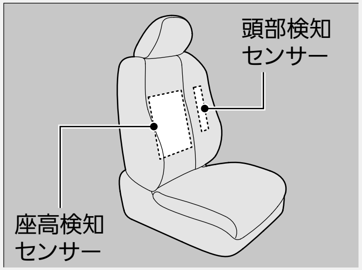
➔**サイドエアバッグ自動停止表示灯** P.41

サイドエアバッグ自動停止表示灯の点灯

サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯したら、同乗者に体を起こすように指示してください。また、小さなお子さまの場合は、リヤシートに乗せてください。
表示灯が消灯すると、サイドエアバッグは自動停止状態を解除し、通常の状態に戻ります。

≫サイドエアバッグ

各センサーにより乗員の姿勢を検知して、サイドエアバッグの作動を制御します。
ドアにもたれるなどしないように注意してください。



知識

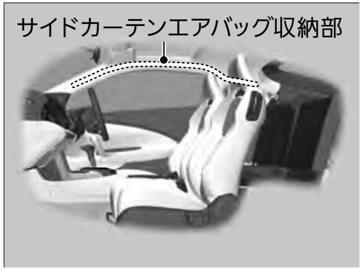
以下のような場合、センサーが正常に作動しないことがあります。

- シートの背もたれがぬれているとき
- 金属など電気を通すものが接しているとき
- シートにクッションなどを置いているとき
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ているとき
- 水分を含んだものを助手席に置いているとき

サイドカーテンエアバッグ*

窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

■ 格納場所



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

» サイドカーテンエアバッグ

⚠ 注意

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

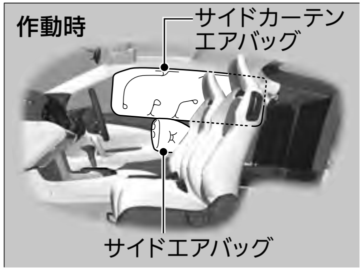
- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。
サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

■ 作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときに、運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

■作動条件

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。

➡作動条件 P.36

■前方向から衝突したときの作動

前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

≫サイドカーテンエアバッグ

⚠注意

サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。

収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda 販売店で交換してください。

サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。

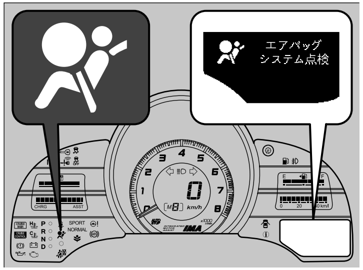
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

安全なドライブ

エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯、マルチインフォメーションディスプレイで知らせます。

■ エアバッグシステム警告灯



■エンジンスイッチをⅡにしたとき

エンジンスイッチをⅡにすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるときに点灯します。

» エアバッグシステム警告灯

⚠警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。

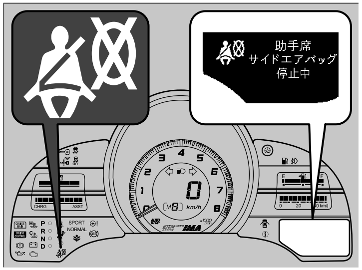
エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

アドバイス

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda販売店で点検を受けてください。

エンジンスイッチをⅡにしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

■ サイドエアバッグ自動停止表示灯*



■エンジンスイッチを II にしたとき

エンジンスイッチを II にすると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■サイドエアバッグ自動停止システムの作動

サイドエアバッグの自動停止システムが作動して、助手席のサイドエアバッグシステムが停止状態になると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

この表示灯が点灯していても、異常ではありません。

➡サイドエアバッグ自動停止システム P.37

≫サイドエアバッグ自動停止表示灯

アドバイス

以下の状態で点灯する場合、Honda販売店で点検を受けてください。

- 走行中、助手席に誰も乗っていないとき
- 正しい乗車姿勢をとっているとき

エンジンスイッチを II にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときも、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

助手席の同乗者が正しい乗車姿勢をとっている状態で、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯する場合は、下記の項目を確認してください。

- シートの背もたれがぬれていないか?
- 金属など電気を通すものが接していないか?
- 水分を含んだものを助手席に置いていないか?

原因となるものを取り除いても、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯している場合はHonda販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

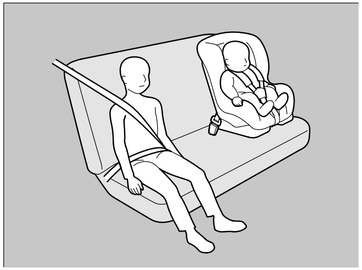
一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。
また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

■車に中程度から強度の衝撃が加わったとき

エアバッグが作動していなくても、センサーが正しく作動することを点検する必要があります。
Honda 販売店で点検を受けてください。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはリヤシートに乗せる
  - ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
    また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  - ▶ お子さまを抱えていても、衝突したときに支えることができず危険です。
    正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  - ▶ 乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓から手や顔、ものを出さない
  - ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが窓から手や顔、ものなどを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  - ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  - ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

»お子さまの安全を守るために

⚠警告

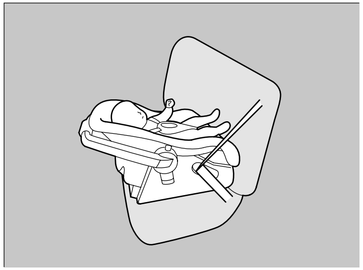
チャイルドシートは後席に設置する。
助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。
- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- サイドエアバッグシステム装備車は、お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

乳幼児の安全

■乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートに設置することができます。
推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

»乳児のチャイルドシート

⚠警告

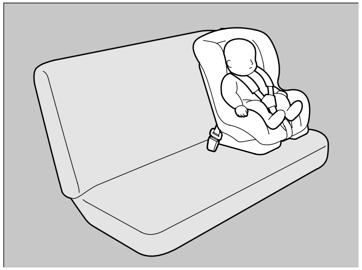
後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。
助手席のSRSエアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、助手席の真後ろの席に設置してください。

■ 幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■前向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートへの設置を推奨します。

次ページに続く

≫幼児のチャイルドシート

⚠警告

助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎていたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されると SRS エアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。
やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、助手席の真後ろの席に設置してください。

チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは汎用型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。
シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。
汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の 3 つの条件を満たしている必要があります。

- 一覧表に案内されているチャイルドシートであること
  選択の目安 P.47,48
- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること

≫チャイルドシートの選びかた

汎用型ISOFIXチャイルドシートは取り付けが簡単です。
汎用型ISOFIXチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

■ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ベルト固定タイプ チャイルドシート 重量区分	座席位置 前席 助手席	座席位置 後席
グループ 0 ～10kg	X	L
グループ 0 ＋ ～13kg	X	L
グループ I 9kg ～18kg	UF※1	UF
グループ II 15kg ～25kg	UF※1	UF
グループ III 22kg ～36kg	UF※1	UF

記号の説明

L　：Honda Baby ISOFIX チャイルドシートがシートベルトで取り付け可能です。
UF　：汎用型チャイルドシートが前向きに取り付け可能です。
X　：チャイルドシートを取り付けできません。
※1　：背もたれを最も前に起こした位置から３段階倒した位置まで取り付け可能です。

次ページに続く

≫シートベルトで固定するチャイルドシートについて

知識

チャイルドシートに関する国連の安全基準であるECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

LとUFのチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書にUNIVERSAL（汎用）と案内されているものもあります。

EC認可表示（例）

汎用型ISOFIXチャイルドシート以外のチャイルドシートを使用するときは、シートの種類や取り付けの向きにより固定金具（ロッキングクリップ）が必要になる場合があります。

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

■ 汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のリヤシートには、汎用型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

汎用型 ISOFIX チャイルドシート 重量区分	サイズ等級	固定具	座席位置 前席 助手席	座席位置 後席
キャリコット	F G	ISO/L1 ISO/L2	—	X
グループ 0 ～10kg	E	ISO/R1	—	X
グループ 0 ＋ ～13kg	E D C	ISO/R1 ISO/R2 ISO/R3	— — —	X X X
グループ I 9kg ～ 18kg	D C B B1 A	ISO/R2 ISO/R3 ISO/F2 ISO/F2X ISO/F3	— — — — —	X X X IUF※1 X
グループ II 15kg ～ 25kg	—	—	—	X
グループ III 22kg ～ 36kg	—	—	—	X

記号の説明

IUF　：国連の安全基準ECE R44に適合している汎用型ISOFIXチャイルドシートのみが前向きに取り付け可能です。

X　　：ISOFIXチャイルドシートを取り付けできません。

※1　：フロントシートの前後位置が最も前のときのみ取り付け可能です。

次ページに続く

》汎用型ISOFIXチャイルドシートについて

知識

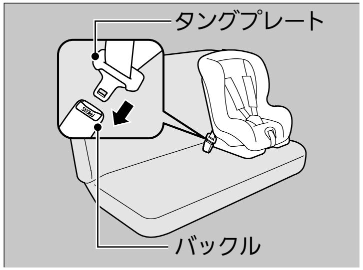
チャイルドシートをご購入する際は、ISOFIXサイズ等級に一致したものをお選びください。

固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状、大きさ
ISO/L1	乳児	左	寝台式
ISO/L2	乳児	右	寝台式
ISO/R1	乳児	後ろ	―
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3	幼児	後ろ	大型
ISO/F2	幼児	前	低型
ISO/F2X	幼児	前	低型
ISO/F3	幼児	前	全高

IUFのチャイルドシートには、ECE R44認可表示と取扱説明書にUNIVERSAL ISOFIX（汎用）と案内があります。

EC認可表示（例）

シートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。
2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。
   ▶ このとき、バックルがカチリという音がするまできちんと差し込んでください。

3. チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。
4. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。
5. フロントシートを適切な位置に調節する。
   ▶ フロントシートとチャイルドシートの間に十分なスペースを確保してください。
   シートベルトで固定するチャイルドシートについて P.47

チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

シートベルトでの取り付け

⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

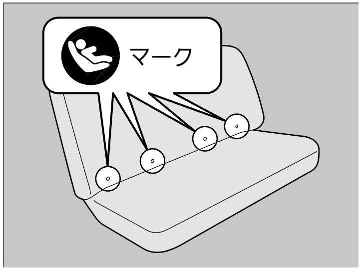
知識

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

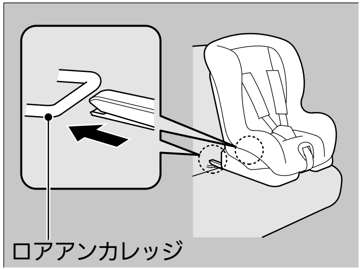
チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具（ロッキングクリップ）が必要になります。

■汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。



1. マークの下にあるシートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。



2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。
  ▶ 取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

次ページに続く

»汎用型ISOFIXチャイルドシートの取り付け

⚠注意

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。
異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

汎用型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

知識
チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

3. フロアにあるカバーを開ける。

4. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っかけ、ストラップを締める。
▶ このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。

5. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

6. フロントシートを適切な位置に調節する。
▶ フロントシートとチャイルドシートの間に十分なスペースを確保してください。
汎用型ISOFIXチャイルドシートについて P.48

汎用型ISOFIXチャイルドシートの取り付け

⚠注意

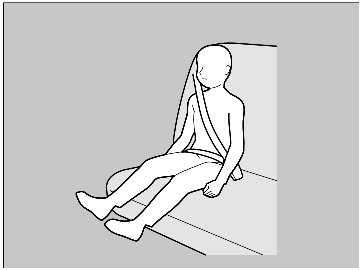
チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

大きなお子さまの安全

■ シートの使用について

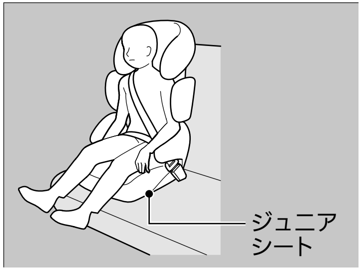
幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか?
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか?
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか?
- 乗車中、無理なくすわっていられるか?

■ ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。

安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

次ページに続く

»大きなお子さまの安全

⚠警告

お子さまは助手席に乗せない。

お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。

やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

»ジュニアシートについて

知識

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

■ やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。
以下の場合は、排気ガスのもれがないか Honda 販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

»一酸化炭素について

⚠警告

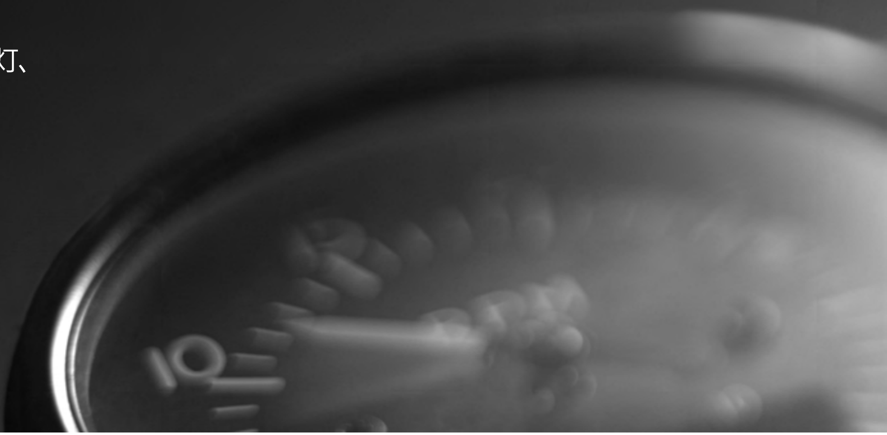
一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。
ガレージのドアを閉めたままエンジンを始動しないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンを始動してください。

計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。



警告灯と表示灯

警告灯……57

表示灯……62

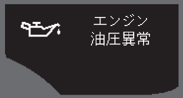
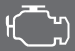
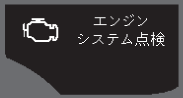
マルチインフォメーションディスプレイの警告メッセージ……66

メーターとマルチインフォメーションディスプレイ

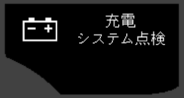
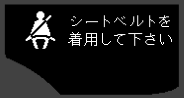
メーター……69

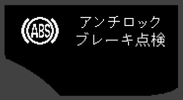
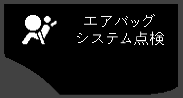
マルチインフォメーションディスプレイ……71

警告灯

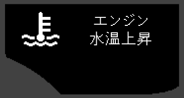
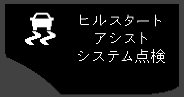
警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ブレーキ警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯（パーキングブレーキをかけているときは点灯） • ブレーキフルード量が低下したときに点灯	• 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 **➔ブレーキ警告灯が点灯した** P.239	
	油圧警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 • エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯	• **走行中に点灯** = ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。 **➔油圧警告灯が点灯した** P.238	
	PGM-FI 警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯 • エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 • エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅	• **走行中に点灯** = 高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • **走行中に点滅** = 枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるのをお待ちください。 **➔PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した** P.239	

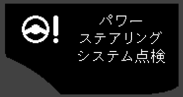
次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	充電警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 • 12V バッテリーが充電されていないと点灯	• **走行中に点灯** = 電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。 **充電警告灯が点灯した** P.238	
警告灯 D	トランスミッション警告灯（セレクトポジション表示灯）✤	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • トランスミッションが異常のときに点滅	• 運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。	
	シートベルト非着用警告灯	• 運転者がシートベルトをしないと点灯 • エンジンスイッチを II にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅	• シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 • シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 **シートベルトリマインダー** P.29	
	Honda スマートキーシステム警告灯✤	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯	• 下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 　• 運転中に点灯した 　• エンジン始動後も消灯しない 　• エンジンスイッチが 0 のときに数秒間点灯した	

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	燃料残量警告灯	● 燃料の残量が少なくなると点灯 ● 燃料計に異常があるときは点滅	● 点灯したら早めに給油してください。 ● 点滅したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。	
	ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯	● エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 ● ABS が異常のときに点灯	● 点灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 **➔ABS（アンチロックブレーキシステム）** P.177	
	エアバッグシステム警告灯	● エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 ● 下記のとき点灯 ・エアバッグシステムの異常 ・プリテンショナーシステムの異常	● 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。	

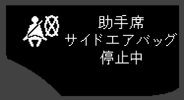
次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	高水温警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • エンジンの冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯	• **走行中に点滅** = ゆっくり走行してください。 • **走行中に点灯** = ただちに安全な場所に車を停車し、エンジンを冷やしてください。 ➡ **オーバーヒート** P.237	
	VSA (ビークルスタビリティアシスト)警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • VSA が作動しているときは点滅 • ヒルスタートアシスト*、発進補助ブレーキ機能*、ブレーキアシストシステム、VSA システムが異常のときに点灯	• 運転中に点灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 なお、この場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されています。 (ヒルスタートアシスト*、発進補助ブレーキ機能*、ブレーキアシスト、VSA システムは作動しません。) ➡**VSA (ビークルスタビリティアシスト)** P.173	 
	VSA OFF 警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • VSA を OFF にすると点灯	➡**VSA (ビークルスタビリティアシスト)** P.173	—

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ドア / テールゲート 開閉警告灯	• ドア、テールゲートが閉まっているときは、エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • ドア、テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯	• ドア、テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。	
	EPS(エレクトリックパワーステアリング) 警告灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 • EPS (エレクトリックパワーステアリング) システムの機能に異常があると点灯	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 **➲EPS 警告灯が点灯した** P.240	
IMA	IMA システム 警告灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • IMA 制御システムが異常のときに点灯	• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 **➲IMA システム警告灯が点灯した** P.240	

表示灯

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	ハイビーム表示灯	• ヘッドライトを上向きにしたときに点灯	—	—
	ライト点灯表示灯	• ライトスイッチが OFF 以外のときに点灯（AUTO✤ のときは車幅灯点灯時に点灯）	• ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。	—
	フォグライト点灯表示灯✤	• フォグライトを点灯させると点灯	—	—
	方向指示器表示灯	• 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 • 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅	• 点滅しない / 点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。 ➔ **電球の交換** P.199,201	—
	低水温表示灯	• エンジン冷却水の温度が低いときに点灯	• 暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。Honda 販売店で点検を受けてください。	—

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	サイドエアバッグ自動停止表示灯✤	• エンジンスイッチをⅡにすると数秒点灯したあと、消灯 • 助手席のサイドエアバッグシステムのセンサーが作動し、サイドエアバッグシステムが自動的に停止したときに点灯	• 一瞬の点灯は異常ではありません。 • 点灯したときは、上体を起こしてすわってください。小さいお子さまが助手席に乗っているときは、後席に乗せてください。 • 助手席に誰も乗っていないのに走行中点灯するときは、Honda 販売店で点検を受けてください。	
	イモビライザーシステム表示灯	• エンジンスイッチをⅡにすると一瞬点灯し、すぐに消灯 • イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅	• 一瞬の点灯は異常ではありません。 • 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。エンジンスイッチをいったん0へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込みⅡにしてください。 Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを0（プッシュオフ）にしてから、もう一度Ⅱにしてください。 • 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので Honda 販売店で点検を受けてください。 • エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。	—

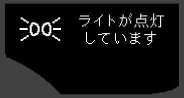
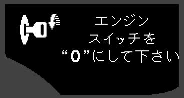
次ページに続く

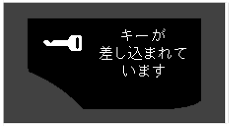
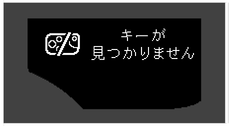
表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
	インフォメーション表示灯	• 異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、同時に警告音も鳴り、点灯	• メッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行って下さい。 • メッセージは、警告が解除されるか、インフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押すまで通常表示に戻りません。 • 点灯しているときにインフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押すと、メッセージを再表示させる事ができます。	—
表示灯	セキュリティアラームシステム作動表示灯	• セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅	**セキュリティアラームシステム** P.97	—
AUTO STOP	オートアイドルストップ表示灯	• オートアイドルストップシステムが作動し、アイドリングストップしたときに点滅	**オートアイドルストップシステム** P.180,183	—

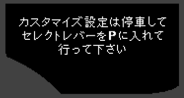
表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ
CRUISE MAIN	クルーズメイン表示灯 ✤	• クルーズスイッチを押して、クルーズコントロールを ON にすると点灯	➔クルーズコントロール P.170	—
CRUISE CONTROL	クルーズコントロール表示灯 ✤	• クルーズコントロールで自動定速走行しているときに点灯	➔クルーズコントロール P.170	—
UP	シフトアップ / ダウン表示灯 ✤	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • シフトアップ推奨時に点灯	➔シフトアップ/ダウン表示灯 P.168	—
DOWN		• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • シフトダウン推奨時に点灯		
SPORT	SPORT モード表示灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • SPORT モードスイッチを押して、SPORT モードにすると点灯	➔3モードドライブシステム P.169	SPORT
NORMAL	NORMAL モード表示灯	• エンジンスイッチを II にすると点灯 • NORMAL モードスイッチを押して、NORMAL モードにすると点灯	➔3モードドライブシステム P.169	NORMAL
	ECON モード表示灯	• エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 • ECON モードスイッチを押して、ECON モードにすると点灯	➔3モードドライブシステム P.169	ECON

マルチインフォメーションディスプレイの警告メッセージ

下記の警告メッセージはマルチインフォメーションディスプレイにのみ表示されます。
再表示させるときはインフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲ / ▼）を押してください。

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• エンジンスイッチが II のときに、外気温が 3℃以下になると 1 回のみ表示	—
	• ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにして、運転席のドアを開けると表示	• ライトスイッチを OFF にしてください。 ➲**ライトスイッチ** P.105
	• HMMF（Honda マルチマチックフルード）の交換時期が近いときに表示 • 時期によって「メンテナンスして下さい」「メンテナンス時期を過ぎています」も表示されます。	➲**HMMFメンテナンス表示** P.165
	• エンジンスイッチが I のときに運転席のドアを開けると表示	• エンジンスイッチを 0 にして、キーをエンジンスイッチから抜いてください。 ➲ **エンジンスイッチ** P.101 • Honda スマートキーを使用しているときは、エンジンスイッチノブを 0（プッシュオフ）にしてください。 ➲**Hondaスマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ** P.102

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• エンジンスイッチが I であり、運転席のドアを開けていないときに表示	—
	• エンジンスイッチが 0 のときに運転席のドアを開けると表示	• キーをエンジンスイッチから抜いてください。 **エンジンスイッチ** P.101
	• エンジンスイッチが II で、Honda スマートキーを車外に持ち出し、ドアを閉めたときに、警告音と同時に表示	**Hondaスマートキー持ち去り警告** P.104
	• Honda スマートキーの電池残量が少なくなったときに、警告音と同時に表示	**電池交換のしかた** P.213
	• オートライトコントロールシステムに異常があると表示	• 運転中に表示された場合は、ライトの点灯、消灯は手動で行い、Honda 販売店で点検を受けてください。 **ライトスイッチ** P.105

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	• アイドリングストップからエンジンを自動的に再始動させるときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいないときに表示 • エンジンを始動するときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないまま、エンジンスイッチを[III]にしたときに表示	• クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでください。 **➡オートアイドルストップシステム** P.185 • クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、エンジンスイッチを[III]にしてください。 **➡エンジンの始動** P.155
	• 前進のシフトポジションの位置で、アイドリングストップが一定時間続いたときに表示	• チェンジレバーを[N]（ニュートラル）にしてください。 **➡オートアイドルストップシステム** P.184
	• アイドリングストップ中に、以下の状態のためエンジンが自動的に再始動しないときに表示 　• IMA バッテリー残量が低下 　• アイドリングストップを続けることができないシステムの異常	• エンジンを再始動してください。 **➡エンジンの始動** P.155
	• 以下のとき、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ設定をすると表示 　• セレクトレバーが[P]以外のとき（オートマチック車） 　• パーキングブレーキを解除しているとき（マニュアル車） （マニュアル車は「カスタマイズ設定は停車してパーキングブレーキをかけて行って下さい」と表示されます）	**➡カスタマイズのしかた** P.78

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計などの種類があります。
エンジンスイッチが II のとき表示されます。

■ スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

■ 燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。

■ タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

次ページに続く

≫燃料計

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

アドバイス

燃料計が E に近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

≫タコメーター

エンジンの限界回転数は6,300rpmです。

アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上（レッドゾーン）に入らないよう運転してください。
特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

セレクトレバーが R のときや、空ぶかしをしたときにエンジン回転数が下記の回転数になると、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

タイプ	R のとき	空ぶかし時
オートマチック車	4,000rpm	4,500rpm
マニュアル車	-	4,800rpm

■ 瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

■ IMA バッテリー残量表示

IMA バッテリーの残量をバーグラフで表示します。

■ モーターアシスト表示（ASST）

モーターアシストの状態をバーグラフで表示します。

■ チャージメーター表示（CHRG）

IMA バッテリーへの充電の状態をバーグラフで表示します。

» IMAバッテリー残量表示

知識

次のような場合は、IMAバッテリー残量表示が下がることがあります。

- 12Vバッテリーを交換したとき
- 12Vバッテリーの端子を外したとき
- IMAバッテリー制御システムが残量の誤差を補正したとき

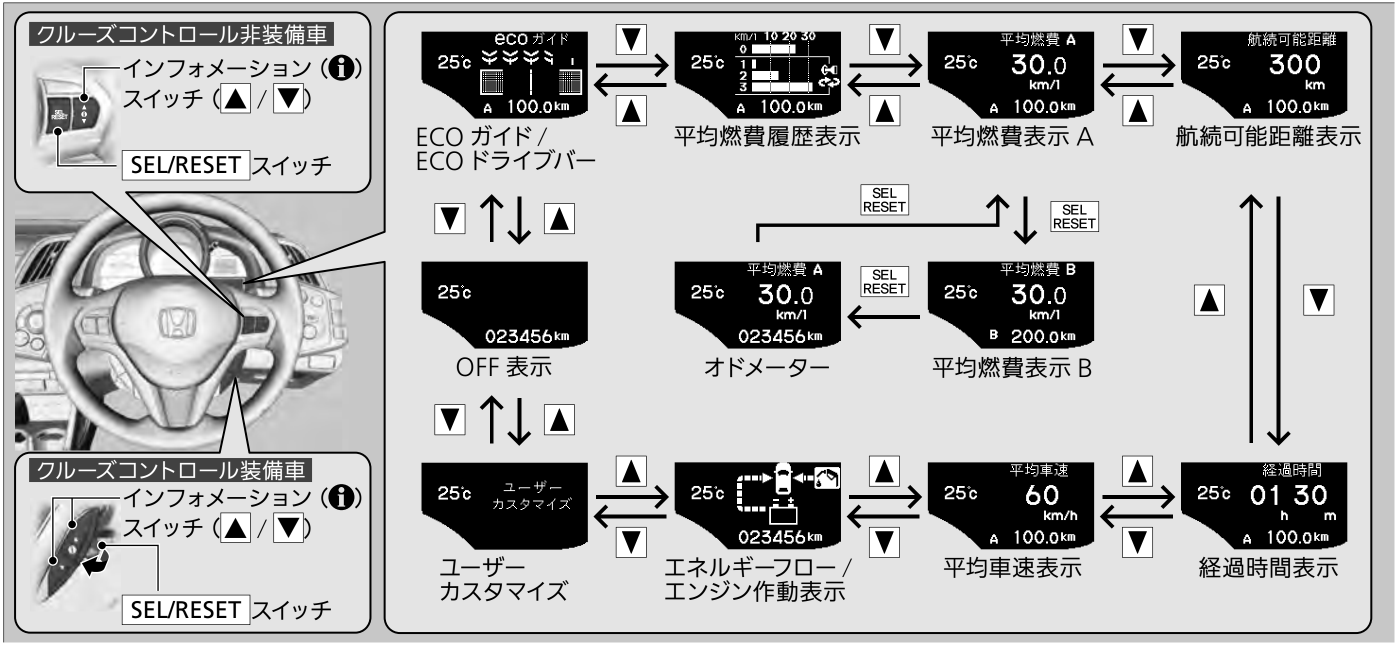
走行すると自動的に充電されます。

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示、燃費情報などが表示されます。
また、異常を検知すると警告メッセージが表示されます。

■表示の切り換えかた

インフォメーション (ℹ) スイッチ (▲ / ▼) または SEL/RESET を操作するごとに、表示が下記のように切り換わります。



次ページに続く

計器の見かた

オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。
トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、 SEL/RESET を押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

外気温表示

外気温を測定し表示します。

■外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、± 3℃の範囲で補正することができます。
補正するには、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ機能を使用します。

➡カスタマイズ機能 P.77

» トリップメーター

知識

トリップAとトリップBは、 SEL/RESET を操作して切り換えます。

トリップメーターは走行距離が9999.9kmを超えると、0.0kmに戻ります

» 外気温表示

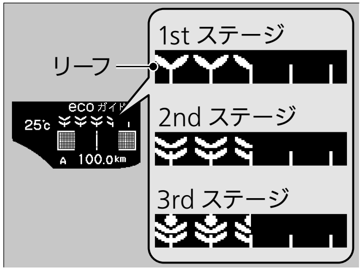
知識

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおよそ30km/h以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。
また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

■ ECO ガイド /ECO ドライブバー



■ECO ガイド

1st ステージから 3rd ステージまで 3 つのランクがあり、運転操作の状態に応じてリーフが増減し、ランクアップ（ダウン）します。

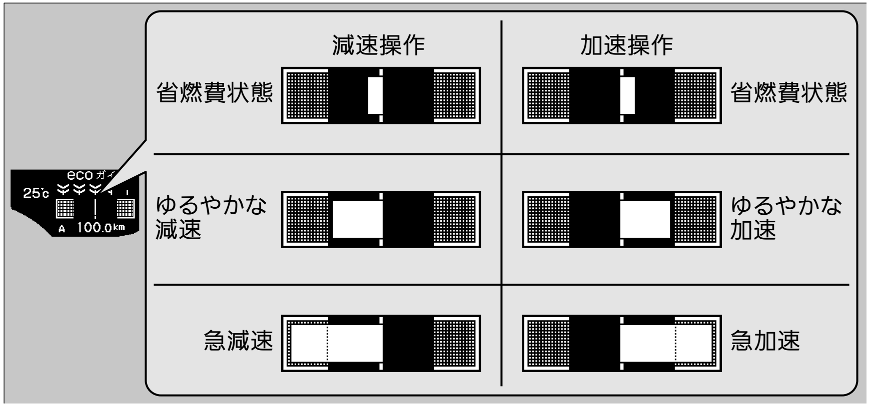
■ECO ガイドのリセット

1. オートマチック車はセレクトレバーが P に入っていること、マニュアル車はパーキングブレーキがかかっていることを確認し、エンジンスイッチを II にする。
2. ECON モードにしているときは、 NORMAL を押す。
3. エンジンスイッチを 0 にする。
4. 再度エンジンスイッチを II にする。
▶ 手順 4 ～ 6 は、30 秒以内に行ってください。
5. ブレーキペダルを 2 回踏み込む。
▶ アンビエントメーターがブルーからグリーンに変わります。
▶ カスタマイズ設定で「メーター背景色変化」を OFF に設定しているときは、ブルーのまま変化しません。
6. ECON を押す。
7. NORMAL を押す。
▶ アンビエントメーターがグリーンから消灯に変わります。
8. エンジンスイッチを 0 にする。

次ページに続く

■ECO ドライブバー

運転操作の状態に応じてバー表示が増減します。
急な加速を行うほどバーが右側に伸び、急な減速を行うほどバーが左側に伸びます。
バーが左右に伸びないように運転することで、スムーズな省燃費運転となります。



»ECOガイド/ECOドライブバー

知識

オートマチック車

ECOドライブバーの表示は、アンビエントメーターの色と連動しています。

■ 平均燃費履歴表示

走行時の平均燃費履歴を過去 3 回分表示します。
エンジンスイッチを[II]にすると更新され、最も古い履歴が消去されます。

■ 平均燃費表示

トリップメーター A、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。
トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

■ 航続可能距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

■ 経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

次ページに続く

≫平均燃費表示

知識

表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。

トリップメーターAと平均燃費Aを給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

➡カスタマイズ機能 P.77

≫航続可能距離表示

知識

表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

≫経過時間表示

知識

経過時間表示は99時間59分まで表示できます。

経過時間のリセット条件を変更することができます。

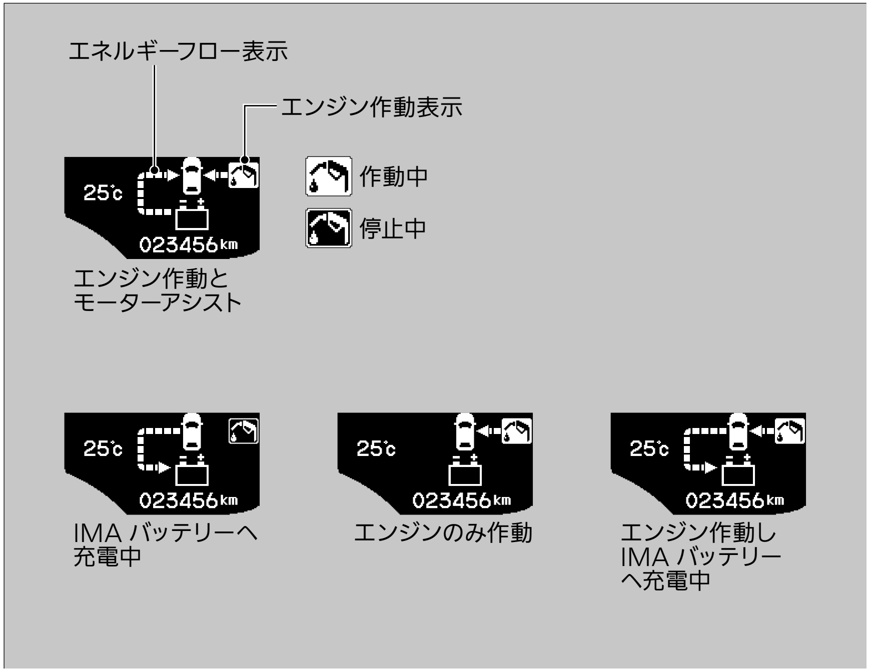
➡カスタマイズ機能 P.77

■ 平均車速表示

トリップメーター A をリセットしてからの平均車速をkm / hで表示します。

■ エネルギーフロー / エンジン作動表示

IMA バッテリーへの充電やアシスト状態を表示します。



≫エネルギーフロー/エンジン作動表示

知識

モーターアシスト表示 (ASST) とチャージメーター表示 (CHRG) の動きとエネルギーフロー/エンジン作動表示の動きは、状況により一致しない場合があります。

モーターアシスト表示 (ASST) P.70
チャージメーター表示 (CHRG) P.70

■ カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイを使って、下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ（設定変更）することができます。

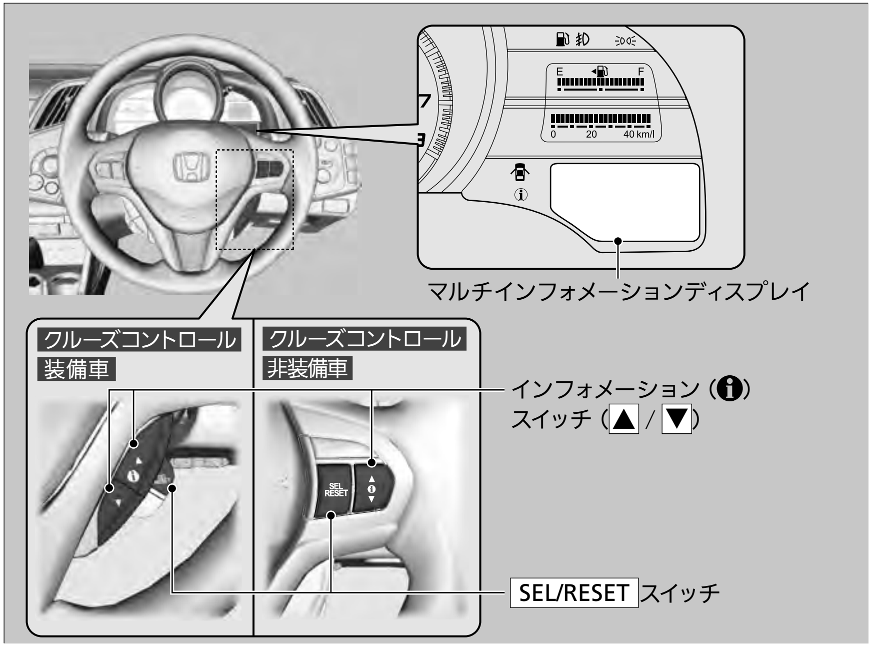
カスタマイズ機能		選択できる設定内容
時計設定✤	時刻調整	0 : 00 ～23 : 59
	時計表示	12 h※、24 h、非表示
メーター設定	外気温表示補正	−3℃ ～ ± 0℃※ ～ +3℃
	トリップ A の給油連動リセット	ON、OFF※
	経過時間のリセット条件切り換え	IGN OFF※、トリップ A、トリップ B
	ECON モード保持	ON、OFF※
	メーター背景色変化	ON※、OFF
Honda スマートキーシステム設定✤	アンサーバックブザー音量	大※、小
	ドアハンドル操作アンサーバックブザー	作動※、非作動
ライティング設定	インテリアライト点灯時間	60 秒、30 秒※、15 秒
	オートライト感度✤	MAX、HIGH、MID※、LOW、MIN
ドア設定	キーレスアンサーバック	作動※、非作動
	キーレスリロック時間	90 秒、60 秒、30 秒※
	セキュリティー機能	作動※、非作動

※ : 工場出荷時の設定

次ページに続く

■ カスタマイズのしかた

エンジンスイッチが II で、オートマチック車はセレクトレバーが P のとき、マニュアル車はパーキングブレーキがかかっているときに、インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲ / ▼）を押して「ユーザーカスタマイズ」を選択します。そして SEL/RESET を操作すると、カスタマイズを行なうことのできる「エントリー」画面に切り換わります。



⊠ カスタマイズのしかた

➡ **カスタマイズ操作一覧** P.79
➡ **カスタマイズ設定の例** P.81

■カスタマイズ操作一覧

インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲ / ▼）でメニューまたは設定値を切り換え、
SEL/RESET で決定します。

- ユーザーカスタマイズ
  - 時計設定
    - 時刻調整 → 時 ⇔ 分 ⇔ 決定 ⇔ 戻る
      - SEL/RESET で項目を決定し、インフォメーションスイッチで数値を変更。
      - SEL/RESET で設定数値を決定。決定 で時刻調整完了。
      - ➲時計の時刻を合わせる P.84
    - 時計表示 → 12h※ ⇔ 24h ⇔ 非表示 ⇔ 戻る
    - 戻る
  - カスタマイズ設定
    - メーター設定
      - 外気温表示補正 → −3℃ ⇔ −2℃ ⇔ −1℃ ⇔ ± 0℃※ ⇔ +1℃ ⇔ +2℃ ⇔ +3℃ ⇔ 戻る
        - −3℃ ～ ± 0℃※ ～ +3℃ の範囲で1℃刻みで設定可能
      - トリップ A の給油連動リセット → ON ⇔ OFF※ ⇔ 戻る
      - 経過時間のリセット条件切り換え → IGN OFF※ ⇔ トリップ A ⇔ トリップ B ⇔ 戻る
      - ECON モード保持 → ON ⇔ OFF※ ⇔ 戻る
      - メーター背景色変化 → ON※ ⇔ OFF ⇔ 戻る
      - 戻る
    - 次ページに続く

※：工場出荷時の設定

次ページに続く

- Honda スマートキーシステム設定
  - アンサーバックブザー音量 → 大※ ↔ 小 ↔ 戻る
  - ドアハンドル操作アンサーバックブザー → 作動※ ↔ 非作動 ↔ 戻る
  - 戻る
- ライティング設定
  - インテリアライト点灯時間 → 60 秒 ↔ 30 秒※ ↔ 15 秒 ↔ 戻る
  - オートライト感度 → MAX ↔ HIGH ↔ MID※ ↔ LOW ↔ MIN ↔ 戻る
  - 戻る
- ドア設定
  - キーレスアンサーバック → 作動※ ↔ 非作動 ↔ 戻る
  - キーレスリロック時間 → 90 秒 ↔ 60 秒 ↔ 30 秒※ ↔ 戻る
  - セキュリティー機能 → 作動※ ↔ 非作動 ↔ 戻る
  - 戻る
- 戻る

工場出荷設定 → 中止 ↔ 実行

↕

戻る

※: 工場出荷時の設定

計器の見かた

■カスタマイズ設定の例

例えば「トリップ A の給油連動リセット」を「ON」にする場合、下記の手順で設定します。
「トリップ A の給油連動リセット」は工場出荷時の設定では「OFF」になっています。

1. インフォメーション (i) スイッチ (▲ / ▼) を押し、「ユーザーカスタマイズ」が表示されたら、 SEL/RESET を操作する。
   ▶「エントリー」画面に切り換わり、「カスタマイズ設定」が表示されます。

2. SEL/RESET を操作する。
   ▶「グループ」画面に切り換わり、最初に「メーター設定」が表示されます。

3. SEL/RESET を操作する。
   ▶「メニュー」画面に切り換わり、最初に「外気温表示補正」が表示されます。

次ページに続く

4. インフォメーション (ⓘ)スイッチ (▲ / ▼) を押し、「トリップ A の給油連動リセット」が表示されたら、SEL/RESET を操作する。
▶「セットアップ」画面に切り換わり、「ON」、「OFF」、「戻る」が選択できます。

5.「ON」が選択されていることを確認し、SEL/RESET を操作する。
▶「"ON" に設定しました」という画面が表示された後、「メニュー」画面に戻ります。

6. インフォメーション (ⓘ)スイッチ (▲ / ▼) を押し、「戻る」が表示されたら、SEL/RESET を操作する。

7. 手順 **6** の操作を通常画面に戻るまで繰り返す。

≫カスタマイズのしかた

知識
「ON」、「OFF」、「戻る」の切り換えにはインフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲/▼) を使用します。

カスタマイズ操作の途中で以下の操作を行うと、設定は変更されず元の設定のままとなります。

共通操作
- エンジンスイッチを I または 0 にする

オートマチック車
- セレクトレバーを P 以外にする

マニュアル車
- パーキングブレーキを解除する

各部の操作

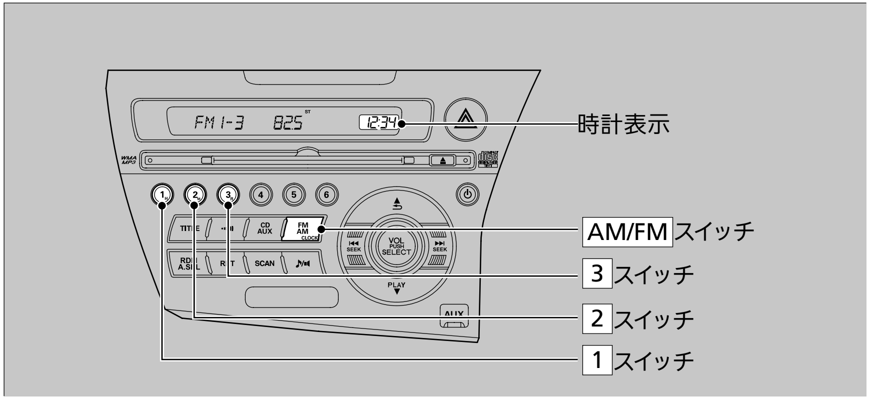
この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。

時刻の設定......84
ドアの施錠と解錠
キーの種類と機能......86
車外でのドアの施錠/解錠......90
車内での施錠/解錠......94
テールゲートの開閉......96
セキュリティシステム
イモビライザーシステム......97
セキュリティアラームシステム......97
ウィンドーの開閉......99
ハンドルまわりのスイッチ操作
エンジンスイッチ......101
Hondaスマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ......102
方向指示器（ウィンカースイッチ）......105
ライトスイッチ......105
フォグライトスイッチ......106
ワイパー/ウォッシャー......107
ヘッドライトレベリングダイヤル......109
イルミネーションコントロール......110
リヤデフロスタースイッチ......111
ハンドルの調節......111
ミラー類の調節......112
シートの調節......114
ヘッドレスト......117
室内灯/室内装備品......118
エアコン
エアコンの吹き出し口......125
オートエアコンの使いかた......126
音声でエアコンを調節する......128

時計の時刻を合わせる

AM/FM チューナー付 CD プレーヤー装備車

時計はオーディオ装置の画面に表示されます。



1. AM/FM を押し続け、画面の時間表示が点滅したら手を離す。
2. 1 を押して、「時」を合わせる。
3. 2 を押して、「分」を合わせる。
4. AM/FM をもう一度押す。

時刻設定が完了しました。画面に設定した時間が表示されます。

時計の時刻を合わせる

AM/FMチューナー付CDプレーヤー装備車

時報に合わせて正時に設定するには

左記の操作で、時間表示が点滅しているときに、時報と同時に 3 を押します。

下記のように表示されている時間に応じた正時に設定されます。

1：00～1：29の場合→ 1：00に設定

1：30～1：59の場合→ 2：00に設定

Hondaインターナビシステム装備車

時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

AM/FM チューナー付 CD プレーヤー非装備車、Honda インターナビシステム非装備車

時計はマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。カスタマイズ機能を使って時刻の設定ができます。

1. インフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押し、「ユーザーカスタマイズ」が表示されたら、SEL/RESET を操作する。
   ▶「時計設定」が表示されます。
2. SEL/RESET を操作する。
   ▶「時刻調整」が表示されます。
3. SEL/RESET を操作する。
   ▶「時」、「分」、「決定」、「戻る」が選択できます。

4. インフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押し、「時」または「分」を選択したら、SEL/RESET を操作する。
5. インフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押し、希望の数値が表示されたら、SEL/RESET を操作する。
6. インフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押し、「決定」を選択したら、SEL/RESET を操作する。
7. インフォメーション (ⓘ) スイッチ (▲ / ▼) を押し、「戻る」が表示されたら、SEL/RESET を操作する。
8. 手順 **7** の操作を通常画面に戻るまで繰り返す。

≫時計の時刻を合わせる

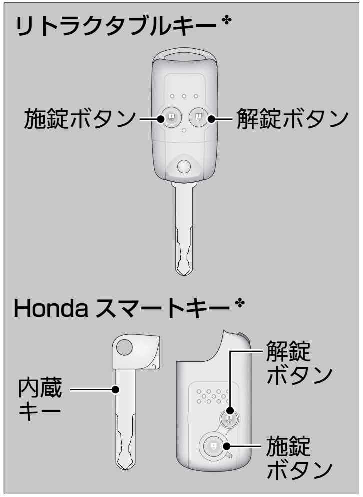
AM/FMチューナー付CDプレーヤー非装備車、Hondaインターナビシステム非装備車

時計の時間表示を24時間または12時間に切り換えることができます。

➡**カスタマイズ機能** P.77

キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組合わせは、車両のタイプにより異なります。



エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠に使用できます。
また、キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠の操作ができます。

キーの種類と機能

すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

イモビライザーシステム P.97

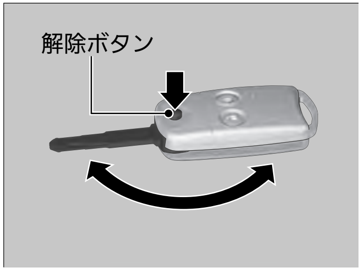
キーには、精密な電子部品が組み込まれています。

故障を防ぐため、下記の点をお守りください。
- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない

キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

■ リトラクタブルキー*



■**取り出しかた**

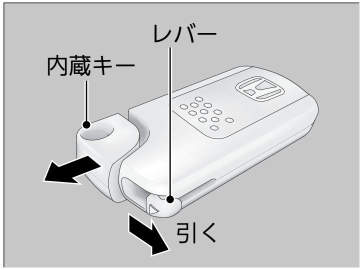
解除ボタンを押す。

▶ キーが完全に取り出せていることを確認してください。

■**折りたたみかた**

解除ボタンを押してキーをたたみ、収納する。

■ Honda スマートキー*



Honda スマートキーの電池が切れたときや車の 12V バッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。
内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーは Honda スマートキーに収納しておいてください。

次ページに続く

≫キーの種類と機能

リトラクタブルキーおよびHondaスマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

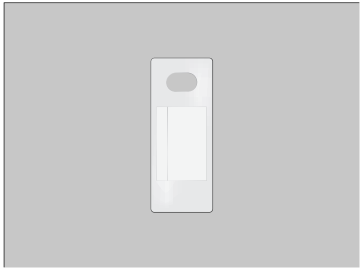
≫リトラクタブルキー

キーが完全に取り出せていないと、イモビライザーシステムが正しく働かない、またはエンジンの始動ができなくなることがあります。

アドバイス

キーを折りたたむときは、指を挟まないように注意してください。

■キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

≫キーナンバータグ

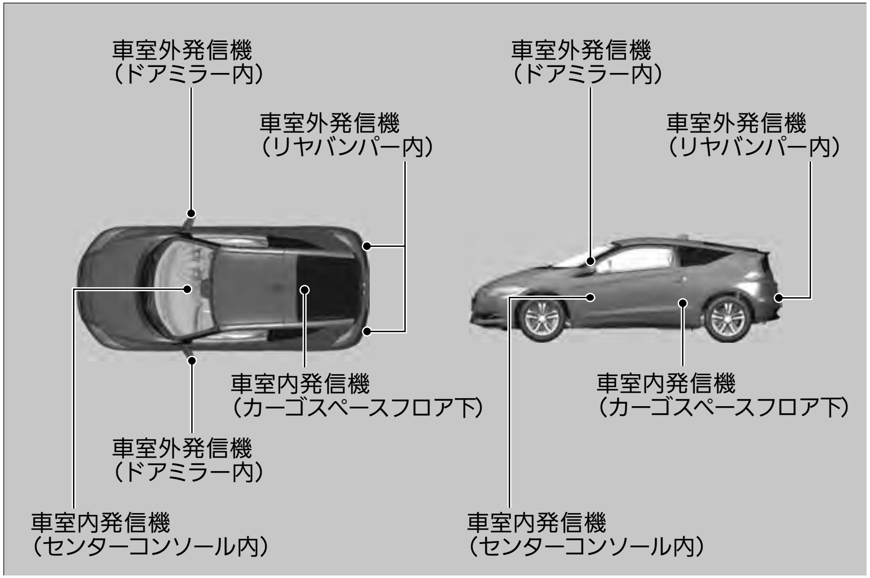
キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。

キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンを始動するとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。
そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



»Hondaスマートキーの微弱電波

⚠注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。
Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

知識
Hondaスマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約2年間です。
また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

各部の操作

車外でのドアの施錠 / 解錠

■ キーレスエントリーでの施錠 / 解錠

■施錠

施錠ボタンを押します。

▶ 非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

■解錠

解錠ボタンを押します。

▶ 非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

≫キーレスエントリーでの施錠/解錠

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠ボタンを押すと、室内灯が点灯します。

室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠ボタンを押すと室内灯が点灯します。約30秒点灯し、消灯します。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

➡**室内灯** P.118

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

- エンジンスイッチが 0 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき
- ドア、テールゲートが開いているとき（施錠時のみ）

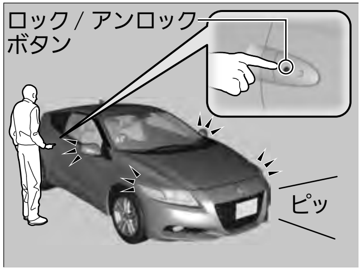
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

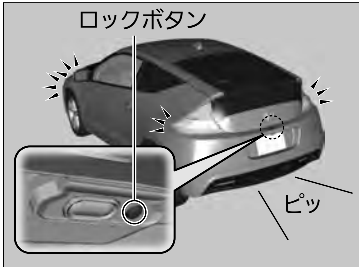
ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

➡**電池交換のしかた** P.213

各部の操作

■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠





Honda スマートキーを携帯し、ドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートのロックボタン、テールゲートオープンスイッチを操作することでドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠や解錠を操作します。
ドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠が作動するのは、ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチから周囲約 80cm 以内です。

■施錠するには

ドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートのロックボタンを押します。

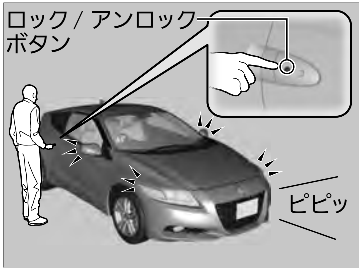
►「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

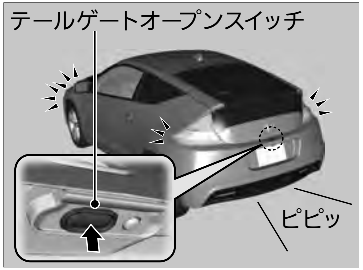
次ページに続く

≫Hondaスマートキーでの施錠/解錠

知識

- Hondaスマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲にHondaスマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもドアハンドルのロック/アンロックボタン、テールゲートのロックボタン、テールゲートオープンスイッチで施錠/解錠操作ができます。
- ロック/アンロックボタンを押した直後にドアハンドルを引くと、ドアが開かないことがあります。ボタンをもう一度押し直して、解錠されていることを確認してからドアハンドルを引いてください。
- ドアハンドル、テールゲートオープンスイッチより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。





■**解錠するには**

ドアハンドルのロック / アンロックボタン、テールゲートオープンスイッチを押します。

▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

» Hondaスマートキーでの施錠/解錠

知識

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

Hondaスマートキーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

カスタマイズ機能について

施錠/解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、マルチインフォメーションディスプレイを使って音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。

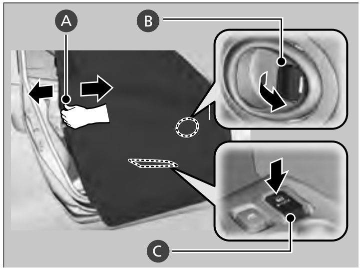
➔**カスタマイズのしかた** P.78

各部の操作

キーを差し込んでの施錠 / 解錠

キーを確実に差し込んで回します。
Honda スマートキーの場合は、内蔵キーを取り出して操作してください。

キーを使わないでの施錠



■**運転席のドアの施錠**
外側のドアハンドルⒶを引いたまま、ノブⒷを引き出すかマスタードアロックスイッチⒸを施錠のほうに押し、ドアハンドルを離してドアを閉めます。

■**助手席のドアの施錠**
ノブを引き出し、ドアを閉めます。

■**キー閉じ込み防止装置**
キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。
Honda スマートキー装備車は、Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

»キーを差し込んでの施錠/解錠

知識

運転席ドアでのキー操作
運転席ドアにキーを差し込んで施錠/解錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠/解錠されます。

»キーを使わないでの施錠

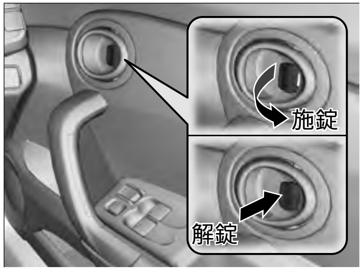
知識

運転席ドアで施錠すると、
助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

車内での施錠 / 解錠

■ ノブでの施錠 / 解錠



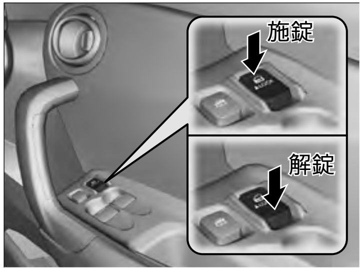
■施錠するには

ノブを引きます。

■解錠するには

ノブを押し込みます。

■ マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠



マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほうに押します。

» ノブでの施錠/解錠

知識

運転席ドアのノブで施錠/解錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠/解錠されます。

» マスタードアロックスイッチでの施錠/解錠

知識

運転席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠/解錠すると、助手席ドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠/解錠されます。

衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドを解錠するシステムです。
作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃 : SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃 : サイドエアバッグ / サイドカーテンエアバッグ装備車の場合で、サイドエアバッグ / サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃 : 衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

» 衝撃感知ドアロック解除システム

知識

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

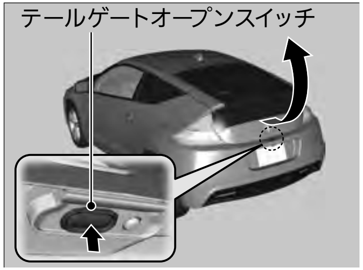
■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
  ▶ 途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
  ▶ 車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

■テールゲートを閉めるとき

- リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

テールゲートを開ける



解錠されているときに、テールゲートオープンスイッチを押して引き上げます。

テールゲート開閉時の注意

⚠注意

テールゲートを閉めるときは、頭をぶつけたり手をはさまないよう注意する。

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートを開ける

施錠されているときにHondaスマートキーを携帯してテールゲートオープンスイッチを押すと、解錠されますのでそのまま引き上げることができます。
Hondaスマートキーでの施錠/解錠 P.91

運転席ドアを施錠したあとに、テールゲートを閉めると施錠されます。

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれてあり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けたり、テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

セキュリティアラームシステム

セキュリティアラームシステムは、リトラクタブルキーあるいは Honda スマートキーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。
また、エンジンスイッチを II にしたときにも作動します。

■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

■停止させるには

リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

次ページに続く

» イモビライザーシステム

アドバイス

システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

» セキュリティアラームシステム

知識

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大5分間作動します。
ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。

■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを 0 にして、キーを抜く(Honda スマートキーの場合はプッシュオフにする)
- ボンネットが閉まっている
- リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーで、すべてのドアとテールゲートが施錠されている

■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が長くなります。

■セットを解除するには

リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーで解錠します。同時に作動表示灯が消灯します。

セキュリティアラームシステム

知識

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

セキュリティアラームシステムをセットした後に12Vバッテリーがあがり、12Vバッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。

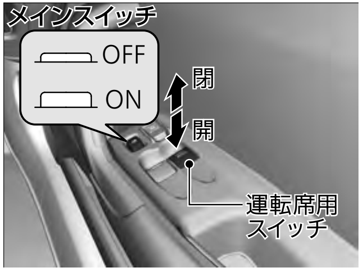
そのときは、リトラクタブルキーまたはHondaスマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチが II のときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、助手席ウィンドーの開閉操作も行うことができます。

助手席ウィンドーの開閉は、運転席のメインスイッチを ON にしてから行います。メインスイッチを OFF にしておくと、助手席ウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、メインスイッチを OFF にしておいてください。

■ 自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



■手動開閉

開けるとき：スイッチを軽く押す
閉めるとき：スイッチを軽く引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■自動開閉

開けるとき：スイッチを強く押す
閉めるとき：スイッチを強く引き上げる
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ / 下げします。

次ページに続く

» パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチをOFFにしても、約10分間はキーオフオペレーションにより自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。
この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

⚠警告

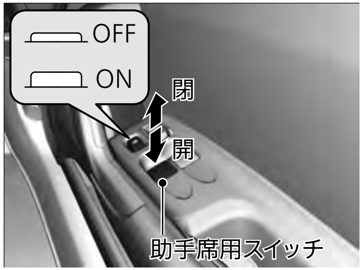
パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

■ 自動開閉機能なしのウィンドーの開閉



開けるとき：スイッチを押す
閉めるとき：スイッチを引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

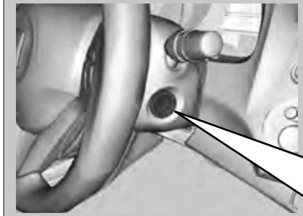
》パワーウィンドーの開閉

知識

故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

お子さまが同乗している場合、ウィンドーを開閉できないよう、メインスイッチをOFFにしてください。
メインスイッチをOFFにすると、助手席ウィンドーの開閉スイッチでの操作ができなくなります。

エンジンスイッチ



0 ロック
キーを抜き差しする位置

I アクセサリー
エンジンを始動させずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置

II ON
運転するときの位置

III 始動
エンジン始動位置
始動したら手を離すと、自動的にIIに戻ります。

» エンジンスイッチ

⚠警告

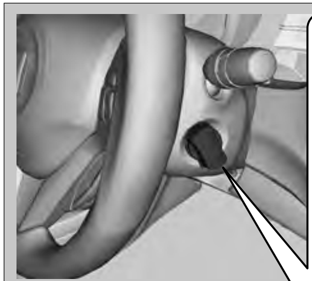
走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアル車はエンジンスイッチを0にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

エンジンスイッチが0またはIのときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。
キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

エンジンスイッチが0からIに回らないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

知識
オートマチック車
セレクトレバーをPに入れないとキーを抜くことができません。

Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ*



0 ロック（プッシュオフ）
エンジンスイッチがロックされる位置

0 ロック解除（プッシュオン）
エンジンスイッチノブを押すとロックが解除され、エンジンスイッチを回すことができます。

I アクセサリー
エンジンを始動させずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置

II ON
運転するときの位置

III 始動
エンジン始動位置
始動したら手を離すと、自動的にIIに戻ります。

■ 始動方法

Honda スマートキーの携帯を確認します。

1. エンジンスイッチノブを押す。
   ▶ エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。
2. エンジンスイッチを、ゆっくりとIIIの位置まで回す。

≫Hondaスマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ

⚠警告

走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアル車はエンジンスイッチを0にするとハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

知識

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。

■ エンジン始動の動作範囲

Hondaスマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

■ エンジン停止操作の方法

1. セレクトレバーを P に入れる（オートマチック車）。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと 0 まで回す。
   ▶ エンジンスイッチを 0 （プッシュオフ）にすると、ハンドルがロックされます。

■ エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- エンジンスイッチが I のとき
- エンジンスイッチが 0 で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき

Hondaスマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ

エンジンスイッチが 0 から I に回らないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを押して回してください。
ハンドルロックが解除され、エンジンスイッチノブが回ります。

Hondaスマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。
内蔵キーの差し込みかた P.233

エンジン停止操作の方法

車から離れるときは、エンジンスイッチを 0 にしてください。

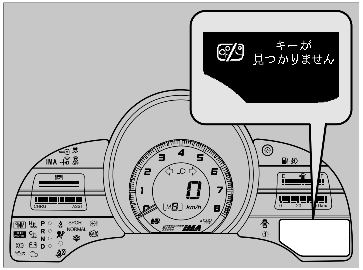
知識

エンジンスイッチが 0 以外では、Hondaスマートキーで施錠できません。

各部の操作

次ページに続く

■ Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー(ピーッピーッピーッピーッピーッピーッ)と車外警告ブザー(ピピピピピピ)の 2 種類があります。
警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■エンジンスイッチが II のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、マルチインフォメーションディスプレイに警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

■エンジンスイッチが I または 0 (プッシュオン)のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

≫Hondaスマートキー持ち去り警告

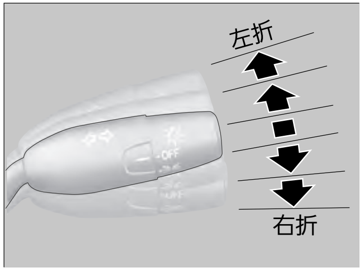
エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

知識

Hondaスマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。
Hondaスマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを 0 にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。
エンジンスイッチを操作するときは、Hondaスマートキーを持っていることを確認してください。

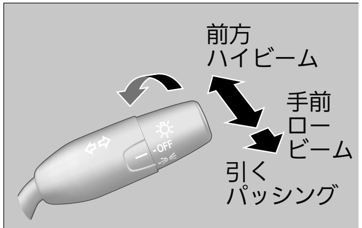
窓からの受け渡しでは、Hondaスマートキー持ち去り警告は作動しません。
Hondaスマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態によりHondaスマートキー持ち去り警告が行われることがあります。
故障ではありませんので、Hondaスマートキーを持っていることを確認してください。

方向指示器（ウィンカースイッチ）



エンジンスイッチがⅡのときに使用できます。

ライトスイッチ



- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
- ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
- AUTO✻ エンジンスイッチがⅡのとき車外の明るさに応じて車幅灯、尾灯、番号灯、ヘッドライトが自動で点灯 / 消灯

スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に関係なく、点灯 / 消灯します。

■ハイビーム

「カチッ」と音がするまでレバーを前方に押します。

■ロービーム

ハイビームのときは、レバーを手前に引きます。

■追越合図（パッシング）

レバーを手前に引き、離します。

≫ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

メーターにライト点灯の表示マークが出ます。

➔**表示灯** P.62

知識

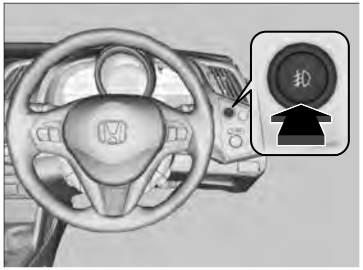
ディスチャージヘッドライト✻の電球は、点灯/消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。

エンジンが停止しているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。

オートライトコントロール装備車

照度感知部は、図の位置にあります。感知部の上にものを置かないでください。

フォグライトスイッチ*



ライトスイッチが OFF 以外のとき (AUTO のときは、車幅灯が点灯しているとき) に、フォグライトスイッチを押して点灯することができます。

» フォグライトスイッチ

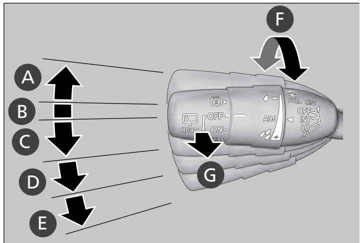
フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

➔ **表示灯** P.62

ワイパー / ウォッシャー

エンジンスイッチが II のときに使用できます。

■ フロントワイパー / ウォッシャー



Ⓐ MIST:(レバーを操作している間作動)
Ⓑ OFF:停止
Ⓒ INT:間欠(雨量が少ないとき)
Ⓓ LO:低速(普通の雨量のとき)
Ⓔ HI:高速(雨量が多いとき)
Ⓕ 間欠時間の調節
Ⓖ ウォッシャー

■ MIST

レバーを押し上げている間、作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ワイパースイッチ (OFF、INT、LO、HI)

エンジンスイッチが II のときに使用できます。

■間欠時間の調節

リングを回して、ワイパーの間欠時間を調節します。

間欠間隔が長い

間欠間隔が短い

■ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

次ページに続く

» ワイパー/ウォッシャー

⚠ 注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。

ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より数秒短くなります。また、発進時にワイパーが1回作動します。

間欠時間を短いほうにいっぱいに回している状態で車速が速くなると、ワイパーが間欠から低速作動に切り換わります。

アドバイス

ワイパーを乾拭きさせないでください。

ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

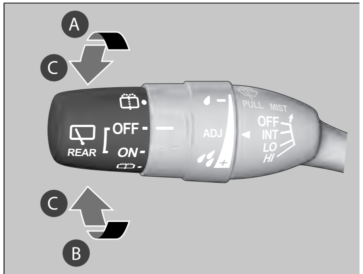
ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。

ポンプ故障の原因となります。

寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。

ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターでフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

■ リヤワイパー / ウォッシャー*



Ⓐ ON：数回作動後、間欠作動

Ⓑ OFF：停止

Ⓒ ：ウォッシャー

■リヤワイパースイッチ

エンジンスイッチが[II]のときに使用できます。

■ウォッシャースイッチ

スイッチを[ ]まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。
スイッチを回している間はワイパーが作動し、スイッチを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

■リバース連動モード

フロントワイパー作動中にセレクトレバーまたはチェンジレバーを[R]に入れるとリヤワイパーが作動します。

フロントワイパーのレバー位置と作動モード	リヤワイパーの作動モード
INT（間欠）	間欠作動
LO（低速） HI（高速）	連続作動

≫ワイパー/ウォッシャー

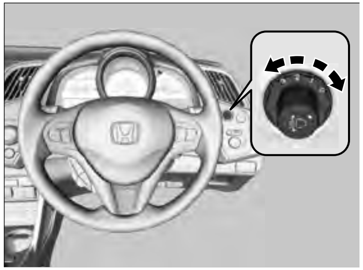
知識

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。
ワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチを[I]または[0]にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。
数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

ヘッドライトレベリングダイヤル*

エンジンスイッチが II のとき、ヘッドライトの照らす方向（光軸）を下向きに調節することができます。



ダイヤルを押して飛び出させて調節します。
▶ 調節後はダイヤルを押して戻してください。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。

■ダイヤル位置の目安

乗員の人数や荷物の量に応じて、下表を目安にダイヤル位置を選択してください。

乗員やカーゴスペースの積載状況	ダイヤル位置
運転席のみ乗車時 運転席と助手席に乗車時	0
4 名乗車時	1
4 名乗車時でカーゴスペース満載時	2
運転席のみ乗車でカーゴスペース満載時	3

≫ヘッドライトレベリングダイヤル

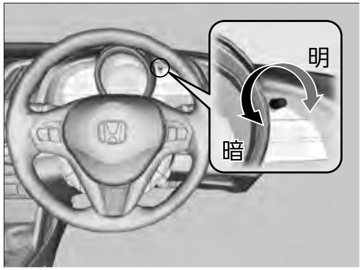
車検などで光軸調節をするときは、ダイヤルを 0 の位置に戻してから行ってください。

ディスチャージヘッドライト装備車

重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が付いています。

ヘッドライト光軸の異常を感じたときはHonda販売店で点検を受けてください。

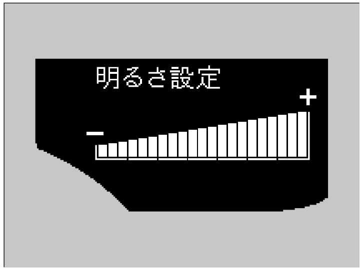
イルミネーションコントロール



エンジンスイッチが[II]で、ライトスイッチが[OFF]以外のとき（ライトスイッチを[AUTO]にしているときは、車幅灯やヘッドライトが点灯しているとき）、イルミネーションコントロールノブでインストルメントパネルの明るさを調節することができます。

明るくする： ノブを右に回す
暗くする： ノブを左に回す

明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。
また、明るさの調節後、数秒経過するとマルチインフォメーションディスプレイが元の表示に戻ります。



■明るさ調節表示

イルミネーションコントロールノブを回すとマルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。
[▮▮▮]が右に増えていくほど、メーター照明が明るくなります。

≫イルミネーションコントロール

車幅灯が点灯しているときと消灯しているときでは、インストルメントパネル照明の明るさは異なります。

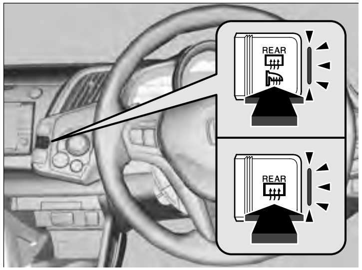
ライトスイッチを[車幅灯]または[ヘッドライト]にすると、まぶしさを軽減するためにメーター照明が暗くなります。

知識

- 明るさ調節中にインフォメーション（i）スイッチ（▲/▼）を押すと、マルチインフォメーションディスプレイは元の表示になります。
- 車幅灯点灯時に[▮▮▮]がすべて表示されるまでノブを右に回すと、「ピッ」という音がして車幅消灯時の設定になります。
- 車幅灯消灯時に[▮▮▮]がすべて表示されなくなるまでノブを左に回すと、明るさが最小になります。このときに走行したり、車幅灯を点灯させたりすると、明るさ最小の状態が解除され、元の明るさに戻ります。

各部の操作

リヤデフロスタースイッチ



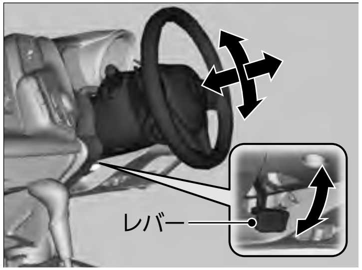
エンジンスイッチが[II]のときに、リヤガラスを暖め、曇りをとりたいときに使用します。

スイッチを押すとリヤデフロスターが ON になります。

外気温に応じて約 10 ～ 30 分経過すると、リヤデフロスターは自動的に停止します。ただし、外気温が 0℃以下のときは自動的に停止しません。

ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを引き上げる。
   ▶ ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。
2. ハンドルの位置を調節する。
   ▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルを固定する。

» リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。
必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたらOFFにしてください。
また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。12Vバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

» ハンドルの調節

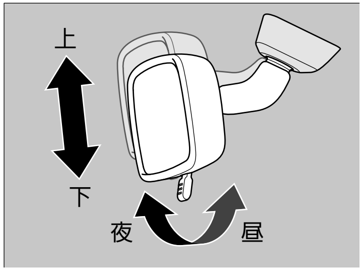
⚠注意

走行中にハンドル位置を調節しない。
走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

位置調節後、ハンドルに上下前後方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

ミラー類の調節

ルームミラー

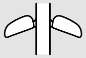


ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

■防眩式ルームミラー

ルームミラーは夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を弱くするための切り換えができます。

ドアミラー

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

エンジンスイッチが II のときにドアミラーの操作を行うことができます。

■角度調節

左右切り換えスイッチ：右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

角度調節スイッチ：上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

■格納

格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切り換わります。

» ミラー類の調節

知識

ミラー類の調節は走行前に行ってください。

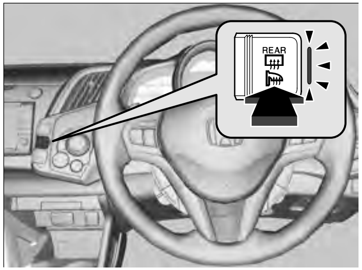
» ドアミラー

鏡面は、手で調節することもできます。

直接鏡面を動かして、調節します。

エンジンスイッチが 0 または I のときは、手動で格納、開放をすることもできます。

■ ヒーテッドドアミラー✤



エンジンスイッチが II のときに使用できます。スイッチを押すとドアミラーが暖められ曇りが取れます。

■ アクアクリーンミラー✤

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

■親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。

2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。

▶ 汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。

3. 5～9 時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

≫ヒーテッドドアミラー

ヒーテッドドアミラーはリヤガラスの曇り取りと同時に作動します。

➡リヤデフロスター P.111

≫アクアクリーンミラー

アドバイス

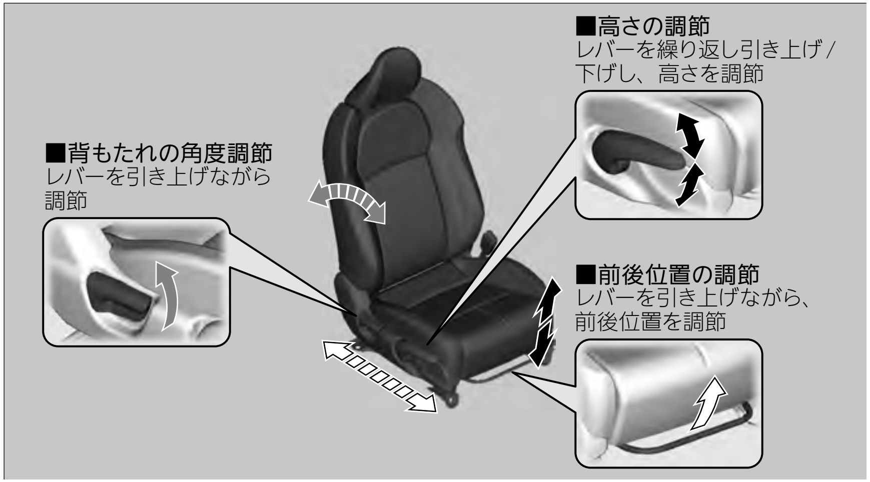
ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤（コンパウンドなど）でミラー表面をこすらない

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくブレーキペダル（マニュアル車はクラッチペダル）を十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

■ フロントシートの動かしかた



» フロントシートの動かしかた

⚠注意

走行中にシートの調節はしない。
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

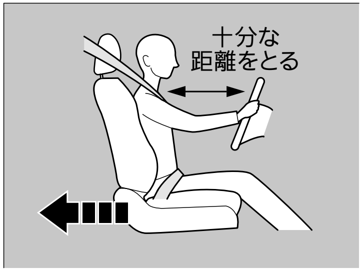
シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

フロントシートの下にものを置かない。
ものがはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識
フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

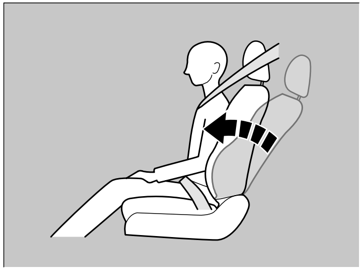
同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

■ フロントシートの調節



■シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードの SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。
シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



■背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。
助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

次ページに続く

》フロントシートの調節

⚠警告

SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。
ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

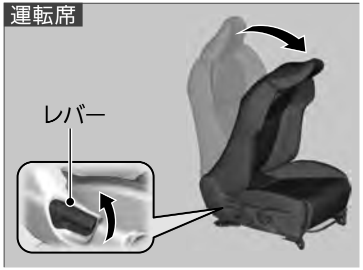
背もたれを必要以上に倒さない。
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

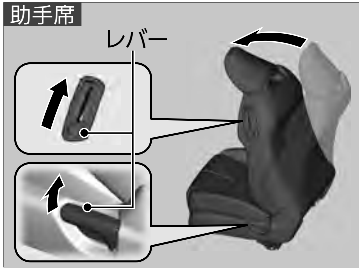
⚠注意

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

各部の操作

■ リヤシートへの乗り降り





レバーを引き上げると、背もたれが前へ倒れます。

≫リヤシートへの乗り降り

アドバイス

乗り降りの際は、シートベルトに足を引っかけないようにしてください。

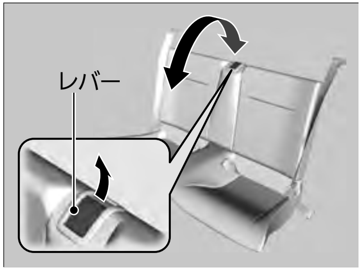
必要に応じてシートを前にスライドしてください。

➡フロントシートの動かしかた P.114

リヤシート

リヤシートの乗車スペースには余裕がないため、正しくシートベルトを着用できない場合は、リヤシートには乗車しないでください。

■ 背もたれの倒しかた

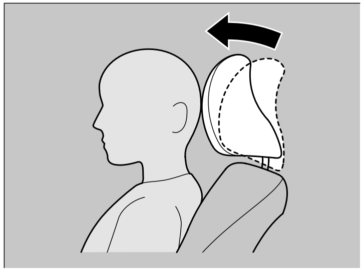


レバーを引いて、背もたれを倒します。

シートを元に戻したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

■ アクティブヘッドレスト



追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動し、頭部の過度な後方への傾きを防ぐことにより首への負担を軽減します。

» リヤシート

⚠注意

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

» ヘッドレスト

⚠注意

ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けない。
万一追突されたときにアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

アクティブヘッドレストは、追突されたときのみ作動します。
作動後は元の位置に戻ります。

室内灯

室内灯スイッチ

■ON
ドアの開閉に関係なく室内灯が点灯。

■ドア連動
以下のときに室内灯が点灯。
- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席ドアを解錠したとき
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき
- Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを 0 （プッシュオフ）にしたとき

■OFF
ドアの開閉に関係なく室内灯が消灯。

≫室内灯

ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約30秒後に消灯します。

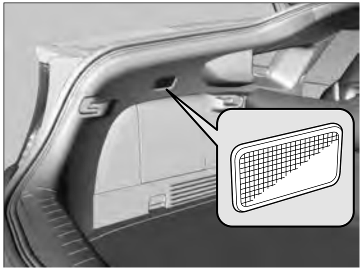
また、以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。
- 運転席ドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき
- Hondaスマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが 0 （プッシュオフ）以外の状態でドアを閉めたとき
- エンジンスイッチを II にしたとき

キーが差し込まれていない状態、Hondaスマートキーシステム装備車の場合はエンジンスイッチが 0 （プッシュオフ）のときにいずれかのドアを開けたままにすると、約15分後に消灯します。

■ マップランプ

室内灯スイッチが ON 以外のときは、レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

■ カーゴスペース照明灯



テールゲートを開けると点灯します。

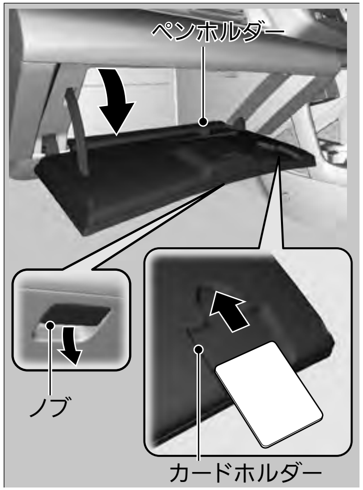
》マップランプ

知識

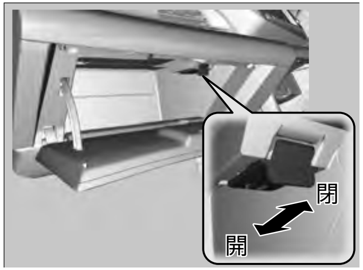
室内灯スイッチがドア連動のときは、ドア連動の機能が優先されます。

室内装備品

■ グローブボックス



ノブを引くと開きます。
内側にカードホルダーとペンホルダーが付いています。



エアコン連動温調機能：グローブボックス内にエアコンの風を導入し、缶などの飲み物を入れて保冷や保温ができます。

1. グローブボックス内の吹き出し口を押す。
2. エアコンを作動させ、モード切り換えスイッチでまたはを選ぶ。
   ▶ 吹き出し口から風が出てきます。
3. 温度を調節する。

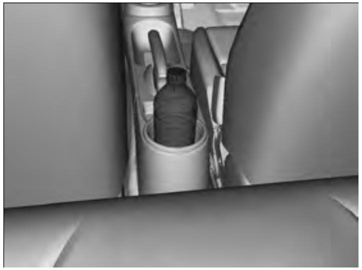
» グローブボックス

⚠警告

走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

カップホルダー

■フロントシート用カップホルダー



■リヤシート用カップホルダー

次ページに続く

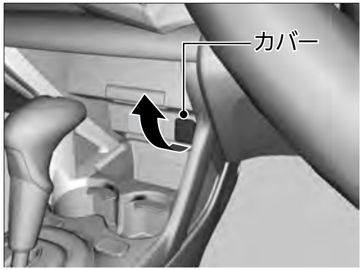
カップホルダー

⚠注意

飲みものなどを電装品にこぼさないように注意する。

スイッチなどの電装品に飲みものがかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

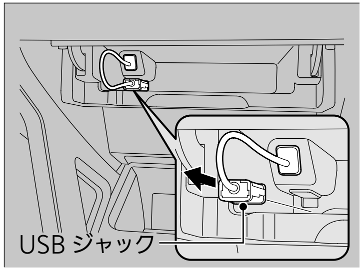
■ アクセサリーソケット



エンジンスイッチが[I]または[II]のときに使用できます。

カバーを開けて使います。

■ USB ジャック✻



センターロアボックス内にあります。

» アクセサリーソケット

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

消費電力120W（10A）以下のアクセサリーに、直流12Vの電源を供給します。

アドバイス

Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。

12Vバッテリーあがりやアクセサリーソケットの破損の原因となります。

シガレットライターは差し込まないでください。

発熱するおそれがあります。

知識

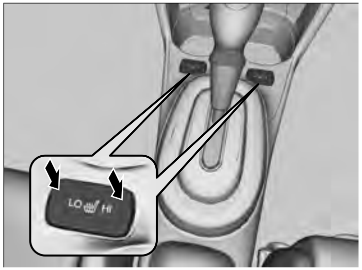
12Vバッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。

» USBジャック

詳しい操作については、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

各部の操作

■ シートヒーター✤



エンジンスイッチが II のとき使用できます。運転席、助手席のシートを暖めることができます。

スイッチを HI 側か LO 側に押します。
シートを早く暖めたいときは HI 側を押します。
暖まったら LO 側にしてください。
作動中、押している側の表示灯が点灯します。
スイッチを切るときは、反対側を軽く押し、表示灯を消します。

》シートヒーター

⚠注意

低温やけどに注意する。

次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。

- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

また、毛布など保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

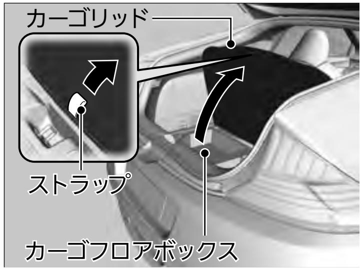
アドバイス

この装置は消費電力が大きいので、エンジンが停止しているときは長時間使わないでください。

12Vバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

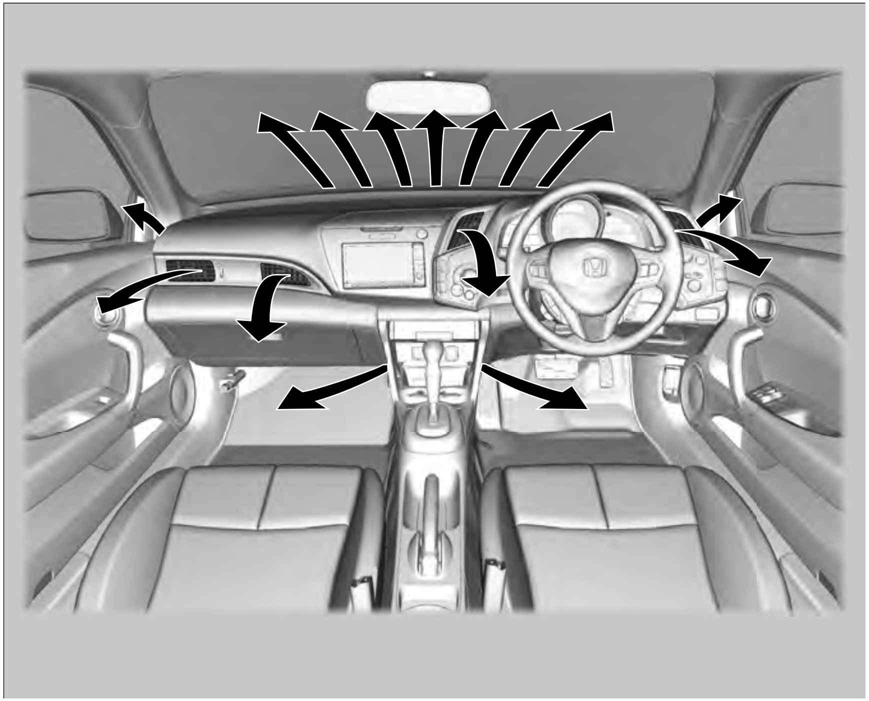
次ページに続く

カーゴフロアボックス

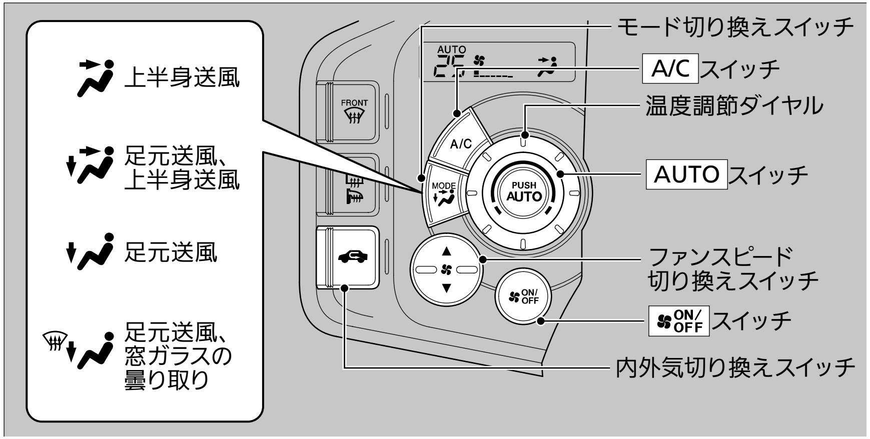


ストラップを引きながらカーゴリッドを開けます。

エアコンの吹き出し口



オートエアコンの使いかた



エンジンを始動してから使用します。

1. AUTO を押す。
2. 温度調節ダイヤルで温度を調節する。
3. 停止するときは、ON/OFF を押す。

■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて内外気切り換えスイッチを押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気（表示灯点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気（表示灯消灯）：換気を行う場合

■除湿暖房

暖房中に A/C を押すと、除湿暖房となります。

»オートエアコンの使いかた

オート(AUTO)で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。
このとき「AUTO」の表示は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

アイドリングストップ中は送風に切り換わります。
このとき、ECONモードでは送風を停止する場合があります。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、AUTO を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに操作しないでください。
設定温度への到達時間が長くなることがあります。

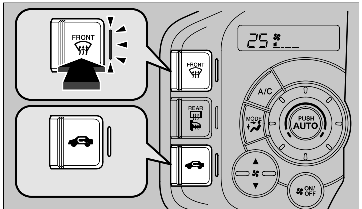
長時間、冷風を体に当てないでください。
冷やしすぎは、健康上良くありません。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

設定温度表示で「Lo」は最大冷房を、「Hi」は最大暖房を示します。

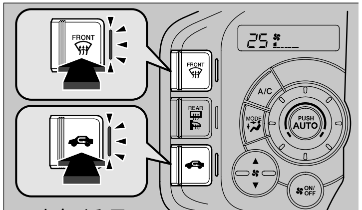
各部の操作

■ 前面・側面ガラスの曇り止め（デフロスター）の使いかた



外気導入
（表示灯消灯）

FRONT を押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。



内気循環
（表示灯点灯）

■急速に霜を取りたいとき

1. FRONT を押す。
2. （内気循環スイッチ）を押す。

≫前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

知識

オートマチック車

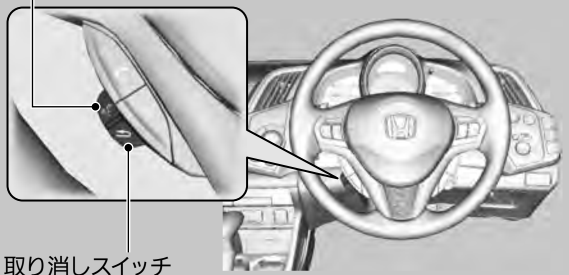
アイドリングストップ中に FRONT を押すと、エンジンが自動的に再始動します。

マニュアル車

アイドリングストップ中に曇り止めを使うときは、以下の手順により、エンジンを自動的に再始動させてください。

1. チェンジレバーを N （ニュートラル）にしていることを確認する。
2. クラッチペダルをいっぱいに踏み込む。
3. FRONT を押す。

音声でエアコンを調節する *



1. 発話スイッチを引く。
2. 「ピッ」と音が鳴ったら、目的の操作を言う。

発した言葉（例）	応答メッセージ
えあこんおん（エアコンオン）	エアコンをオンします
えあこんおふ（エアコンオフ）	エアコンをオフします
あつい	設定温度を 1 下げます
さむい	設定温度を 1 上げます
ないきじゅんかん（内気循環）	内気循環にします
がいきどうにゅう（外気導入）	外気導入にします
にじゅうごど（25℃）	設定温度を 25 にします （18 ～ 32℃の間で設定可能）

» 音声でエアコンを調節する

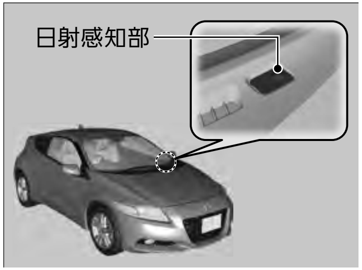
Hondaインターナビシステムが音声を認識すると、応答メッセージが流れます。

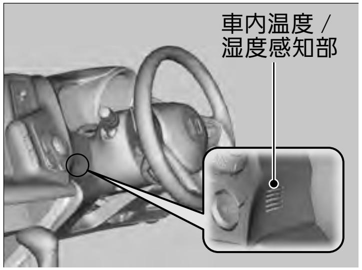
音声操作の詳細は、別冊の「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

■ 音声が正しく伝わらないとき

1. 取り消しスイッチを引く。
2. 再度、発話スイッチを引く。
3.「ピッ」と音が鳴ったら、目的の操作を言い直す。

オートエアコンのセンサー





オートエアコンには、センサー（日射感知部、車内温度 / 湿度感知部）が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。

オーディオ

この章では、ラジオやCDプレーヤーなどの操作方法について記載しています。

オーディオ装置
- 取り扱いについて …… 131

AM/FMチューナー付CDプレーヤー
- 各部の名称 …… 132
- 基本操作 …… 134
- ラジオの使いかた …… 136
- CDプレーヤーの使いかた …… 139
- AUX（オーディオ外部入力）端子の使いかた …… 146

オーディオリモートコントロールスイッチ …… 147

リヤカメラシステム …… 148
- 表示変更・調整の方法 …… 149
- カメラ画像について …… 151

オーディオ装置✤

Honda インターナビシステム装備車のオーディオ・テレビ・DVD の取り扱いについては、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

取り扱いについて

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全の妨げとなります。
- 運転中のオーディオ操作は、安全に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うと、オーディオに雑音が入ることがあります。

■ ラジオの受信状態について

ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

■ ディスクについて

ディスクの取り扱いにあたっては、以下の点にご注意ください。

- 左記マークのついているディスクを使用してください。
- ディスクは円形のものを使用してください。
- ディスクの信号面（記録面）を、直接手で触れないでください。
- 直射日光の当たるところを避けて保管してください。

≫ディスクについて

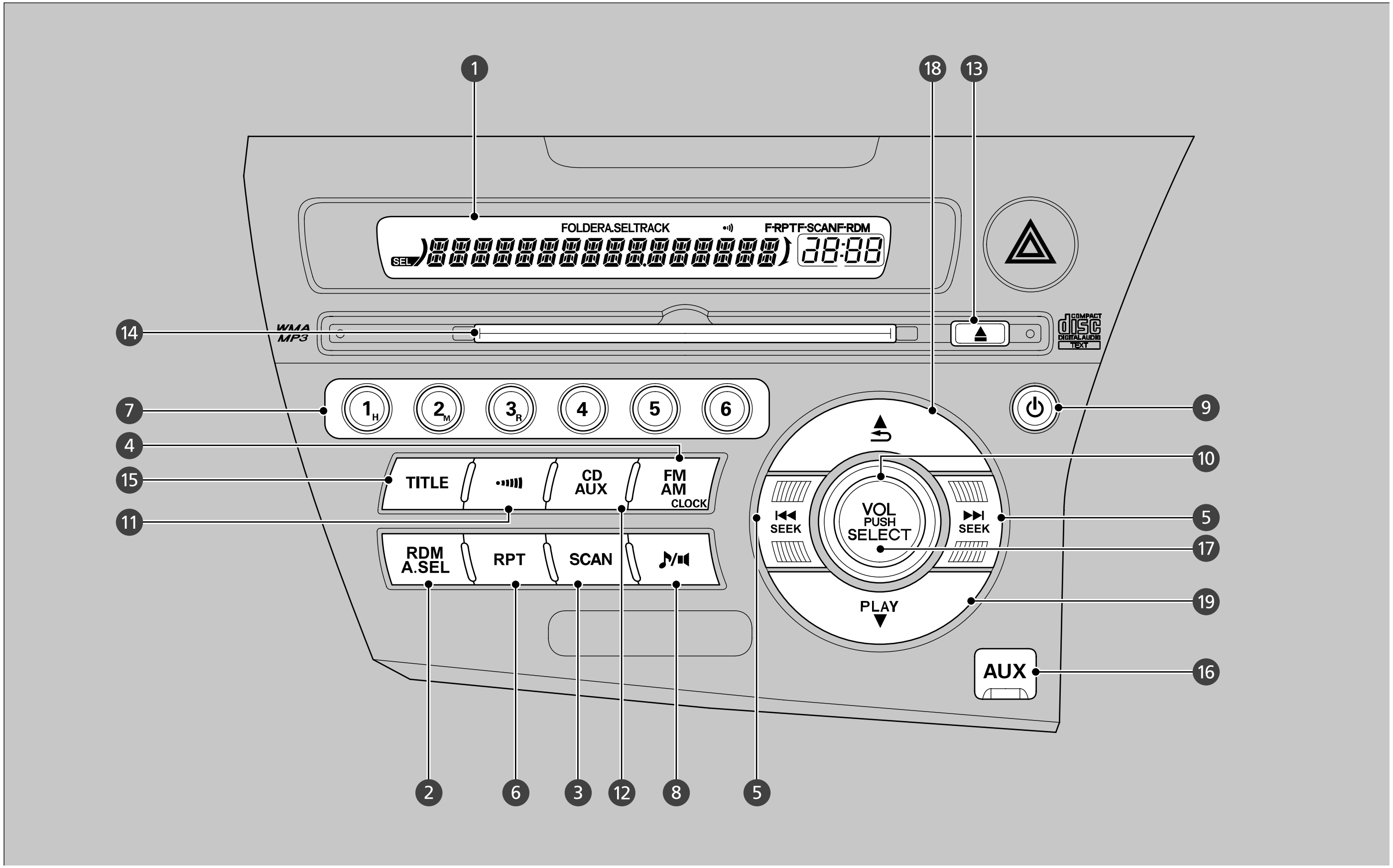
CD-R/CD-RWをご使用の場合、以下の点にご注意ください。

- CD-R/CD-RWは、録音に使用したレコーダーやディスクの状態により、再生できない場合があります。
- ビデオCDやDVDのディスクには対応していないため、再生できません。

寒いときや雨天のときにプレーヤーの内部が結露して、正しく作動しないことがあります。
その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿してからお使いください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

各部の名称


1
18
13
FOLDER A.SEL TRACK
F-RPT F-SCAN F-RDM
SEL
14
WMA
MP3
7
4
15
11
TITLE
CD
AUX
FM
AM
CLOCK
RDM
A.SEL
RPT
SCAN
9
10
VOL
PUSH
SELECT
SEEK
SEEK
5
17
PLAY
19
AUX
16
2
6
3
12
8
5

❶ 画面
選択中のラジオ局、再生中の CD などの情報と、時計が表示される画面です。

❷ RDM/A.SEL スイッチ
RDM：CD の曲をランダムに聞くときに押します。

A.SEL：放送局の違う地域へ出かけたときや、セットした放送局が聞けなくなったときに押します。

❸ SCAN スイッチ
ラジオ局を探すときや、CD の聞きたい曲を探すときに押します。

❹ AM/FM スイッチ
ラジオを聞くときに押します。

❺ |◀◀/▶▶| スイッチ
ラジオ局を探したり、CD の曲を選ぶときなどに押します。

❻ RPT スイッチ
CD の曲を繰り返し聞くときに押します。

❼ ワンタッチ選局スイッチ 1 〜 6
ラジオ局をあらかじめ設定しておき、ワンタッチで選局するためのスイッチです。

❽ ♪/◀| スイッチ
音質、バランス調節をするときに押します。

❾ ⏻ スイッチ
オーディオ装置の電源を入れるときに押します。

❿ VOL ツマミ
音量を調節するときに回します。

⓫ •ıııll スイッチ
交通情報を聞くときに押します。

⓬ CD/AUX スイッチ
CD：CD を聞くときに押します。
AUX：AUX 端子に接続した機器を使うときに押します。

⓭ ⏏ スイッチ
CD を取り出すときに押します。

⓮ CD 挿入口
CD のレーベル面を上にして挿入します。

⓯ TITLE スイッチ
画面に CD の情報などを表示させるときに押します。

⓰ AUX 端子
市販のポータブルオーディオなどを接続します。

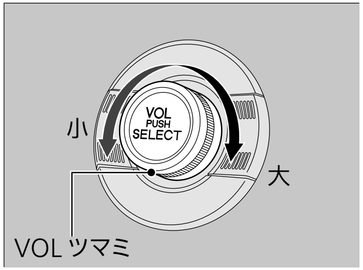
⓱ SELECT スイッチ
セレクトモードで操作するときなどに押します。

⓲ ▲ ⮌ スイッチ
MP3、WMA のフォルダーを選ぶときや、操作を解除するときなどに押します。

⓳ ▼ PLAY スイッチ
MP3、WMA のフォルダーを選ぶときや、CD の曲を選ぶときなどに押します。

基本操作

オーディオ装置はエンジンスイッチが I または II のときに使用できます。



■オーディオ装置の ON/OFF

⏻を押すと電源が ON になり、もう一度押すと OFF になります。

■音量の調節

VOL ツマミを回して、音量を調節します。

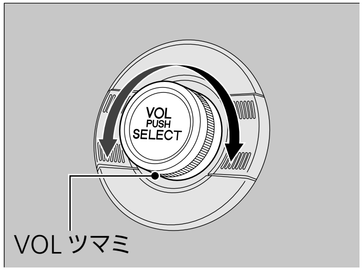
≫基本操作

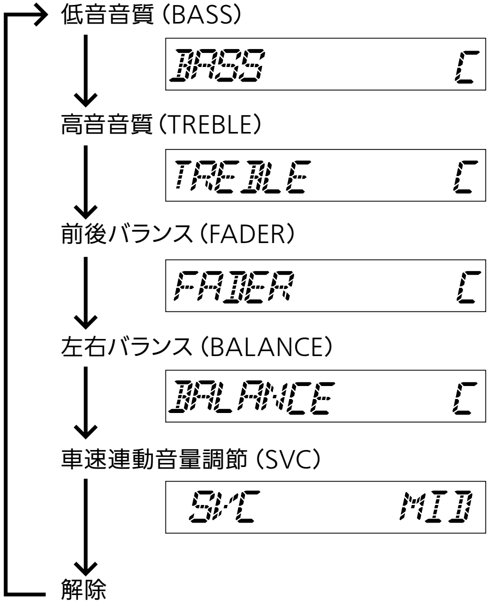
AM/FM や CD/AUX を押しても電源がONになります。

オーディオ

■音質・バランスの調節

[♪/🔈]を押します。
押すたびに項目が下図のように切り換わります。
設定項目を選び、VOL ツマミを回して、レベルを調節します。





»基本操作

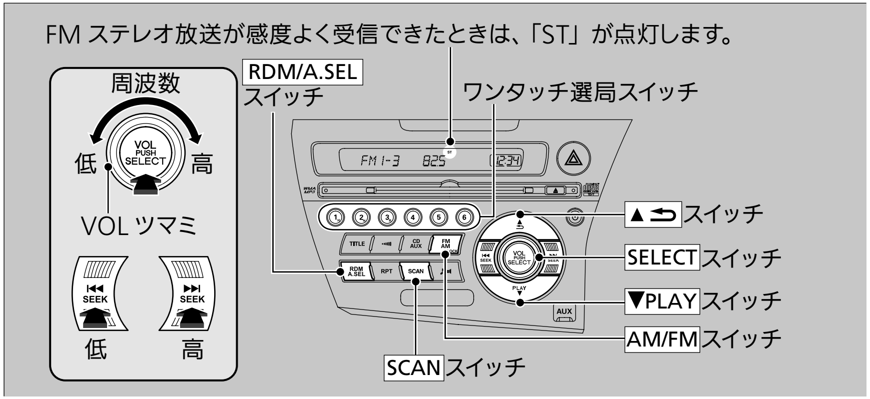
音質またはバランスレベルが中央のとき、画面に「C」が表示されます。

調節後、数秒が経過すると、自動的に音質・バランス調節モードが終了します。

車速連動音量調節（SVC）は、車の速度に応じて音量を自動調節する機能です。

- [HIGH]：車速に応じた音量変化を大きくするとき
- [MID]：工場出荷時の設定
- [LOW]：車速に応じた音量変化を小さくするとき
- [OFF]：機能を解除するとき

ラジオの使いかた



1. AM/FM を押してバンドを選ぶ。
▶ スイッチを押して、FM1/FM2/AM を選びます。

2. 選局する。

■ワンタッチ選局

あらかじめ登録してある放送局を受信するときは、1～6を押します。

➲放送局の登録 P.137

■手動選局

|◀◀または▶▶|を短く押すと、受信周波数が少しずつ変化します。

■自動選局

|◀◀または▶▶|を「ピッ」と音が鳴るまで押すと自動的に電波を探し、放送を受信すると止まります。

≫ラジオの使いかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、画面に「ST」と表示されます。

AM放送はステレオ受信できません。

受信電波が弱いと、自動選局では選局できないことがあります。

このようなときは、|◀◀または▶▶|の手動選局で選局してください。

オーディオ

■セレクトモードでの選局

1. SELECT を押す。(「SEL」が点灯)

2. VOL ツマミを回す。

▶ 受信周波数が少しずつ変わります。

3. 解除するときは、SELECT、▲ ⮌ または ▼ PLAY を押す。

■ 放送局の登録

AM6 局、FM12 局 (FM1、FM2 それぞれ 6 局) を登録できます。

■手動で放送局を登録する (プリセット)

1. AM/FM を押してバンドを選ぶ。

2. |◀◀ または ▶▶| で選局する。

3. 登録したいワンタッチ選局スイッチを選び、数秒間押す。

▶ 放送局が登録されると、「ピッ」と音がします。

■自動で放送局を登録する (オートセレクト)

RDM/A.SEL を押す。(「A.SEL」が点滅)

▶ 周波数の低い順から、ワンタッチ選局スイッチにFM 12 局、AM6 局を自動的に記憶します。(「A.SEL」が点灯)

■オートセレクトの解除

RDM/A.SEL を押す。(「A.SEL」が消灯)

▶ オートセレクトを解除すると、登録した放送局 (周波数) はオートセレクトをする前の状態に戻ります。

次ページに続く

≫ラジオの使いかた

セレクトモードは約10秒間VOLツマミを操作しないと、自動的に解除されます。

≫放送局の登録

受信できる放送局がAM6局、FM12局より少ないとき、残りのスイッチには記憶されません。

記憶されていないスイッチを押すと、周波数が「0」と表示されます。

オートセレクトした放送局を、個別に変更することもできます。(プリセット)

■ 放送局を探して受信する（スキャン）

1. SCAN を押す。（「SCAN」が点灯）
▶ 受信可能な放送局を周波数の低い順から約 10 秒間ずつ放送します。
2. 解除するときは、もう一度 SCAN を押す。
▶ 他のモードに切り換えたときも、解除されます。

■ 交通情報の受信

1. ●ıııl を押す。（「•ı))」が点灯）
▶ 周波数（1620kHz/1629kHz）の切り換えは、|◀◀ または ▶▶| で行います。
2. 解除するときは、もう一度 ●ıııl を押す。
▶ 他のモードに切り換えたときも、解除されます。

≫交通情報の受信

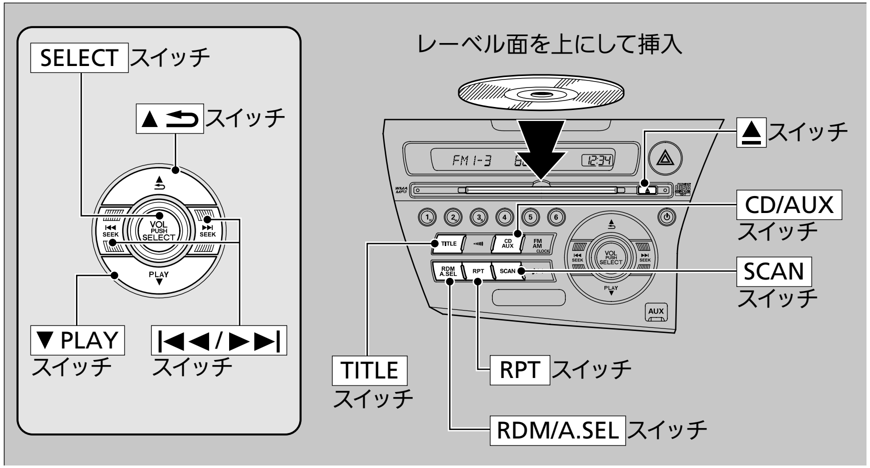
●ıııl を押して交通情報を受信しているときは、ワンタッチ選局スイッチによる選局はできません。

ワンタッチ選局スイッチを使う前に、●ıııl を押して交通情報を解除してください。

あらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

CD プレーヤーの使いかた

オーディオ CD のほかに、CD-R や CD-RW を再生することができます。



■ CD の再生

CD をレーベル面を上にして挿入する。CD がすでに入っているときは、CD/AUX を押す。

► CD を途中まで入れると、自動的に CD が引き込まれます。

■ CD の取り出し

1. ▲ を押す。

2. CD を取り出す。

次ページに続く

» CDプレーヤーの使いかた

CDプレーヤーは12cm CD専用です。8cm CDは使用しないでください。

アダプターを付けた8cm CDも使用しないでください。故障の原因になることがあります。

DRMにより著作権が保護されたWMA形式のファイルは再生することができません。

画面に「UNSUPPORTED」という表示が出て、次のファイルに進みます。

CDやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、CDが押し出されたまま約10秒間経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

エンジンスイッチを 0 にした場合でも、▲ を押すとCDを取り出すことができます。

■ 再生中の操作

■曲名やファイル名などの表示

再生中に、CD に記録されている情報を表示させることができます。

▶ CD にトラックなどの名称がない場合は「NO INFO」を表示します。

TITLE を押すたびに下記の内容が表示されます。

- **CD の場合**：アルバムタイトル→トラック名→アーティスト名
- **MP3、WMA の場合**：フォルダー名→ファイル名→アーティストタグ→アルバムタグ→トラックタグ

■早送り / 早戻し

|◀◀ または ▶▶| を押し続ける。

■スキップ / リプレイ

|◀◀ または ▶▶| を押す。

▶ リプレイ（再生中の曲または前の曲の頭出し）、スキップ（次の曲の頭出し）になります。

■フォルダ変更（MP3、WMA 再生時のみ）

▲ ⮌ または ▼ PLAY を押す。

» 再生中の操作

画面に表示されるのは、最大で16文字です。
17文字以上の場合は、TITLE を押し続けてください。残りの文字が表示されます。

入力されている名称が全角文字（英、数）、カタカナやひらがな、漢字の場合は「………」で表示されます。

オーディオトラックとMP3、WMAトラック（ファイル）の両方を記録したCDを再生しているときに CD/AUX を押し続けると、オーディオトラックとMP3、WMAトラックが切り換わります。

■セレクトモード

- **CD の場合**:

VOL ツマミで曲の選択をすることができます。

1. SELECT を押す。(「SEL」が点灯)

2. VOL ツマミを回す。

3. 聞きたい曲が表示されたら、SELECT または ▼PLAY を押す。

- **MP3、WMA の場合**:

VOL ツマミでフォルダーや曲を選択することができます。

1. SELECT を押す。(「SEL」が点灯)

2. VOL ツマミを回す。

3. 聞きたいフォルダーが表示されたら、SELECT または ▼PLAY を押す。

▶ SELECT を押すと、選択したフォルダーの中から曲を選択することができます。

▶ ▼PLAY を押すと、選択したフォルダーの先頭の曲から再生します。

4. VOL ツマミを回す。

5. 聞きたい曲が表示されたら SELECT を押す。

次ページに続く

聞きたい曲を探すとき（スキャン）

■ トラックスキャン

共通操作

1. SCAN を押す。（「SCAN」が点灯し、トラックナンバーが点滅）
▶ CD 内（MP3、WMA の場合は再生中のフォルダー内）の各トラックの始めを約 10 秒間つぎつぎに再生します。

- **CD の場合**：

2. 解除するときは、もう一度 SCAN を押す。

- **MP3、WMA の場合**：

2. 解除するときは、「ピッ」と音が鳴るまで SCAN を押し続ける。
▶「SCAN」、「F-SCAN」が消灯するまで、短く何回か押しても解除します。

■ フォルダースキャン（MP3、WMA 再生時のみ）

1. トラックスキャン中に SCAN を押す。（「F-SCAN」が点灯し、フォルダーナンバーが点滅）
▶ 各フォルダーの先頭のファイルの始めを約 10 秒間つぎつぎに再生します。

2. 解除するときは、「ピッ」と音が鳴るまで SCAN を押し続ける。
▶「SCAN」、「F-SCAN」が消灯するまで、短く何回か押しても解除します。

≫聞きたい曲を探すとき（スキャン）

すべての曲のスキャン再生が終わると、スキャンを開始した曲またはフォルダーから通常の再生になります。

オーディオ

■ 再生中の曲を繰り返し聞くとき（リピート）

■ トラックリピート

共通操作

1. RPT を押す。（「RPT」が点灯）
▶ 再生中のトラックを繰り返し再生します。

- **CD の場合**：

2. 解除するときは、もう一度 RPT を押す。

- **MP3、WMA の場合**：

2. 解除するときは、「ピッ」と音が鳴るまで RPT を押し続ける。
▶「RPT」、「F-RPT」が消灯するまで、短く何回か押しても解除します。

■ フォルダーリピート（MP3、WMA 再生時のみ）

1. トラックリピート中に RPT を押す。（「F-RPT」が点灯）
▶ 再生中のフォルダー内のファイルを繰り返し再生します。

2. 解除するときは、「ピッ」と音が鳴るまで RPT を押し続ける。
▶「RPT」、「F-RPT」が消灯するまで、短く何回か押しても解除します。

次ページに続く

■ 曲順をランダムに再生するとき

■ トラックランダム

- **CD の場合：**

1. RDM/A.SEL を押す。（「RDM」が点灯）
▶ CD 内すべてのトラックをランダムに再生します。

2. 解除するときは、もう一度 RDM/A.SEL を押す。

- **MP3、WMA の場合：**

1. フォルダーランダム中に RDM/A.SEL を押す。（「RDM」が点灯）
▶ CD 内すべてのトラックをランダムに再生します。

2. 解除するときは、「ピッ」と音が鳴るまで RDM/A.SEL を押し続ける。
▶「RDM」、「F-RDM」が消灯するまで、短く何回か押しても解除します。

■フォルダーランダム（MP3、WMA 再生時のみ）

1. RDM/A.SEL を押す。（「F-RDM」が点灯）
▶ 再生中のフォルダー内すべてのファイルをランダムに再生します。

2. 解除するときは、「ピッ」と音が鳴るまで RDM/A.SEL を押し続ける。
▶「RDM」、「F-RDM」が消灯するまで、短く何回か押しても解除します。

■ エラーメッセージ

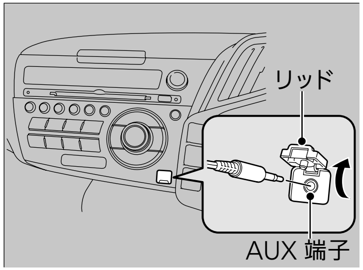
画面にエラーメッセージが表示された場合は、下表にしたがって点検してください。

画面	原因	対処のしかた
CHECK DISC	ディスクの読み込みができない（露つき、傷、汚れ、ディスクが裏返しなど）	• 汚れを拭き取ってください • ディスクを確認してください • ディスクのレーベル面を上にして挿入してください
BAD DISC PLEASE CHECK OWNERS MANUAL PUSH EJECT	ディスクの取り出しができない、機械的な不具合	1. ▲を押してディスクを取り出し、エラーメッセージが消えるか確認してください 2. ディスクに傷や汚れがないか点検し、再度ディスクを挿入してください 3. ディスクが取り出せない場合やエラーメッセージが消えない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください
UNSUPPORTED	著作権が保護された WMA トラック（ファイル）再生時、対応していないファイル形式で記録されているディスク再生時	再生できるディスクの種類を確認してください **➡ディスクについて** P.131

オーディオ

AUX（オーディオ外部入力）端子の使いかた✤

AUX 端子に市販のポータブルオーディオなどを接続して聞くことができます。



1. リッドを開ける。
2. ポータブルオーディオなどのヘッドホン端子から、市販の接続コード（抵抗なし）を使って AUX 端子に接続する。
▶ 自動的にAUXモードに切り換わります。

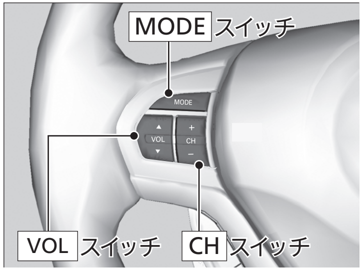
» AUX(オーディオ外部入力）端子の使いかた

AUX端子側はステレオミニプラグを使用してください。

知識
他のモードに切り換えるときは、AM/FM、CD/AUX を押してください。また、他のモードから CD/AUX を押すとAUXに切り換わります。

オーディオリモートコントロールスイッチ*

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。



MODE スイッチ
スイッチを押すたびに以下のように切り換わります。

Honda インターナビシステム装備車
FM1 → FM2 → AM → CD/DVD → HDD → USB → TV1 → TV2 →ビデオ

AM/FM チューナー付 CD プレーヤー装備車
FM1 → FM2 → AM → CD → AUX

VOL スイッチ
▲**を押す**：音量が大きくなります。
▼**を押す**：音量が小さくなります。

CH スイッチ
・ラジオを聞いているとき、テレビを見ているとき
＋**を押す**：プリセットされている次の放送局を選局します。
－**を押す**：プリセットされている前の放送局を選局します。
AM/FM チューナー付 CD プレーヤー装備車
＋、－**を長く押す**：「ピッ」と音が鳴るまで押すと、自動選局になり放送局を受信すると止まります。

・CD、USB デバイス、HDD（サウンドコンテナ）を聞いているとき
＋**を押す**：スキップ（次の曲の頭出し）します。
－**を押す**：リプレイ（再生中や前の曲の頭出し）します。
AM/FM チューナー付 CD プレーヤー装備車
＋、－**を長く押す**：MP3/WMA の場合、「ピッ」と音が鳴るまで押すとフォルダーの選択ができます。

・DVD を見ているとき
＋**を押す**：スキップ（次のチャプターの頭出し）します。
－**を押す**：リプレイ（再生中や前のチャプターの頭出し）します。

》オーディオリモートコントロールスイッチ

ディスクが挿入されている場合、CD/DVDに切り換わります。

AUX端子が接続されている場合、AUXに切り換わります。

HDDサウンドコンテナ、DVDの詳細については、「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

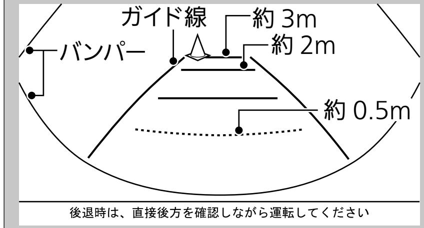
リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、ナビゲーションシステムの液晶画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

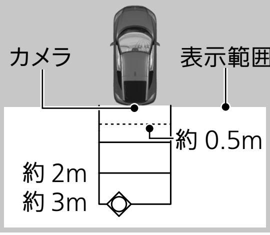
セレクトレバーまたはチェンジレバーを R に入れると自動的に画面が切り換わります。

画面に表示される映像の範囲

画面の表示



実際の状況



リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しています。
そのため、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が歪んで表示されることがあります。
画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

» リヤカメラシステムについて

⚠注意

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。

画面を見るときは、必要最小限にする。
画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識
- リヤカメラシステムの映像は、ナビゲーション画面よりも優先して表示されます。
- エンジン始動直後は、セレクトレバーまたはチェンジレバーを R の位置に入れても、ナビゲーションシステムが起動するまでリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。

オーディオ

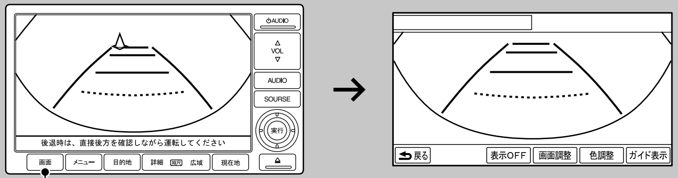
表示変更・調整の方法

リヤカメラシステムは、以下の表示変更が行えます。

- **ガイド表示** : 画面に表示されるガイド線の表示、非表示の切り換え
- **色調整** : 画面の色合い、色の濃さの調整
- **画面調整** : 画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さの調整
- **表示 OFF** : 画面の表示を消す

■ 操作手順

操作手順	ガイド表示	色調整	画面調整	表示 OFF
1.	共通操作 エンジン停止を確認する。			
2.	共通操作 パーキングブレーキがかかっていることを確認する。			
3.	共通操作 エンジンスイッチを II の位置まで回す。			
4.	共通操作 セレクトレバーまたはチェンジレバーを R の位置に入れる。			
5.	共通操作 画面 を押す。			



画面 スイッチ

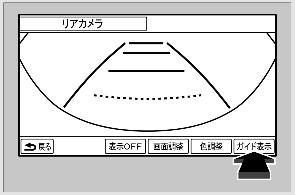
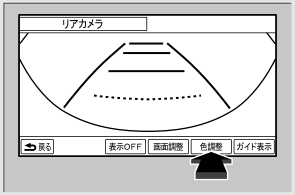
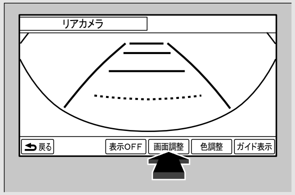
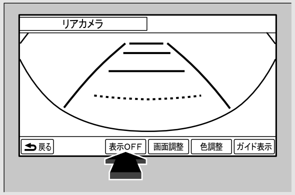
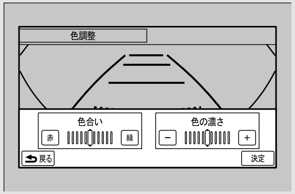
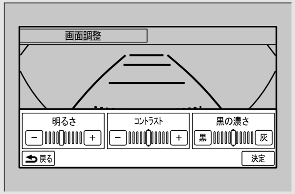
≫表示変更・調整の方法

安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

オーディオ

次ページに続く

操作手順	ガイド表示	色調整	画面調整	表示 OFF
6.	「ガイド表示」にタッチする。  	「色調整」にタッチする。  	「画面調整」にタッチする。  	「表示 OFF」にタッチする。 ▶ 画面の表示が消えます。 
7.	ガイド線を表示しないときは「しない」、表示するときは「表示する」にタッチする。 	**色合い**：「赤」または「緑」にタッチする。 **色の濃さ**：「−」または「+」にタッチする。  	**明るさ**：「−」または「+」にタッチする。 **コントラスト**：「−」または「+」にタッチする。 **黒の濃さ**：「黒」または「灰」にタッチする。  	−
8.	−	「決定」にタッチする。 ▶ 調整が完了し、元の画面に戻ります。	「決定」にタッチする。 ▶ 調整が完了し、元の画面に戻ります。	−

カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	• 夜間や雨の日、および暗い場所 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合※	気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。
	• カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合 • カメラのレンズが汚れている場合	ぬれた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
画面の表示がずれている	カメラの本体やその周辺部に、強い衝撃や力が加わった ▶ カメラの本体やその周辺部に、強い衝撃や力を加えないでください。	カメラの使用を止めて、Honda 販売店にご相談ください。

※：強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象が起きることがあります。

運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。

運転の前に 153

運転操作

エンジンの始動 155

走行時の注意点 157

オートマチックについて 159

シフト操作 160

3モードドライブシステム 169

クルーズコントロール 170

VSA（ビークルスタビリティアシスト） 173

ブレーキ操作

ブレーキシステム 175

ABS（アンチロックブレーキシステム） 177

電子制御ブレーキアシスト 178

駐停車操作 179

オートアイドルストップシステム（オートマチック車） 180

オートアイドルストップシステム（マニュアル車） 183

給油

指定燃料について 187

給油のしかた 187

アクセサリーと改造 190

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか?
  - ▶ 霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
  - ▶ 屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
    氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  - ▶ 足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか?
  - ▶ 走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か?
  - ▶ 空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
    タイヤの点検と整備 P.208
- 車の周囲に子供はいないか?
  車の周りに障害物はないか?
  - ▶ 運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

車内での確認項目

- フロアマットがペダルに引っかかっていないか?
- フロアマットが固定されているか?
- フロアマットを重ねていないか?
  - ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。

次ページに続く

車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。
無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。
凍結すると、キーが差し込めなくなります。

車内での確認項目

運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

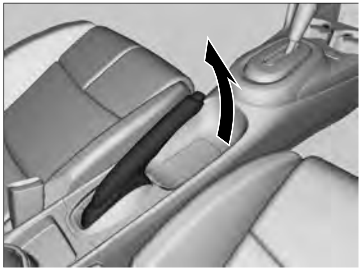
車に合ったフロアマットをお使いください。

- フロントシートの足元にものを置いていないか?
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか?
  ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか?
  ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか?
  ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか?
  ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
  シートの調節 P.114
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか?
  ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
  ミラー類の調節 P.112

  ハンドルの調節 P.111
- すべての乗員がシートベルトを締めているか?
  ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
  シートベルトの着用 P.30
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか?
  ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが確実に閉まっているか確認します。
  車内での施錠/解錠 P.94
- エンジンが始動したとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか?
  ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
  警告灯 P.57

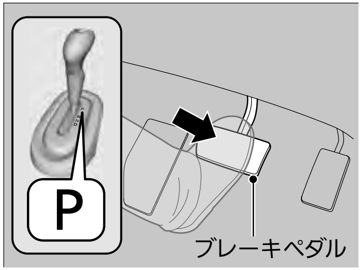
運転

エンジンの始動



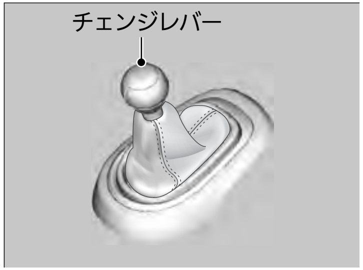
共通操作

1. パーキングブレーキをかける。



オートマチック車

2. セレクトレバーがPであることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。
▶ Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。



マニュアル車

2. チェンジレバーがN（ニュートラル）であることを確認し、右足でブレーキペダル、左足でクラッチペダルを踏む。
▶ 思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンが始動しません。

次ページに続く

»エンジンの始動

⚠警告

12V バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。
12V バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

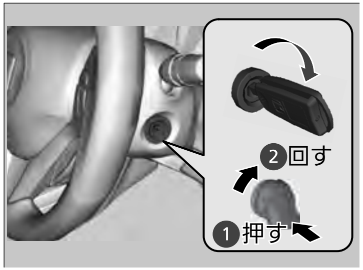
エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

知識

寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリーをOFFにしてから行います。
寒いときのエンジンの始動は、12Vバッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリーをすべてOFFにしてから行ってください。

エンジンスイッチを15秒以上IIIにしないでください。
エンジンが始動したらすぐに、手を離してください。自動的にIIに戻ります。

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。
イモビライザーシステム P.97



共通操作

3. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを[III]に回す。
   ▶ エンジンが始動したら、エンジンスイッチを離します。

■ 発進時の操作

オートマチック車

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを[D]にする。
   ▶ 後退する場合は[R]にします。
2. パーキングブレーキを解除する。
   ▶ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。
   パーキングブレーキ P.175

» エンジンの始動

アドバイス

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。
Honda販売店で点検を受けてください。

知識

エンジンが始動しない場合は、10秒以上待ってから操作してください。

» 発進時の操作

⚠注意

アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。
急発進して思わぬ事故の原因となります。

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。
車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

オートマチック車

発進補助ブレーキ機能を装備しています。
セレクトレバーが[D] [N]のとき、停止状態からの発進はブレーキペダルから足を離しても一時的にブレーキ力を保持しています。

運転

3. ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

走行時の注意点

■ 霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

■ 風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。
トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

次ページに続く

≫発進時の操作

マニュアル車

チェンジレバーが N （ニュートラル）以外のとき、ヒルスタートアシスト（上り坂発進補助機能）により、急な坂道に停車するとブレーキ力が自動的に保持されます。
ブレーキペダルから足を離すと約1秒後に解除されます。

知識

VSA警告灯が点灯したときは、システムは作動しません。
➔VSA警告灯 P.173

≫走行時の注意点

走行中はエンジンを停止しないでください。
下記のような状態になり危険です。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

走行中はセレクトレバーを N にしないでください。
エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。
わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンの破損や電装品の故障につながるおそれがあります。

その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

≫走行時の注意点

車を移動するときは、必ずエンジンを始動してください。
下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

≫雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。
ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

≫その他の注意点

⚠注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。
滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

オートマチックについて

■ クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

■ キックダウン

セレクトレバーが D で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

>> クリープ現象

エンジン始動直後は、クリープ現象が強くなります。
エンジン始動直後やエアコン作動時は、自動的にエンジン回転が上がりクリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。
ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

>> キックダウン

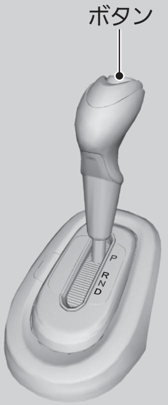
上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。
アクセルペダルは慎重に操作してください。
滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

シフト操作

オートマチック車

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■セレクトポジションの名称とはたらき



P **パーキング**
駐車またはエンジンの始動

R **リバース**
車を後退

N **ニュートラル**
アイドリング状態

D **ドライブ**
- 通常走行
- 一時的に 7 速マニュアルシフトモードにするとき（ECON モード・NORMAL モードのとき）
- 7 速マニュアルシフトモードにするとき（SPORT モードのとき）
- L モードにするとき

»シフト操作

セレクトレバーが P 以外のときは、エンジンスイッチが 0 まで回らないため、キーを抜くことはできません。

R のポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。

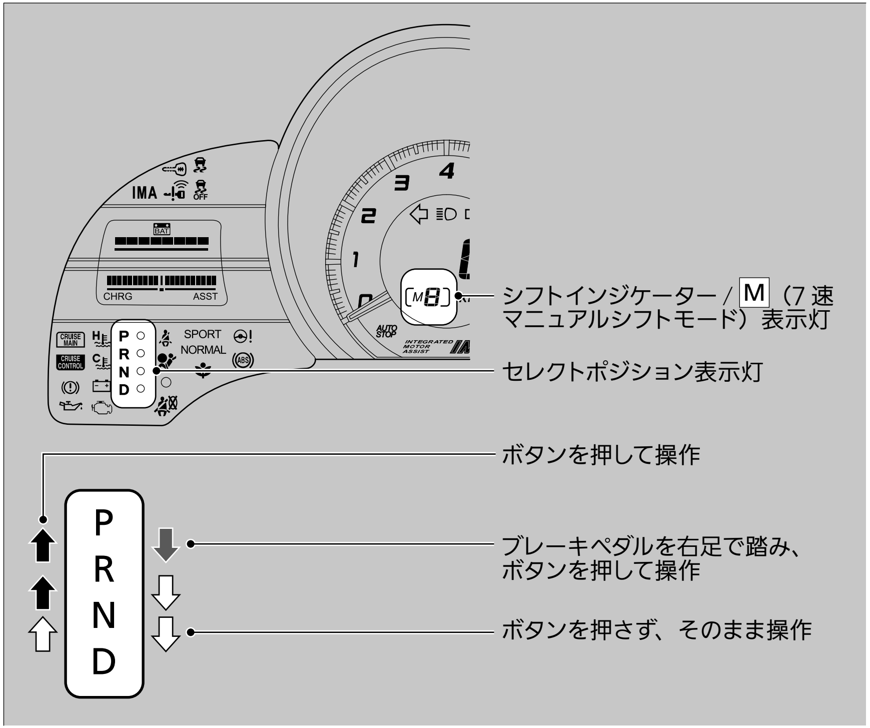
N のポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。 ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

運転

セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。

エンジンスイッチをIIにすると、Dが数秒点灯します。



次ページに続く

≫セレクトレバーの操作

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしてもDの表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda販売店で点検を受けてください。

知識

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

運転

■ 7 速マニュアルシフトモードとは

ハンドルにあるシフトスイッチで、ハンドルから手を離さずに手動で 1 ～ 7 速まで変速することができます。走行中にシフトスイッチを引くと、7 速マニュアルシフトモードへ切り換わります。エンジンブレーキが必要なときにも、使用してください。

■ECON モードまたは NORMAL モードのとき

一時的に 7 速マニュアルシフトモードとなり、シフトインジケーターが点灯します。
一定速走行や加速の状態になると、7 速マニュアルシフトモードは自動的に解除されます。また、いずれかの 3 モードスイッチを押すか、＋のシフトスイッチ（右側）を数秒間引き続けることでも解除することができます。
カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

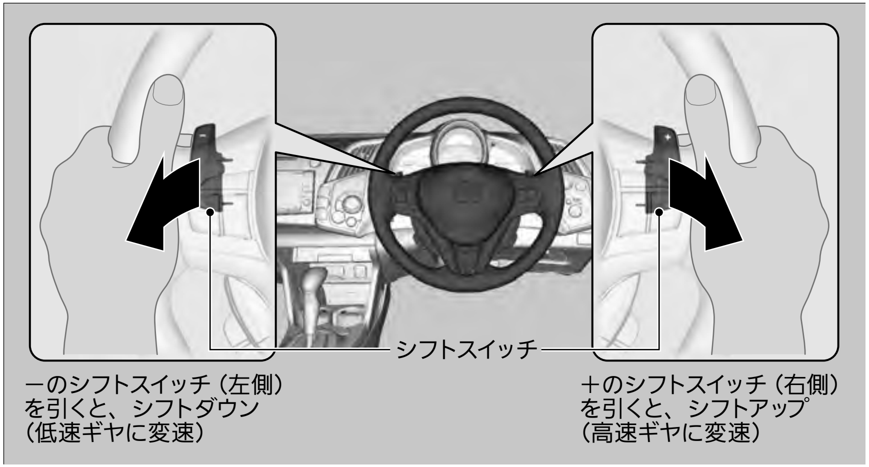
■SPORT モードのとき

7 速マニュアルシフトモードとなり、M表示灯とシフトインジケーターが点灯します。
シフトスイッチを操作せずに車速が下がると、順次低速ギヤに自動的にシフトダウンし、停止すると 1 速にシフトダウンします。
車速が上がりエンジン回転数が限界回転数（レッドゾーン）に近づくと、自動的に 1 段シフトアップします。
発進は 1 速でのみ行うことができます。
モードを解除する場合は、いずれかの 3 モードスイッチを押すか、＋のシフトスイッチ（右側）を数秒間引き続けてください。7 速マニュアルシフトモードが解除され、M表示灯とシフトインジケーターが消灯します。

» 7速マニュアルシフトモードとは

シフトインジケーターが7速を表示中に条件を満たすと燃費向上のため、さらに高速の変速比に切り換わります。このとき、シフトインジケーターは7速のままとなります。

■ 7 速マニュアルシフトモードの操作



次ページに続く

≫7速マニュアルシフトモードの操作

7速マニュアルシフトモードでは、以下の条件のときにシフトスイッチを操作すると変速します。

シフトアップ：変速後のエンジン回転数が1,100rpm以上になるとき

シフトダウン：変速後のエンジン回転数が5,600rpm以下になるとき

知識

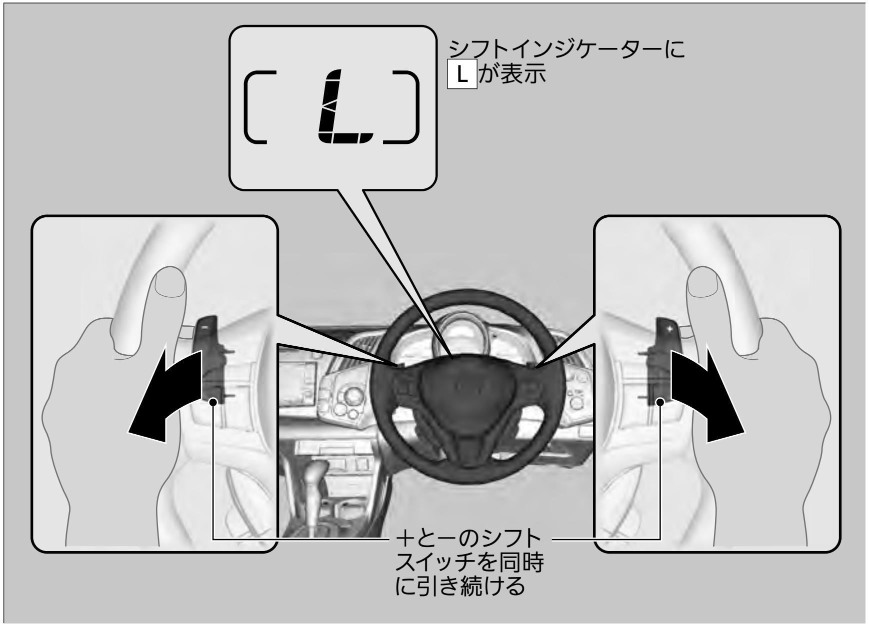
エンジン回転数が6,000rpm以上になると、自動的にシフトアップします。

エンジン回転数が1,100rpm以下になると、自動的にシフトダウンします。

滑りやすい路面でシフトスイッチを操作したときに、タイヤがロックするような場合、7速マニュアルシフトモードから通常走行に戻る場合があります。

■ L モードの操作

急な上り坂を上るときなどに使用します。
セレクトレバーが D のときに切り換えることができます。



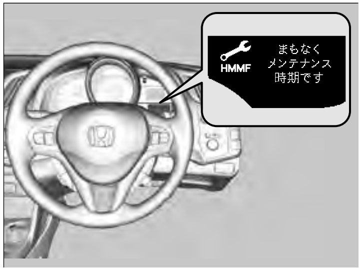
モードを解除する場合は、再度、＋と－のシフトスイッチを同時に引き続けるか、いずれかの 3 モードスイッチを押してください。L モードが解除され、シフトインジケーターが消灯します。

»Lモードの操作

7速マニュアルシフトモードを使用しているときよりも、強いエンジンブレーキが必要なときには、Lモードを使用します。

運転

■ HMMF メンテナンス表示



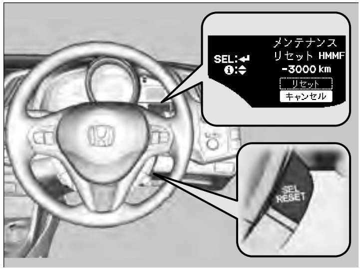
エンジンスイッチがⅡのときに、リセットしてからの走行距離に応じて、HMMF（Honda マルチマチックフルード）の交換時期の目安をマルチインフォメーションディスプレイに表示してお知らせします。

リセットしてからの走行距離	ディスプレイ表示	
約38,000km走行時	HMMF まもなく メンテナンス 時期です	インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲/▼）を押すと表示OFF
約39,000km走行時	HMMF メンテナンス して下さい	インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲/▼）を押すと表示OFF
約40,000km以上	HMMF メンテナンス時期 を過ぎています -3000 km	リセット操作をするまで再表示可能

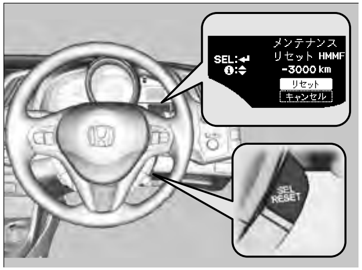
次ページに続く

■表示のリセット

1. 車幅灯が消灯していることを確認し、SEL/RESET を操作したまま、エンジンスイッチを II にする。



2. そのまま SEL/RESET をマルチインフォメーションディスプレイが「メンテナンスリセット」画面に切り換わるまで操作し続ける。



3. インフォメーション（ℹ）スイッチ（▲ / ▼）を押して「リセット」を選択し、SEL/RESET を操作して決定する。

▶「メンテナンスリセット完了しました」とメッセージが表示されたら、インフォメーション（ℹ）スイッチ（▲ / ▼）を押すと通常表示に戻ります。

≫表示のリセット

SEL/RESET、インフォメーション（ℹ）スイッチ（▲/▼）の位置は装備により異なります。

➡**マルチインフォメーションディスプレイ** P.71

次回の交換時期の表示を正しくさせるため、HMMF交換直後にリセット操作を行ってください。

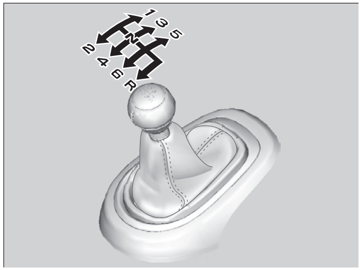
運転

シフト操作

マニュアル車

チェンジレバーの操作

変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。



次ページに続く

»チェンジレバーの操作

アドバイス

車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。

トランスミッション破損の原因となります。

誤操作を防ぐため、一定車速以上では、Rへ直接チェンジレバーを切り替えることはできません。

停車してもRに入らないときは、一度N（ニュートラル）へ戻し、1、2側へ倒してからRにいれてください。

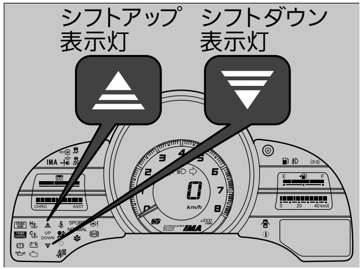
エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～55km/h
2	15～90km/h
3	20～130km/h
4	25km/h～
5	35km/h～
6	40km/h～

エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン（限界回転数）以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

運転

■ シフトアップ / ダウン表示灯



省燃費走行のため、チェンジレバーのシフトチェンジに適したタイミングを点灯によりお知らせします。

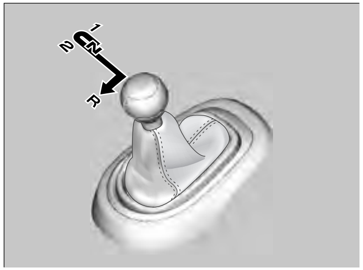
シフトアップ表示灯 : シフトアップ推奨時に点灯

シフトダウン表示灯 : シフトダウン推奨時に点灯

▶ SPORT モードのときは、点灯しません。

■ R に入らないとき

一度 N （ニュートラル）に戻し、1 、2 側へ倒してから R に入れても入らない場合は下記の操作をしてください。



1. パーキングブレーキをかけてエンジンスイッチを I または 0 にする。
2. クラッチペダルを踏み込んで、チェンジレバーを R にする。
3. クラッチペダルを踏み込んだまま、エンジンを始動する。

≫シフトアップ/ダウン表示灯

シフトダウン表示灯は、下り坂などでエンジンブレーキのためのシフトダウンを促すものではありません。

知識

シフトダウンするときは、速度範囲に従ってください。

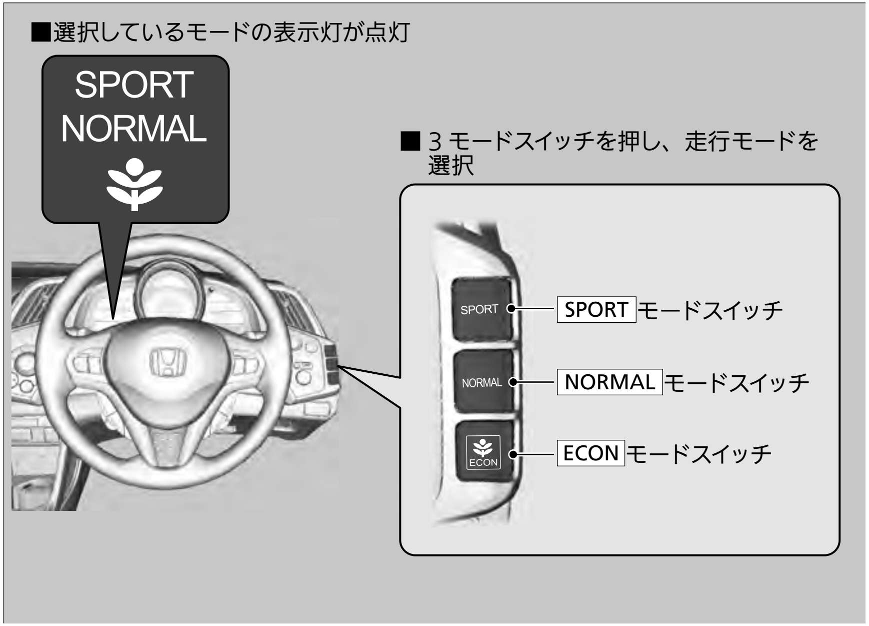
2 から 1 へのシフトダウン表示灯の点灯はありません。

シフトアップ/ダウン表示灯の点灯に合わせて操作しないと、省燃費走行ができないため、アンビエントメーターの色が変化することがあります。

運転

3 モードドライブシステム

エンジンスイッチを II にしたときは、常に NORMAL モードになります。
その後、自分の走行したいモードを、各スイッチを押して選択できます。
メーターとマルチインフォメーションディスプレイに、選択している走行モードが表示されます。



3モードドライブシステム

ECONモードでエンジンを停止した後、再始動するときに、ECONモードを保持するカスタマイズができます。

カスタマイズ機能 P.77

ECONモードのときはエンジン、トランスミッション、エアコン、クルーズコントロール、IMAシステムの作動を制御して、省燃費運転をしやすくするように制御します。

ECONモードのときは、走行中にエアコンの効きが弱くなる場合があります。

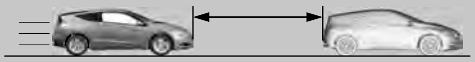
クルーズコントロール ✤

高速道路のような加速 / 減速操作の少ない自動車道などで、定速運転をするときアクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つための装置です。
クルーズコントロールは手元のスイッチ操作で、車速の上げ / 下げなどが行えます。

こんなときに

■使用できる車速
約30～100km/hの範囲の希望値

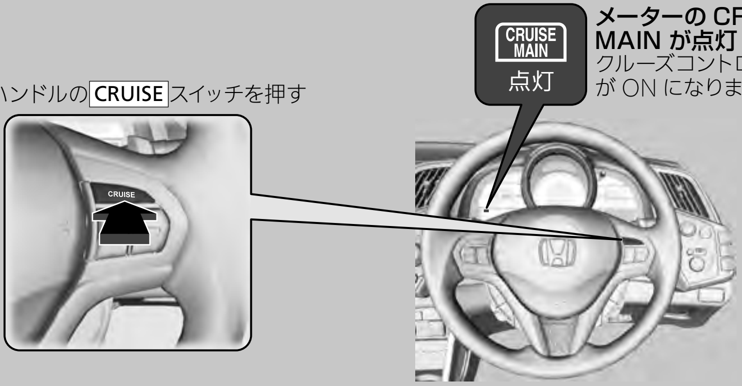
十分な車間距離がある



▼

操作

■ハンドルの CRUISE スイッチを押す



メーターの CRUISE MAIN が点灯
クルーズコントロールが ON になります。

» クルーズコントロール

⚠警告

下記のような道路で、クルーズコントロールを使用しない。
道路状況によっては、思わぬ事故につながります。

- **混んでいて、車間距離が十分にとれない道路**
  道路状況に合った速度で走行できません。
- **急な下り坂のある道路**
  エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。
- **凍結や積雪などで滑りやすい道路**
  タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

知識

エンジンスイッチを I または 0 にするとクルーズコントロールは自動的にOFFになります。

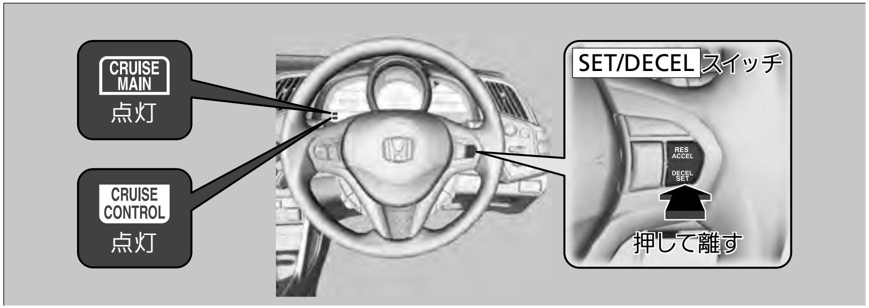
上り坂や下り坂では、条件により一定速度を保てない場合があります。

ECONモードのときは、よりスムーズな加速となります。

マニュアル車

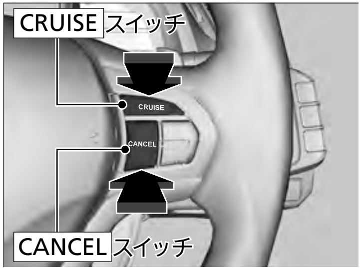
クルーズコントロール中は、シフトアップ/ダウン表示灯は表示されません。

車速をセットするには



アクセルペダルで希望の車速を出し、SET/DECEL を押します。
SET/DECEL を離すと、離したときの車速にセットされ自動定速走行になります。
同時に、CRUISE CONTROL 表示灯が点灯します。

解除するには



次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。同時に、CRUISE CONTROL 表示灯が消灯します。

- CANCEL を押す
- CRUISE を押す
- ブレーキペダルを踏む
- クラッチペダルを踏む
- セレクトレバーまたはチェンジレバーを N（ニュートラル）にする

次ページに続く

》車速をセットするには

自動定速走行をしないとき

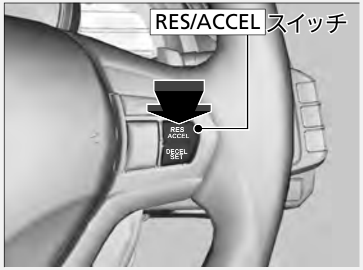
安全のため CRUISE を押してOFFにしてください。

エンジンスイッチを I または 0 にすると、CRUISE は自動的にOFFになります。

》解除するには

解除前の設定車速を復帰させる

自動定速走行を解除したあとでも、30km/h以上の車速で走行中に RES/ACCEL を押すことで、解除前の設定車速の自動定速走行に戻すことができます。



ただし、下記の場合は復帰できません。

- 解除後、車速が30km/h未満になったとき
- CRUISE でOFF操作をしたとき

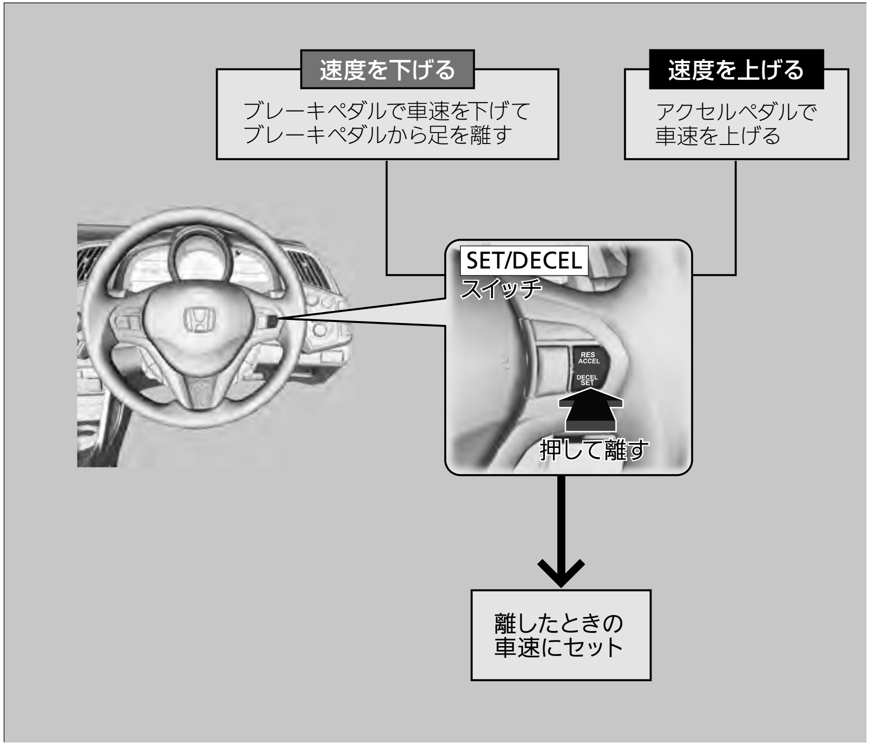
車速が25km/h以下になると

自動的に自動定速走行が解除になります。

運転

■ 車速を調節するには

アクセルペダル、ブレーキペダルの操作で希望車速を上げ/下げして、手元の SET/DECEL で車速を設定することができます。

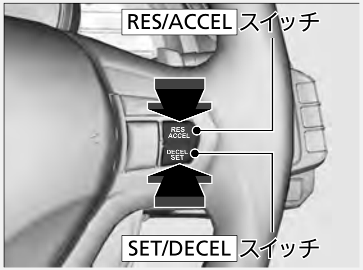


»車速を調節するには

手元のスイッチで車速を調節

手元の RES/ACCEL と SET/DECEL の操作でも、車速を上げ/下げすることができます。

RES/ACCEL スイッチ
- 1回押すごとに
  約1.5km/hずつ車速が上がる
- 押し続けると
  車速が上がり、手を離したときの車速に固定



SET/DECEL スイッチ
- 1回押すごとに
  約1.5km/hずつ車速が下がる
- 押し続けると
  車速が下がり、手を離したときの車速に固定

VSA（ビークルスタビリティアシスト）

VSAとは、ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

■ABS（アンチロックブレーキシステム）機能 P.177

■TCS（トラクションコントロールシステム）機能

滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

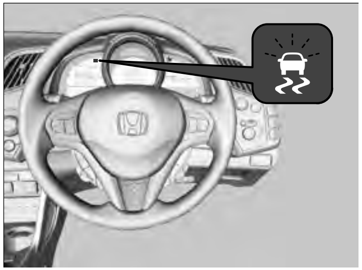
■横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装着しています。

電子制御ブレーキアシスト P.178

■VSAの作動と警告灯



TCS機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA警告灯が点滅します。

次ページに続く

VSA（ビークルスタビリティアシスト）

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSAが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

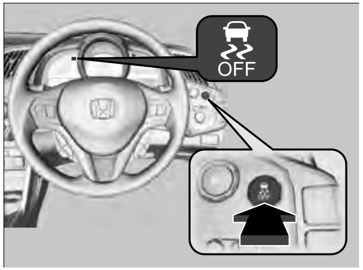
新雪やぬかるみから脱出したいときに、[OFF]でVSAをOFFにするとエンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が空転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS機能と横滑り抑制機能がOFFになるため、走行には十分に気をつけてください。

VSA警告灯が運転中に点灯するときはシステムの異常が考えられます。

通常の運転には支障はありませんが、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

VSA の ON と OFF



VSA を停止(OFF) 状態にするには、 を「ピッ」とブザーが鳴るまで押してください。

VSA が停止状態になり VSA OFF 警告灯が点灯します。

再度使用(ON)するには、を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

»VSA（ビークルスタビリティアシスト）

知識

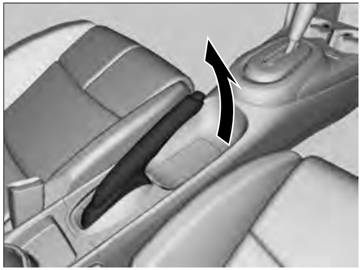
前回の走行時にOFFにした場合でも、再度エンジンを始動すると自動的にONになります。

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

ブレーキシステム

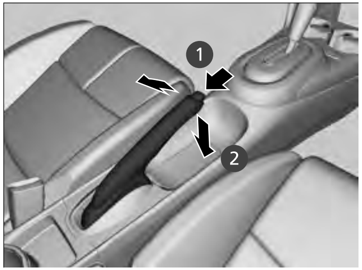
■ パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキレバーにより操作します。



■パーキングブレーキをかける

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



■パーキングブレーキを解除する

1. レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押す。
2. ボタンを押したまま、レバーを下まで完全に下ろす。

次ページに続く

≫パーキングブレーキ

アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車軸が損傷するおそれがあります。
パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

知識

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザーが鳴ります。
完全に解除すると、ブザーは止まります。
停車したときも、ブザーは止まります。
また、マルチインフォメーションディスプレイに「パーキングブレーキを解除して下さい」と表示されます。
パーキングブレーキを解除するときは、いったん停車してから操作してください。

駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時は、凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけないでください。

オートマチック車

セレクトレバーを P にして、石などで輪止めをしておきます。

マニュアル車

チェンジレバーを R か、 1 にして、石などで輪止めをしておきます。

フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。緊急制動時により大きな制動力を発生させる電子制御ブレーキアシストが装備されています。

➲**電子制御ブレーキアシスト** P.178

また、ブレーキのロックを防止するABS（アンチロックブレーキシステム）で、安全性の向上を図っています。

➲**ABS（アンチロックブレーキシステム）** P.177

》フットブレーキ

ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。

Honda販売店で点検を受けてください。また、きしむような音がときどき聞こえるのは、異常ではありません。

知識

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

■ ABSとは

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

■ABSの作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これはABSの正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。なお、低速（車速約10km/h以下）ではABSは作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。

ABS警告灯

エンジンスイッチを II にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

⊠ABS（アンチロックブレーキシステム）

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

ABS警告灯が運転中に点灯するときや、エンジンスイッチを II にしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABSが作動していない可能性があります。

ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABSは、制動距離を短くするためのものではありません。

ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。

ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABSの装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

電子制御ブレーキアシスト

■ 電子制御ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

■電子制御ブレーキアシストの作動

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

➡**VSA（ビークルスタビリティアシスト）** P.173

» 電子制御ブレーキアシスト

知識

VSA警告灯が点灯しているときは、VSAシステムによる電子制御ブレーキアシストは作動しません。

なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。

オートマチック車

停車する

1. セレクトレバーはDのまま、ブレーキペダルをしっかり踏む。
   ▶ 停車時間が長い場合はNにします。
2. 必要に応じて、パーキングブレーキをかける。

≫駐停車操作

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。
排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

≫停車する

⚠注意

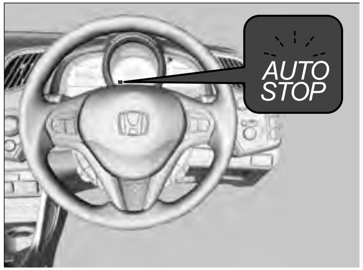
停車中の空ぶかしはしない。
万一、セレクトレバーがP N以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂でP N以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

オートアイドルストップシステム（オートマチック車）

燃費向上のために、減速時と停車時にアイドリングストップしたり、エンジンが自動的に再始動するシステムです。アイドリングストップ中は、表示灯が点滅します。



表示灯が点滅しているときに運転席ドアを開けるとブザーが鳴り、アイドリングストップしていることを知らせます。

» オートアイドルストップシステム（オートマチック車）

ECONモードは、他のモードにしているときよりも、エアコン使用中のアイドリングストップ時間が長くなります。

➔ **3モードドライブシステム** P.169

エアコンを使用中、ワイパーを作動させると、アイドリングストップ時間が短くなることがあります。

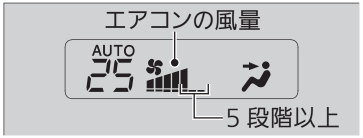
運転

■ アイドリングストップをする

停車時にブレーキペダルを踏んでいるとアイドリングストップします。

■アイドリングストップしない条件

- 低水温表示灯が点灯しているとき
- IMA バッテリーの残量が少ないとき
- 加速／減速時にチャージメーター／モーターアシスト表示が振れていないとき
- トランスミッションフルードの油温が低いとき
- エンジン始動後、15km/h に達しないまま停車したとき
- 急な坂道で停車したとき
- セレクトレバーを D、N 以外にしているとき
- L モードのとき



- エアコンの風量が 5 段階以上のとき
- FRONT が ON（表示灯点灯）のとき

■アイドリングストップしないことがある条件

- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きいとき（NORMAL モード、SPORT モード）
- 車内の湿度が高いとき
- 急ブレーキをかけて停止したとき

次ページに続く

» アイドリングストップをする

ブレーキペダルを踏んだまま車速が約10km/h以下になると、アイドリングストップします。

■ エンジンが自動的に再始動する

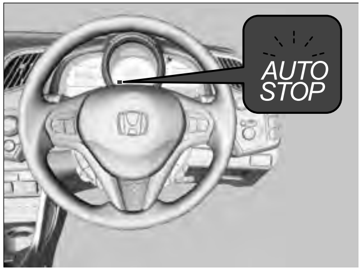
ブレーキペダルを離すとエンジンが自動的に再始動します。

■ ブレーキペダルを離さずに、エンジンが自動的に再始動する条件

- セレクトレバーを R にしたとき
- L モードにしたとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- 坂道で停車中に、ブレーキをゆるめて車が動いたとき
- IMA バッテリーの残量が少なくなったとき
- 低水温表示灯が点灯したとき
- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きくなったとき
- エアコンを使用中で車内の湿度が高くなったとき
- ブレーキを繰り返し踏み込んだりゆるめたりしたとき
- FRONT を押したとき

オートアイドルストップシステム（マニュアル車）

燃費向上のために、減速時と停車時にアイドリングストップしたり、エンジンが自動的に再始動するシステムです。アイドリングストップ中は、表示灯が点滅します。



表示灯が点滅しているときに運転席ドアを開けるとブザーが鳴り、アイドリングストップしていることを知らせます。

≫オートアイドルストップシステム（マニュアル車）

アイドリングストップが長時間続くと、12Vバッテリーおよび IMAバッテリーの残量が低下し、エンジンが自動的に再始動しないことがあります。
車から離れるときは、エンジンを停止してください。

ECONモードは、他のモードにしているときよりも、エアコン使用中のアイドリングストップ時間が長くなります。
➡**3モードドライブシステム** P.169

エアコンを使用中、ワイパーを作動させると、アイドリングストップ時間が短くなることがあります。

次ページに続く

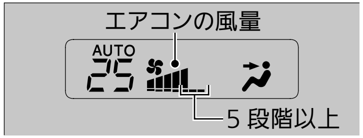
運転

■ アイドリングストップをする

停車時に、クラッチペダルをいっぱいに踏み込み、チェンジレバーを N （ニュートラル）にするとアイドリングストップします。
▶ エンジンの自動再始動のため、停車時はクラッチペダルを離してください。

■アイドリングストップしない条件

- 低水温表示灯が点灯しているとき
- IMA バッテリーの残量が少ないとき
- 加速／減速時にチャージメーター／モーターアシスト表示が振れていないとき
- エンジン始動後、約 15km/h に達しないまま停車したとき
- チェンジレバーが R のとき



- エアコンの風量が 5 段階以上のとき
- FRONT が ON（表示灯点灯）のとき

■アイドリングストップしないことがある条件

- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きいとき（NORMAL モード、SPORT モード）
- 車内の湿度が高いとき
- 急ブレーキをかけて停止したとき

≫アイドリングストップをする

ブレーキペダルを踏んだまま、車速が約30km/h以下になったときに、クラッチペダルをいっぱいに踏み込むとアイドリングストップします。

クラッチペダルはいっぱいに踏み込まないと、アイドリングストップやエンジンが自動的に再始動しない場合があります。

正しい運転姿勢を保つことで、クラッチペダルをしっかり踏み込むことが出来ます。

フロントシート P.114

運転

エンジンが自動的に再始動する

クラッチペダルをいっぱいに踏み込みながら、チェンジレバーを N （ニュートラル）以外にするとエンジンが自動的に再始動します。

クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいるときに、チェンジレバーが N （ニュートラル）のままでも、エンジンが自動的に再始動する条件

- 低水温表示灯が点灯したとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- IMA バッテリーの残量が少なくなったとき
- エアコンを使用中で設定温度と車内の温度差が大きくなったとき
- エアコンを使用中で車内の湿度が高くなったとき

ブレーキを繰り返し踏み込んだりゆるめたりしている場合は、クラッチペダルの操作にかかわらず、エンジンが自動的に再始動します。

アイドリングストップ中に表示灯の点滅が速くなったとき

クラッチペダルをいっぱいに踏んでください。
▶ エンジンが自動的に再始動します。

» アイドリングストップ中に表示灯の点滅が速くなったとき

以下のような状態になると、表示灯が速く点滅します。
- FRONT を押したとき
- 窓ガラスが曇る可能性があるとき
- 快適性が維持できないとき（NORMALモード、SPORTモード）

駐車する

オートマチック車

1. セレクトレバーは D のまま、ブレーキペダルをしっかり踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
3. セレクトレバーを P に入れる。
4. エンジンを停止する。
   ▶ 車から離れるときは必ず施錠してください。

≫駐車する

⚠注意

駐車時はエンジンを停止する。

万一、セレクトレバーが P N 以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

車が完全に止まらないうちに P に入れないでください。

トランスミッション破損の原因となります。

仮眠するときは、エンジンを停止してください。

無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。

車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

積雪時は、ワイパーアームを起こしてください。

雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。

運転

指定燃料について

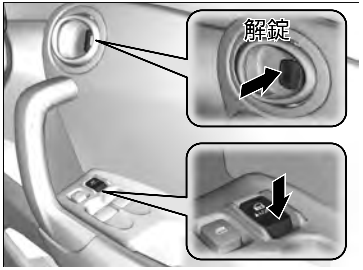
■指定燃料

無鉛レギュラーガソリン

■タンク容量

40 リットル

給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. エンジンを停止する。
3. ノブまたはマスタードアロックスイッチで運転席ドアを解錠する。
   ▶ 車の外側のフューエルリッドが解錠されます。

次ページに続く

≫指定燃料について

指定燃料以外の燃料（有鉛ガソリン、粗悪ガソリン、軽油、灯油、高濃度アルコール含有燃料）を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。
以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

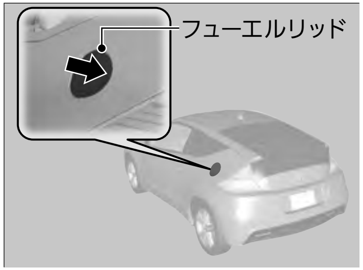
≫給油のしかた

⚠警告

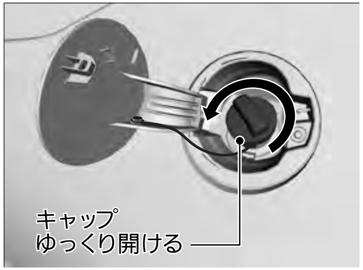
燃料補給時は火気厳禁。
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

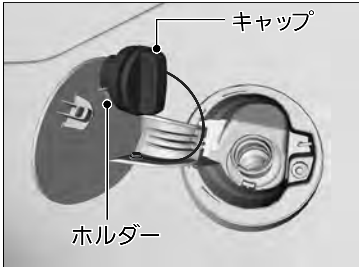
ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



4. フューエルリッドの右端を「カチッ」と音がするまで押し、手を離す。
   ▶ リッドが少し浮き上がります。



5. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。



6. キャップをホルダーにかける。
7. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
   ▶ 満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

» 給油のしかた

⚠警告

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。

静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

⚠注意

キャップはゆっくり開ける。

急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

知識

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。

燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

燃料蒸気を吸わないでください。

燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

8. 給油後、「カチッ」という音が 1 回以上するまでキャップを締め付ける。
▶ フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

給油のしかた

⚠注意

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。
閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda純正以外のキャップを使わないでください。
純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

知識
気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
  ▶ アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
  ▶ サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けないでください。

車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

≫車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品には下記のマークが付いています。

HONDA
GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。

メンテナンスの前に
- 点検整備について......192
- メンテナンスを安全に行うために......193
- メンテナンスに関する注意事項......193

ボンネット内のメンテナンス
- ボンネット内のメンテナンス項目......194
- ボンネットを開ける......195
- 推奨エンジンオイル......196
- ウィンドウォッシャー液の補給......196

電球の交換......197

ワイパーブレードラバーの点検と整備......205

タイヤの点検と整備
- タイヤの点検......208
- タイヤのローテーション......210
- 冬期のタイヤ......211

リトラクタブルキー/Hondaスマートキー
- リトラクタブルキー/Hondaスマートキーの取り扱いと電池交換......212

エアコンのお手入れ
- エアクリーンフィルター......215

清掃
- 日常のお手入れ......217
- 車内の清掃......217
- 車外の清掃......218

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。
普段と違う点（音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど）に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

点検整備の種類

■日常点検

長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■定期点検

12 か月および 24 か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。
お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

■ メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

■ 車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
  ▶ エンジンを始動するときは必ず十分な換気を行ってください。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
  ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
  ▶ 指示されたとき以外は、エンジンを始動しないでください。
  ▶ アイドリングストップ中は、ボンネットを開けないでください。

メンテナンスに関する注意事項

■ メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

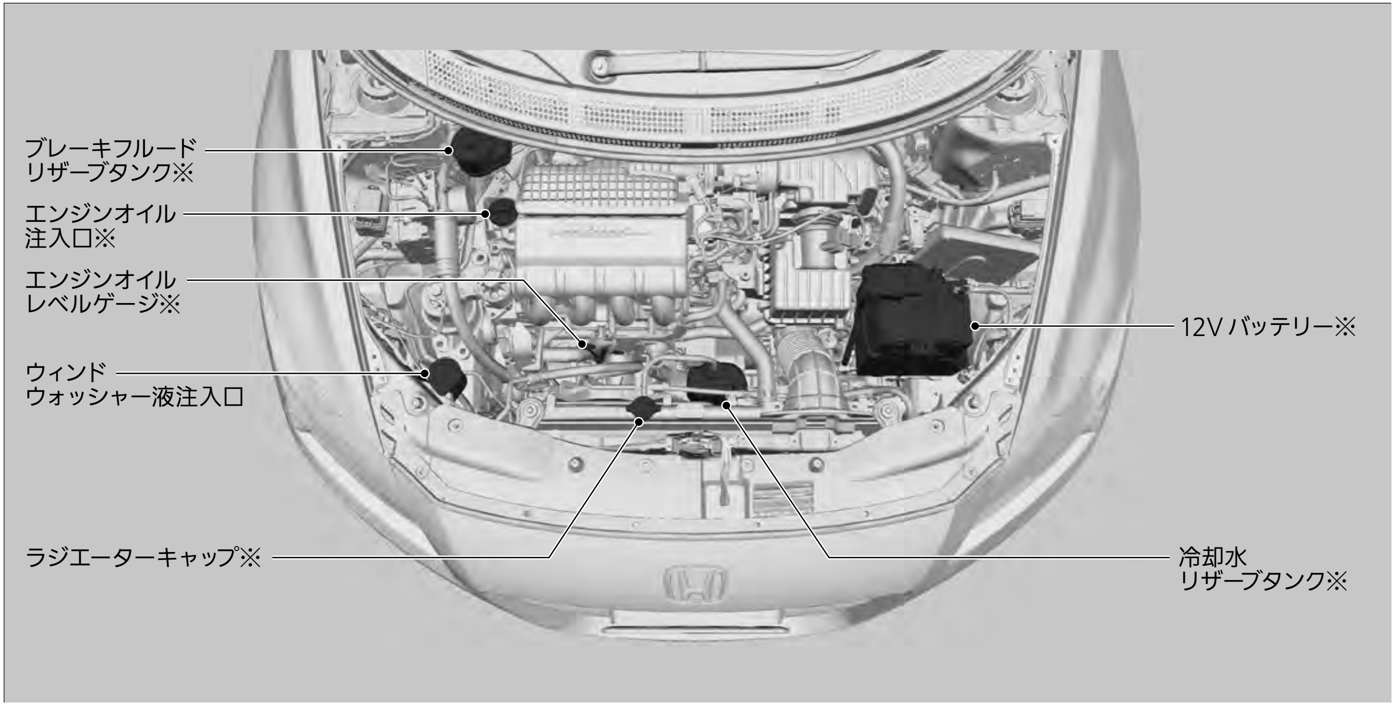
» メンテナンスを安全に行うために

⚠警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。
必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

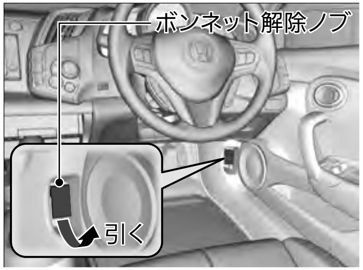
メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。
必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

ボンネット内のメンテナンス項目

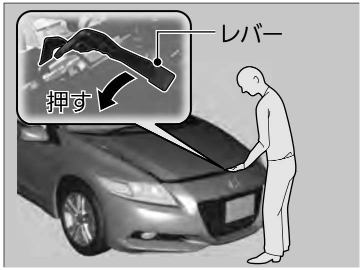


※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

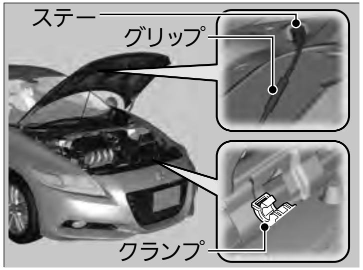
ボンネットを開ける



1. 車を停め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。
   ▶ ボンネットが少し浮き上がります。



3. ボンネット中央のレバーを左に押しながらロック機構を解除し、ボンネットを開ける。



4. グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約 30cm の高さから手を離します。

≫ボンネットを開ける

⚠注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。
ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

アイドリングストップ中は、ボンネットを開けないでください。

推奨エンジンオイル

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながることがあります。

推奨エンジンオイル：
Honda純正エンジンオイル
➲Honda純正エンジンオイル P.252
API SM級以上かオイル缶にAPI CERTIFICATION（エーピーアイサーティフィケーション）マークの入ったエンジンオイル

» 推奨エンジンオイル

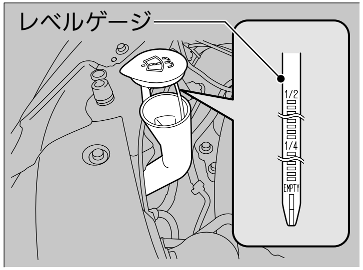
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。

※：最も省燃費性に優れたHonda純正オイルです。Honda販売店でお求めください。

冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

» ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

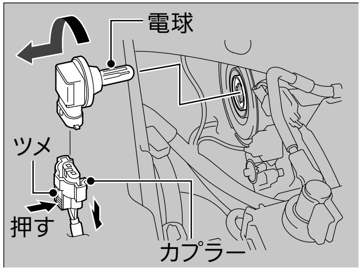
冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ロービームヘッドライト	ハロゲンヘッドライト装備車	：12V―55W
ロービームヘッドライト	ディスチャージヘッドライト装備車	：12V―35W
ハイビームヘッドライト		：12V―60W

■ ロービームヘッドライト ハロゲンヘッドライト装備車



1. カプラーを外す。
 ▶ カプラーは、ツメを押しながら外します。
2. 古い電球を左に回し、抜き取る。
3. 新しい電球を右に回して固定する。
4. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

■ ロービームヘッドライト ディスチャージヘッドライト装備車

電球の点検や交換は必ず Honda 販売店に依頼してください。

≫ヘッドライト電球

知識

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いていたり、水がたまっていたりしている場合はHonda販売店で点検を受けてください。

≫ロービームヘッドライト

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

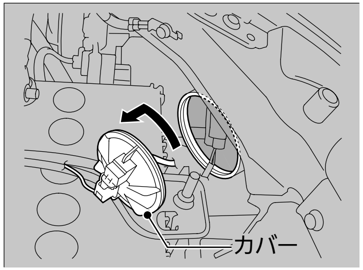
扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

⚠注意

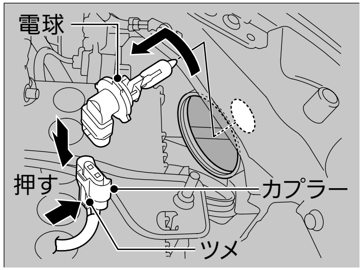
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。
不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

次ページに続く

■ ハイビームヘッドライト



1. カバーを左に回して外す。



2. カプラーを外す。
   ▶ カプラーは、ツメを押しながら外します。
3. 古い電球を左に回し、抜き取る。
4. 新しい電球を右に回して固定する。
5. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

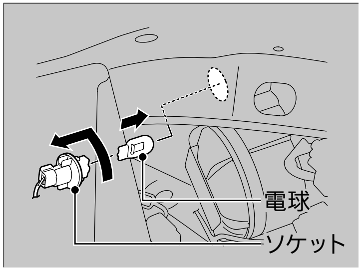
車幅灯電球

車幅灯は LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

前面方向指示器/前面非常点滅表示灯：12V－21W（橙色）

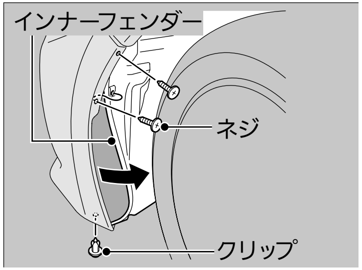


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

フォグライト電球✽

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

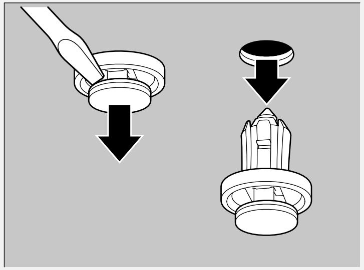
フォグライト：12V－55W



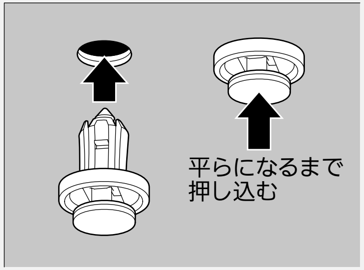
1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切る。
2. ネジとクリップを外し、インナーフェンダーをめくる。

» フォグライト電球

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。

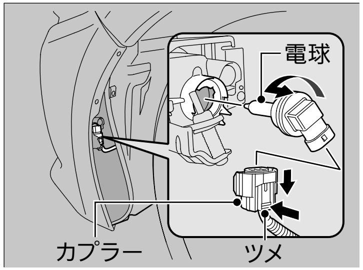


クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。



メンテナンス

次ページに続く



3. カプラーを外す。
   ▶ カプラーはツメを押しながら外します。
4. 古い電球を左に回し、抜き取る。
5. 新しい電球を右に回して固定する。
6. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

≫フォグライト電球

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

フォグライトはハロゲン球です。

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

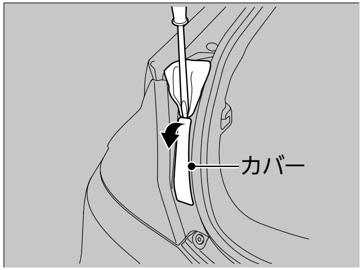
制動灯 / 尾灯電球

制動灯 / 尾灯は LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後退灯電球

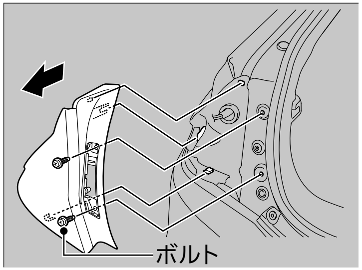
交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	：12V−21W（橙色）
後退灯	：12V−16W



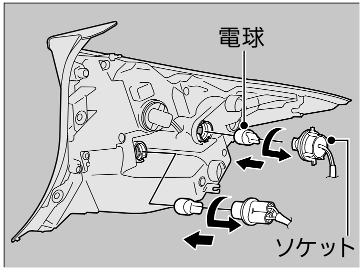
1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。
▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

次ページに続く



2. ボルトを外す。

3. ランプ本体を矢印の方向に引き抜いて取り外す。



4. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。

5. 新しい電球を差し込む。

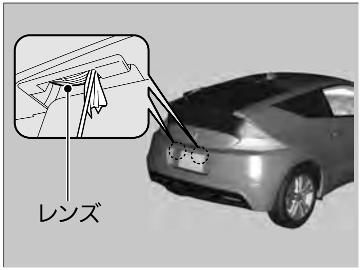
ハイマウントストップランプ電球

ハイマウントストップランプは LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

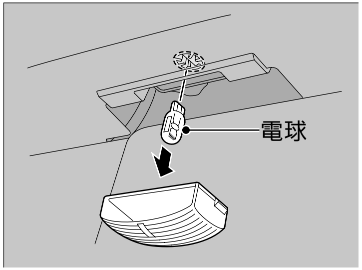
番号灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

番号灯：12V−5W



1. マイナスドライバーを差し込んでレンズを外す。
▶ レンズが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



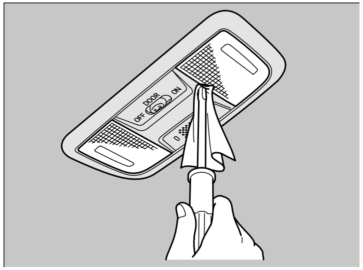
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

その他の電球

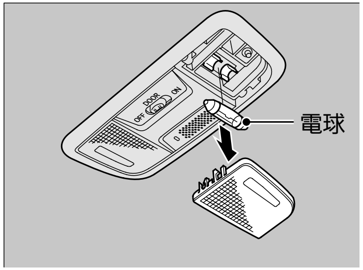
■ 室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

室内灯：12V－8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

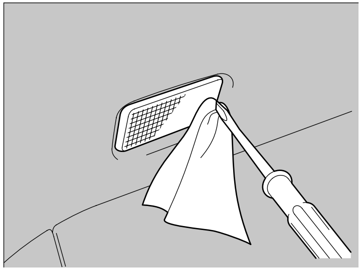


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

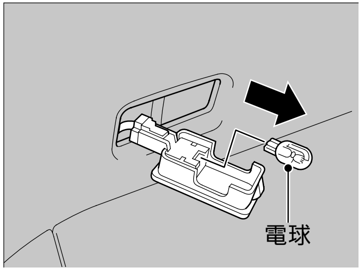
■ カーゴスペース照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

カーゴスペース照明灯：12V－5W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

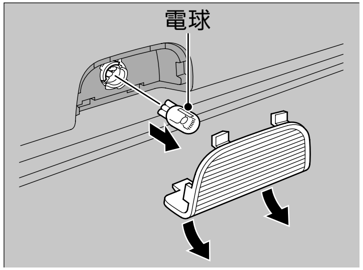


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

■ ドア開閉灯電球

下記の電球をご使用ください。

ドア開閉灯：12V －2CP (3.8W)

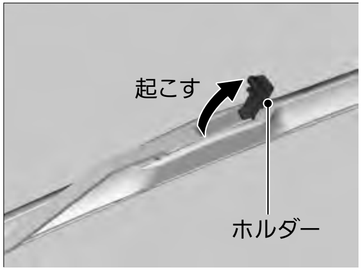


1. レンズの下側を押しながら、レンズを引いて外す。
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

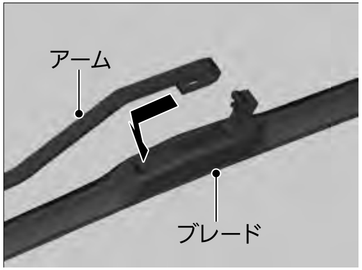
ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

フロントワイパーブレードラバーの交換



1. 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起こす。
2. ホルダーを起こす。



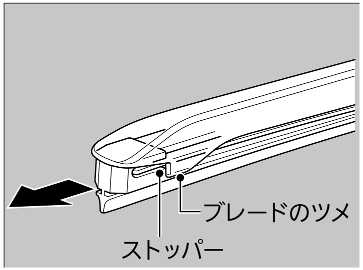
3. ブレードをスライドさせ、ワイパーアームから取り外す。

次ページに続く

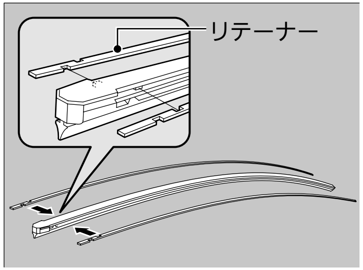
»フロントワイパーブレードラバーの交換

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。



4. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。

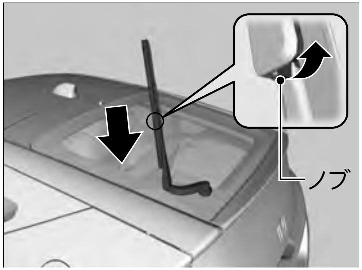


5. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。
6. ラバーをブレードの端から差し込む。
   ▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けてホルダーを閉じます。

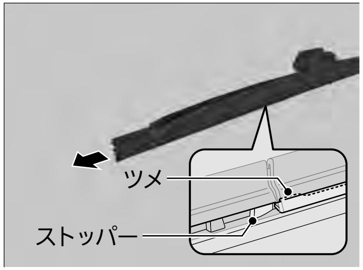
» フロントワイパーブレードの交換

ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。

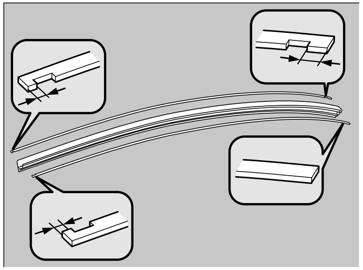
リヤワイパーブレードラバー* の交換



1. ワイパーアームを起こす。
2. ノブを引きながら、アームからブレードをスライドさせて外す。



3. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。



4. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。
5. ラバーをブレードの端から差し込む。
   ▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けます。

メンテナンス

タイヤの点検

■ タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。
安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

■日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
  ▶ つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
  ▶ 状況に応じて、タイヤを交換してください。

≫タイヤの点検について

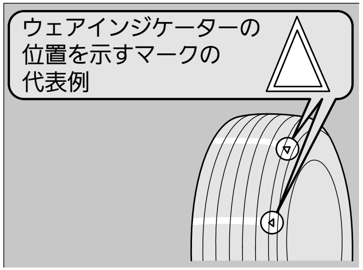
⚠警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

■空気圧測定器による点検
すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。
仕様 P.252

■損傷、異物、摩耗の点検
下記の項目を点検してください。
- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か?
  ▶ 異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか?
  ▶ 裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか?



ウェアインジケーター(摩耗限界表示)
ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。
必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。
タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

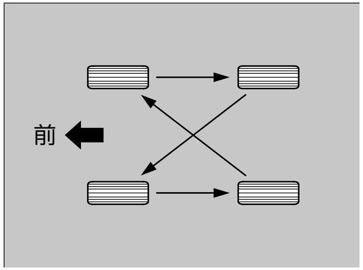
指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。
この取扱説明書が手元にない場合は、車のラベルをご覧ください。

タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS、VSAなどが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

タイヤのローテーション

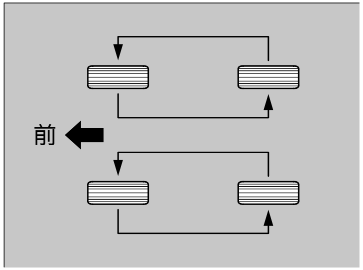
5,000km 走行したごとにタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■回転指示マークがないタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

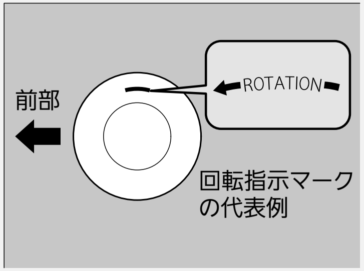
■回転指示マークがあるタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

»タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ回転指示マークがあります。
下図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。



冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。
また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。
装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

■ スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

■ タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。
チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは前輪に装着します。
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。
なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

リトラクタブルキー /Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

取り扱いについて

リトラクタブルキー /Honda スマートキーの取り扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

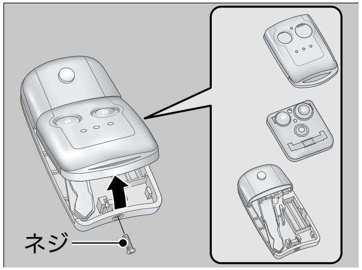
取り扱いについて

リトラクタブルキー/Hondaスマートキーをなくした場合は、Honda販売店へご連絡ください。

■ 電池交換のしかた

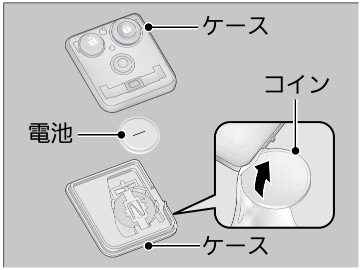
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

■ リトラクタブルキー＊



ボタン電池CR1616

1. 発信器のネジを外し、カバーを開く。



2. ケースを開ける。
   ▶ ケースに傷が付かないように、コインに布などを巻いてケースを開けます。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

次ページに続く

»電池交換のしかた

⚠注意

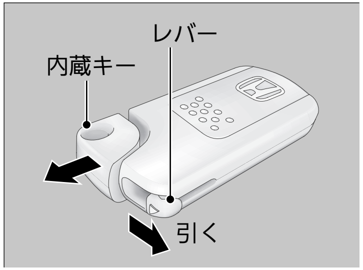
電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス
電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

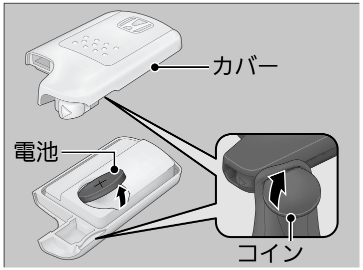
知識
電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

■Honda スマートキー*



ボタン電池CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。



2. カバーを外す。
   ▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

エアコンを常用しないとき

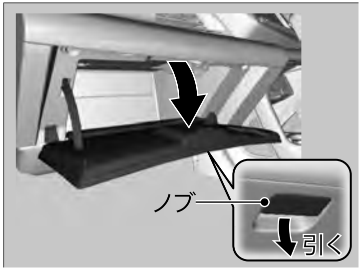
装置各部のオイルを切らさないため、ときどきエンジンを低回転させた状態で、数分間冷房または除湿暖房を行ってください。

エアクリーンフィルター

■ エアクリーンフィルターの交換時期

エアクリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000km ごとに交換してください。粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

■ エアクリーンフィルターの交換



1. グローブボックスを開ける。

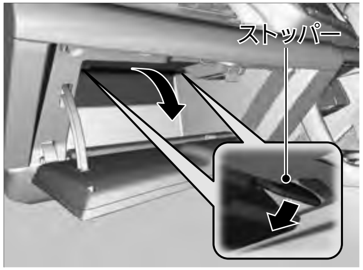
» エアクリーンフィルター

芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

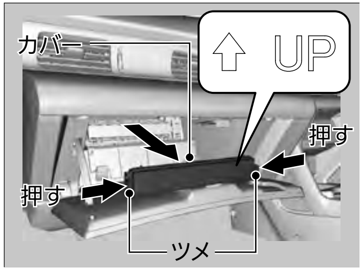
エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

アレルフリー高性能脱臭フィルターは、空気中の花粉・粉じんを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減します。

次ページに続く



2. グローブボックス奥のストッパーを押し込んでリッドを開ける。



3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースのカバーを外す。

4. エアクリーンフィルターを取り出す。
5. 新品と交換する。
   ▶「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。

日常のお手入れ

■ 走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

■ 洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。
以下の場合は、必ず洗車をしてください。
- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

車内の清掃

内装の清掃は、ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

■ シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

次ページに続く

» 洗車について

アドバイス

凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

» 車内の清掃

室内に水をかけないでください。
オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。
故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。
ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。
固形タイプの芳香剤のご使用をおすすめします。

■ 本革* のお手入れ

本革シートなどは、ウール用中性洗剤の 10%水溶液を柔らかい布に軽く含ませ汚れを落とします。その後、真水を含ませた柔らかい布で洗剤分を拭き取り、風通しをよくして乾燥させます。汚れが付着したらすぐに拭き取ってください。

車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。
汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納する。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わない。

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す。
- ウィンドーまわりは近づけすぎると室内に水が入ることがあるため、特に注意して行う。
- エンジンルームには水をかけない。

»本革のお手入れ

サイドエアバッグ装備車の助手席を湿った状態で使用すると、サイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないことがあります。よく乾かしてからお使いください。

»車外の清掃

故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。故障の原因になります。

■ ワックスをかけるとき

ワックスは、月に1回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面温度が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

■ バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

次ページに続く

≫ワックスをかけるとき

みがき粉（コンパウンド）入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

≫バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

■ ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■はっ水ガラス* について

前席ウィンドー（ドアガラス）にはっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

■ アルミホイール* のお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

» ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉（コンパウンド）入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

» アルミホイールのお手入れ

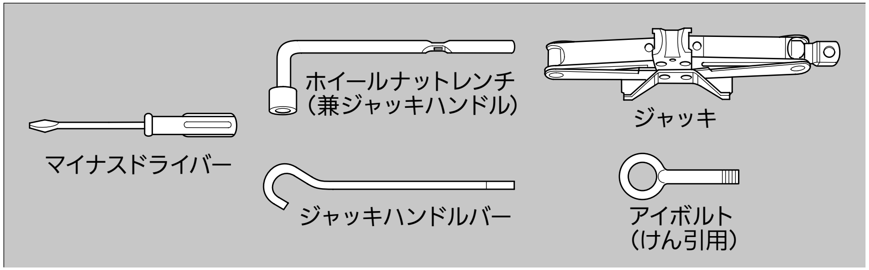
この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換は、Honda販売店にご相談ください。

万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。

工具、発炎筒......222
パンクしたとき......223
パンクしたタイヤの応急修理......223
ジャッキの取り扱い
ジャッキのかけかた......230
エンジンが始動しない
エンジンの状態の確認......232
内蔵キーの差し込みかた......233
ジャンプスタート......234
セレクトレバーが動かない......236
オーバーヒート......237
警告灯の点灯/点滅......238
ヒューズ
ヒューズの設置場所......241
ヒューズの点検と交換......244
けん引......245
フューエルリッドが解錠できないとき......248
テールゲートが開かないとき......249

工具の種類



発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

≫工具の種類

➡ジャッキのかけかた P.230

≫発炎筒

⚠警告

ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。
火災や爆発のおそれがあります。

⚠注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

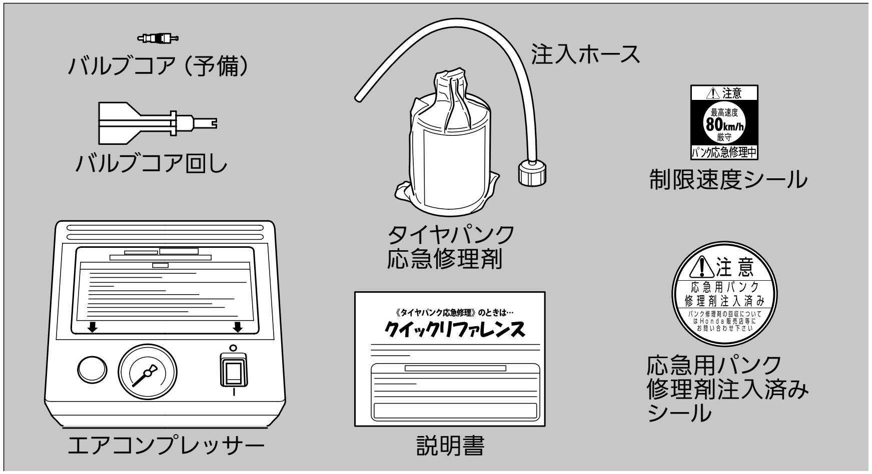
パンクしたタイヤの応急修理

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理をします。

■ 走行中、パンクに気がついたときは

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. セレクトレバーを P に入れる (オートマチック車)。
3. パーキングブレーキをかける。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを 0 にする。

■ タイヤ修理の準備



次ページに続く

≫パンクしたタイヤの応急修理

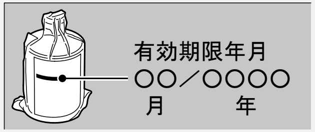
アドバイス

タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。

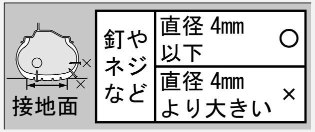
抜いてしまうと、タイヤパンク応急修理キットでは応急修理が不可能になる場合があります。

以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。Honda販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき (梱包のアルミ袋が破れている場合、有効期限は通常より最大2年短くなります)



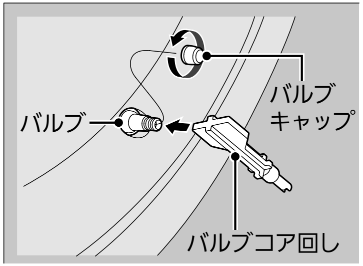
- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 約4mm以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき



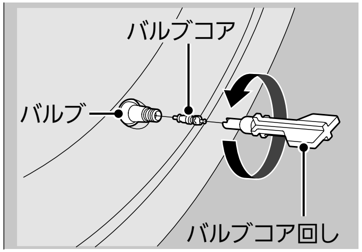
- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

■ 応急修理剤の注入

1. ストラップを引きながらカーゴリッドを開けて、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。



2. バルブからバルブキャップを取り外す。
3. バルブコア回しの突起部分をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。



4. バルブコア回しで、バルブコアを回して外す。
   ▶ 外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。

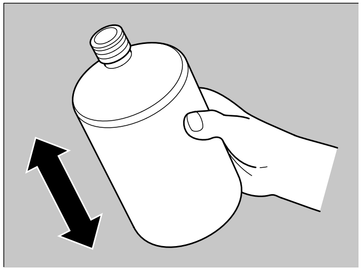
» 応急修理剤の注入

⚠注意

タイヤの空気は完全に抜く。
タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

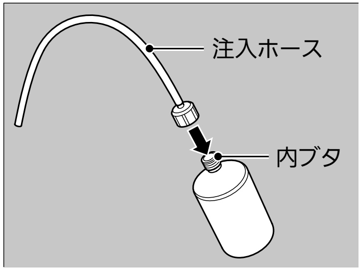
知識
応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。



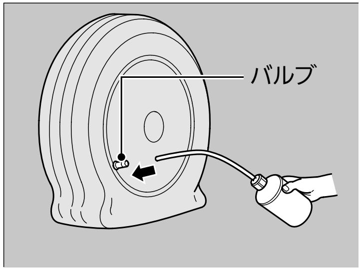
5. アルミ袋を破って、応急修理剤のボトルを取り出す。

6. 応急修理剤のボトルをよく振る。



7. 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態で、ボトルに注入ホースを取り付ける。

▶ 注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。



8. 注入ホースをバルブに差し込む。

次ページに続く

≫応急修理剤の注入

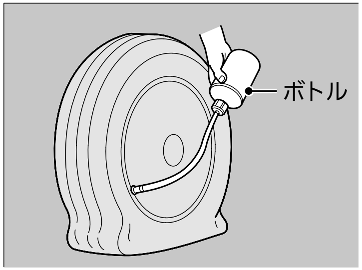
⚠注意

応急修理剤の取り扱いに注意する。

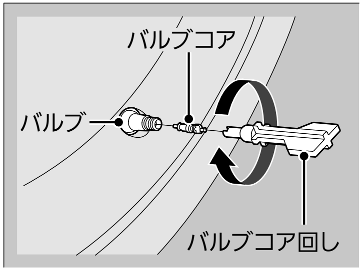
- 誤って飲用した場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり皮膚に付いた場合は、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。
- お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。

修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。

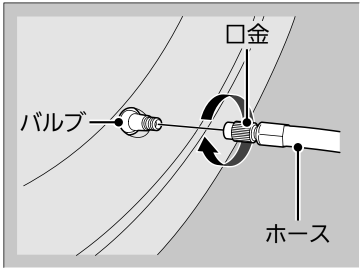


9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。
   ▶ 全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。
10. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。



11. バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで右に回し、しっかりねじ込む。

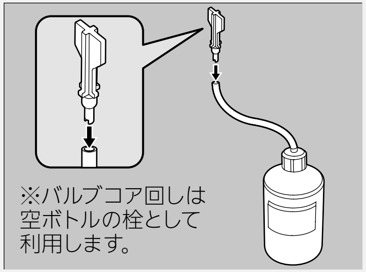
■ エアの注入



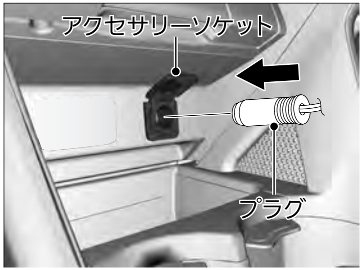
1. エアコンプレッサーを準備する。
2. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。

» 応急修理剤の注入

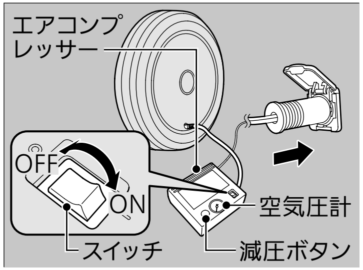
注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、バルブコア回しで注入ホースに栓をしてください。



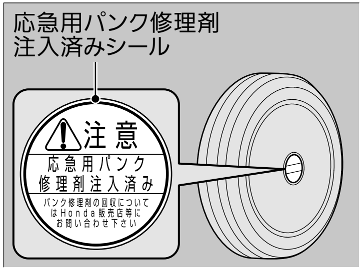
注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。捨てずに、Honda販売店か専門修理工場までお持ちください。



3. エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリーソケットに差し込む。
4. エンジンスイッチを I にする。



5. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、指定の空気圧まで高める。
➡**指定空気圧** P.252
   ▶ エアコンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を点検、調整します。
   ▶ 空気を入れすぎたときは、減圧ボタンを押して空気を抜きます。
6. エアコンプレッサーの電源を OFF にする。
7. 修理が完了したタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
   ▶ タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。



≫エアの注入

タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーの電源をOFFにしてください。

10分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。Honda販売店やロードサービスに連絡してください。

知識

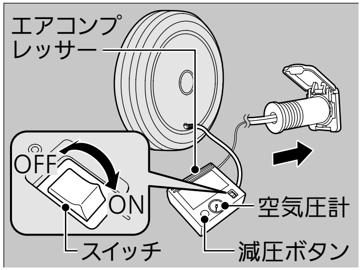
備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。お取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

次ページに続く

■ 点検走行

応急修理剤および空気の注入後も、しばらくの間はパンク穴から空気が漏れています。法定速度を守って注意深く運転しながら空気圧を点検し、応急修理を完了させます。
なお、応急修理は特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修したものです。応急修理完了後も慎重に運転し、できるだけ早く Honda 販売店または専門修理工場で、タイヤの修理、交換を行ってください。



1. 点検走行を開始する。
 ▶ 法定速度を守ってください。高速道路では 80km/h 以下を厳守してください。

2. 10 分または 5km 走行したあと安全な場所に車を停める。

3. エアコンプレッサーに付属の空気圧計で空気圧を点検する。

4. 空気圧が低下していたら、エアコンプレッサーを使って指定の空気圧まで高める。

5. さらに 10 分または 5km 走行して、同様の点検を繰り返す。
 ▶ 空気圧の低下が見られなければ、応急修理は完了です。
 ▶ このときにタイヤの空気圧が指定空気圧より低下していた場合は、運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

≫点検走行

⚠注意

走行中異常を感じたら、ただちに運転を中止する。
応急修理剤での補修が不完全な場合、空気圧が低下して安定性を損なうおそれがあります。運転をやめ、Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

空気圧点検時は、最小空気圧に注意する。
空気圧が最小空気圧※より低くなっていたら、応急修理剤では修理できません。Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。
※最小空気圧＝ 130kPa(1.3kgf/cm^2)

走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

6. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。

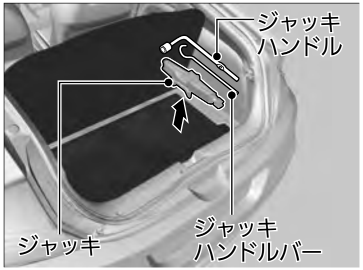
≫点検走行

⚠注意

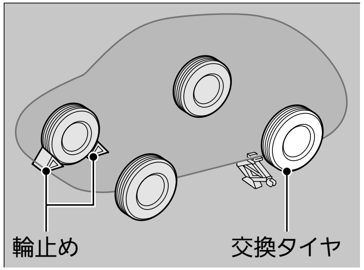
ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。

ジャッキのかけかた



1. パーキングブレーキをかける。
2. カーゴリッドを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。



3. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。
4. 交換するタイヤに最も近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

ジャッキのかけかた

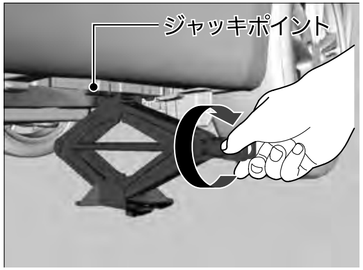
⚠警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。
車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

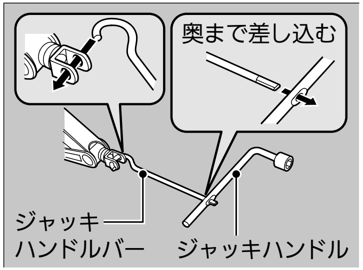
⚠注意

ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。
- エンジンをかけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にものを入れたりしない

知識
この車に搭載されているジャッキをお使いください。
他のジャッキでは支えられる重量（呼荷重）が不足したり、形状が合わないことがあります。



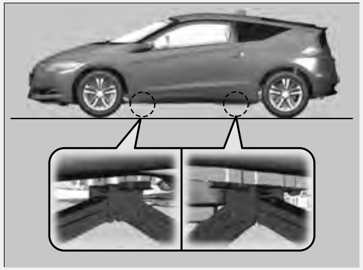
5. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を矢印の方向に回す。
- ▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。



6. タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

» ジャッキのかけかた

ジャッキポイントは、下記の通りです。



エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、エンジンスイッチを III にして、スターターの状態を確認してください。

▷▷エンジンの状態の確認

すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

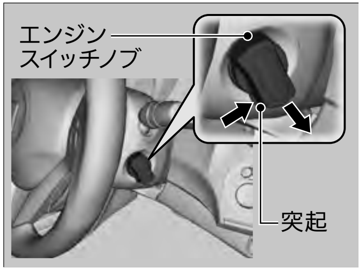
ジャンプスタートの方法 P.234

スターターの状態	確認項目
スターターが全く回らない！ **スターターの回転が非常に遅い！** 12V バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	**室内灯などの明るさを確認する** 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 • 室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合 • 室内灯などの明るさに問題がない場合 **ヒューズの点検と交換** P.244
スターターは正常に回るが… ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	**エンジン始動の手順を実行する** もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 **エンジンの始動** P.155 **イモビライザーシステム表示灯を確認する** イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。 **イモビライザーシステム** P.97 **燃料の量を点検する** 燃料が入っているか確認してください。**燃料計** P.69 **ヒューズを点検する** 全てのヒューズを確認してください。**ヒューズの点検と交換** P.244

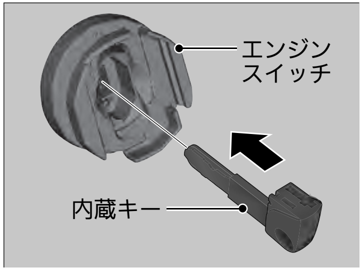
以上の確認をしてもエンジンが始動しない場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

内蔵キーの差し込みかた

Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、内蔵キーを使ってください。



1. エンジンスイッチノブを外す。
▶ ノブの突起を押しながらスライドさせて外します。



2. エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

≫内蔵キーの差し込みかた

アドバイス

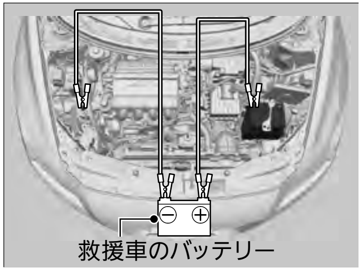
エンジンスイッチノブを取り付けたまま無理に内蔵キーを差し込むと、内蔵キーが抜けなくなるおそれがあります。

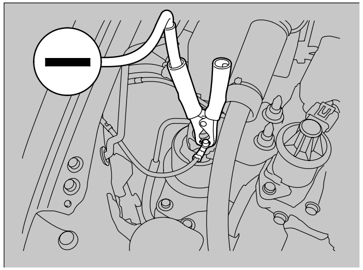
ジャンプスタートの方法

ジャンプスタートとは、他の車のバッテリーなどとブースターケーブルでつなぐことで電気を一時的に供給しエンジンをスタートさせる方法です。

■処置のしかた

まず、ボンネットを開け、12V バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。
次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。
ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。





1. 自車と救援車のエンジンスイッチを 0 にする。
2. ブースターケーブルを、自車の 12V バッテリーの⊕端子に接続する。
3. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子に接続する。
   ▶ 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
4. もう 1 本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの⊖端子に接続する。
5. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
7. 自車のエンジンを始動する。

≫ジャンプスタートの方法

⚠警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。
ジャンプスタートの操作を間違えると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。
タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

アドバイス
金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。12Vバッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

寒冷時は、12Vバッテリーの性能が低下します。
エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

気温が極端に低い場所に12Vバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。バッテリー液が凍結した12Vバッテリーでジャンプスタートすると、12Vバッテリーが壊れることがあります。

エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
3. 自車の 12V バッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

エンジン始動後の作業

⚠警告

12V バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。
12V バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
12V バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店で 12V バッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも 5 分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

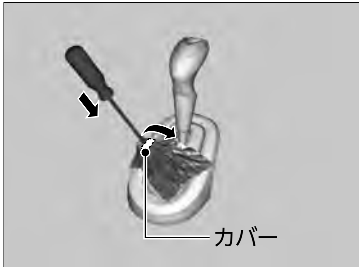
ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。

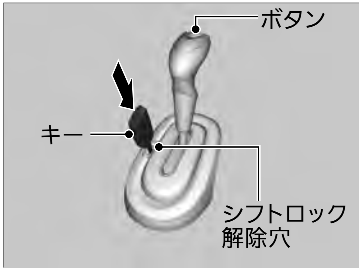
セレクトレバーが動かない

オートマチック車

セレクトレバーが、P の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

■ ロックを解除する





1. パーキングブレーキをかける。
2. エンジンスイッチからキーを抜く。
   ▶ Honda スマートキー装備車はエンジンスイッチを 0 （プッシュオフ）にします。
3. 細いマイナスドライバーの先端に布を巻き、シフトロック解除穴のカバーを外す。
   ▶ マイナスドライバーの先端を、図のように切り欠きに入れて外します。
4. シフトロック解除穴にキーを差し込む。
   ▶ Honda スマートキー装備車は内蔵キーを差し込みます。
5. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを N に入れる。
   ▶ ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

オーバーヒートしたときの対処方法

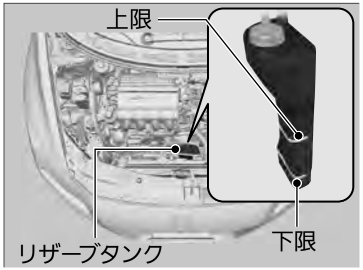
次のようなときは、オーバーヒートです。
- 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

■最初にすること

1. ただちに車を安全な場所に停める。
▶ セレクトレバーを P に入れ（オートマチック車）、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

2. 蒸気が出ていない場合：エンジンをかけたままボンネットを開ける。
蒸気が出ている場合：エンジンを停止し、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

■次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを停止する。
▶ 冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを停止します。

2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
▶ 冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し高水温警告灯を確認する。
  警告灯が消灯している場合は、運転を再開します。点灯しているときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

≫オーバーヒートしたときの対処方法

⚠警告

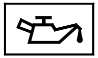
オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。
ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。
冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス
高水温警告灯が点灯した状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda販売店に修理を依頼してください。

油圧警告灯が点灯した



■点灯の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

■点灯したらすぐにすること

1. ただちに車を安全な場所に停車する。

2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■車を停車してからすること

1. エンジンを停止し、1 分間ほど放置する。

2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。

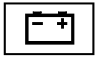
▶ 必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。

3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。

▶ **消灯した**：運転を再開してください。

▶ **10 秒以内に消灯しない**：エンジンを停止して、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

充電警告灯が点灯した



■点灯の理由

12V バッテリーが充電されていないと点灯します。

■点灯したらすること

電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

≫油圧警告灯が点灯した

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

≫充電警告灯が点灯した

アドバイス

一時的に停車する場合は、エンジンを停止しないでください。エンジンを始動すると、12Vバッテリーが急速に放電します。

マニュアル車

アイドリングストップ状態が長時間続くと点灯します。エンジンの自動再始動をしてください。

消灯すれば正常です。

オートアイドルストップシステム（マニュアル車） P.183

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

■点灯 / 点滅の理由
エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■点灯したときは
高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■点滅したときは
枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

ブレーキ警告灯が点灯した

■点灯の理由
- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■走行中に点灯したらすること
- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

≫PGM-FI警告灯が点灯/点滅した

アドバイス
PGM-FI警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

≫ブレーキ警告灯が点灯した

ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。
ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。
ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

EPS 警告灯が点灯した

■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- エンジンスイッチを II にしたときの点灯は異常ではありません。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する。

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

IMA システム警告灯が点灯した

IMA

■点灯の理由

IMA 制御システムが異常のときに点灯します。

■点灯したらすること

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

≫EPS警告灯が点灯した

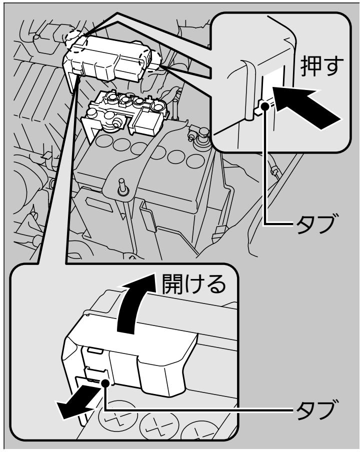
アドバイス

停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけ保持するなどしてシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを[0]にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、２つのヒューズボックスに入っています。

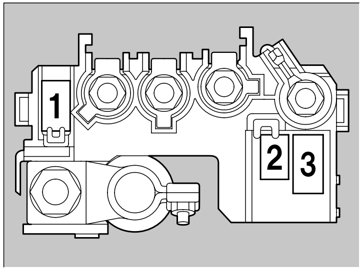
■ エンジンルーム内のヒューズボックス



エンジンルーム内の助手席側に付いている、12V バッテリーの⊕端子の隣にあります。

1. タブを引いてフタを開ける。

2. タブ（2 ヵ所）を押してカバーを取り外す。



■各ヒューズの装備と容量

表示		装備	容量
1		バッテリー	100A
2		EPS	70A
3		ホーン / 制動灯 / 非常点滅表示灯	20A

▶ヒューズの設置場所

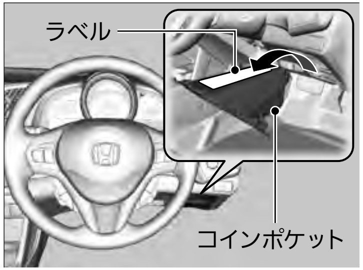
ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

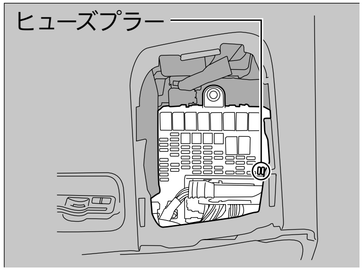
ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

次ページに続く

■室内のヒューズボックス

ハンドル右側のコインポケットを外すと、奥にあります。





■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		バックアップ	15A
2	—	—	—
3		運転席パワーウィンドー	20A
4	—	—	—
5		後退灯	10A
6		SRS エアバッグシステム	10A
7		トランスミッション	10A※1
8		SRS エアバッグシステム	7.5A
9		フォグライト	20A※2
10		エアコン	7.5A
11		ABS	7.5A
12		IMA	10A
13		アクセサリーソケット	20A
14		アクセサリー	7.5A
15	—	—	—
16		リヤワイパー	10A※3
17		助手席パワーウィンドー	20A
18	—	—	—
19	—	—	—
20		フューエルポンプ	15A
21		ウォッシャー	15A
22		メーター	7.5A
23		非常点滅表示灯	10A
24		制動灯 / ホーン	10A
25	—	—	—
26		LAF センサー	10A
27		ドアロック（メイン）	20A
28		ヘッドライト（メイン）	20A※4
29		スモールライト	10A
30		冷却ファン	30A
31		IGPS	7.5A
32		右側ヘッドライト ロービーム	15A※4 10A※5
33		イグニッションコイル	15A

※1 ：オートマチック車
※2 ：フォグライト装備車
※3 ：リヤワイパー装備車
※4 ：ディスチャージヘッドライト装備車
※5 ：ハロゲンヘッドライト装備車

≫ヒューズの設置場所

コインポケットの裏に貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

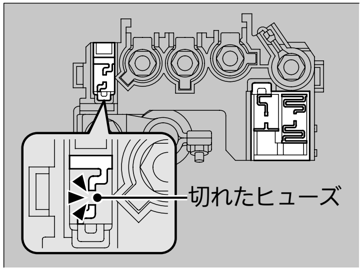
■各ヒューズの装備と容量

表示		装備	容量
34	LED	左側ヘッドライトハイビーム	10A※4
	LED	左側ヘッドライトロービーム	10A※5
35	ドアロック	ドアロック	7.5A
36	ドアロック	ドアロック	10A
37	i	ABS/VSA	30A
38	—	—	—
39	i	IGP	15A
40	シートヒーター	シートヒーター	10A※6
41	—	—	—
42	i	IMA	7.5A
43	MGクラッチ	MG クラッチ	7.5A
44	スターター	スターターシグナル	7.5A
45	i	テールゲートオープンスイッチ	7.5A
46	—	—	—
47	冷却ファン	冷却ファン(コンデンサーファン)	30A
48	LED	左側ヘッドライトロービーム	15A※4
	LED	左側ヘッドライトハイビーム	10A※5
49	ドアロック	ドアロック	7.5A

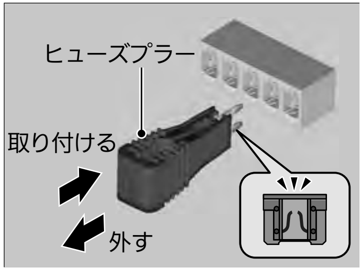
表示		装備	容量
50	ドアロック	ドアロック	10A
51	RED	右側ヘッドライトハイビーム	10A
52	i	ドライブバイワイヤ	15A
53	i	IMA	15A
54	—	—	—
55	ミラーヒーター	ヒーテッドドアミラー	10A※7
56	ワイパー	フロントワイパー	30A
57	ファン	ヒーターモーター	30A
58	i	VSA	30A
59	デフロスター	リヤデフロスター	40A※7 30A※8
60	i	イグニッション	50A
	—	—	—
61	—	—	—
62	—	—	—

※4： ディスチャージヘッドライト装備車
※5： ハロゲンヘッドライト装備車
※6： シートヒーター装備車
※7： ヒーテッドドアミラー装備車
※8： ヒーテッドドアミラー非装備車

ヒューズの点検と交換



1. エンジンスイッチを 0 にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリーを OFF にする。
2. 12V バッテリーの⊕端子の隣にあるカバーを開ける。
3. 内部のヒューズを点検する。
   ▶ 切れているヒューズがあったら、Honda販売店に修理を依頼してください。



4. 室内の小さいヒューズを点検する。
   ▶ 切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

» ヒューズの点検と交換

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。同じ規定容量のヒューズがない場合は、規定容量の小さいヒューズに交換してください。
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。
規定容量はP.241～P.243の一覧で確認してください。

室内のヒューズボックスには、ヒューズプラーがついています。ヒューズプラーは切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

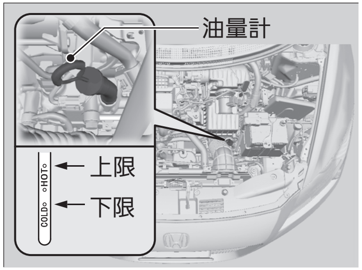
万一の場合には

非常時のけん引

けん引は、専門業者に依頼して四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

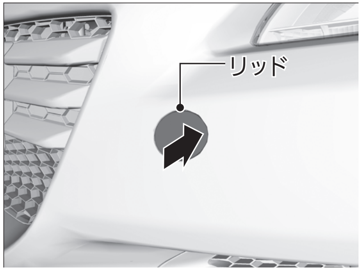
■ やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



オートマチック車

1. トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。
 ▶ 下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。



共通操作

2. カーゴリッドを開け、ジャッキハンドルバー、アイボルトを取り出す。
3. リッドの右側を押し込んで外す。

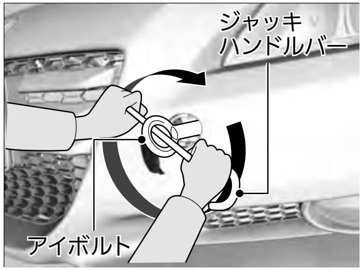
次ページに続く

»非常時のけん引

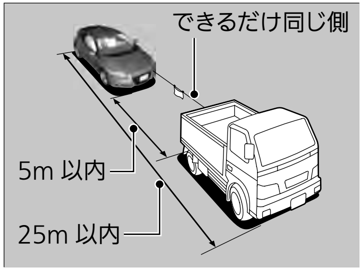
アドバイス

車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。



4. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。



5. ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布 (0.3m 平方以上) を付ける。
6. エンジンを始動する。
   ▶ エンジンが始動しないときは、エンジンスイッチを I または II にします。
7. セレクトレバーまたはチェンジレバーを N (ニュートラル) にする。
8. パーキングブレーキを解除する。
9. けん引する。
   ▶ けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。
   ▶ オートマチック車は、速度 30km/h 以下、走行距離 80km 以内でけん引してください。

» 非常時のけん引

アイボルト以外のところにロープをかけないでください。

車体が破損、変形する場合があります。

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。

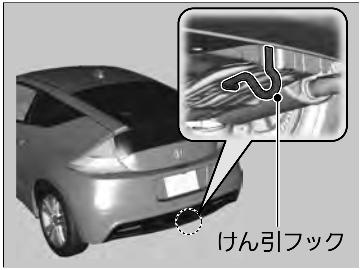
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる
- オートマチック車は、トランスミッションが破損するおそれがある
- マニュアル車は、エンジンスイッチを 0 にするとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなるため、事故につながるおそれがある

知識

長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

■ やむをえず他車をけん引する場合

やむをえず他車のけん引を行う場合、リヤバンパー下にあるけん引フックにロープをかけてください。



» やむをえず他車をけん引する場合

けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
車体が破損、変形する場合があります。

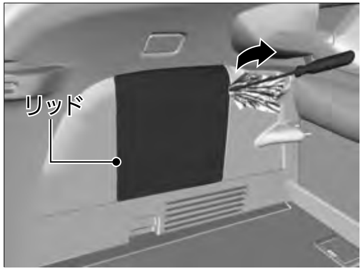
ロープやチェーンなどを使ってけん引するときは、車体に当たる部分に布を巻いてください。
そのままけん引すると、車体に傷が付くことがあります。

自車より重い車のけん引は避けてください。

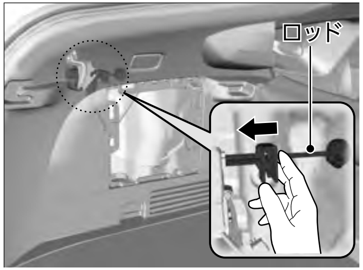
フューエルリッドが解錠できないとき

■解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. カーゴスペース左側にあるリッドを、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ リッドが傷付かないよう、マイナスドライバーに布などを巻き付けてください。



2. アクチュエーターのロッドを後方に引く。
▶ ロッドを後方に引くと解錠し、元の位置に戻すと施錠します。

»解錠できないときの対処方法

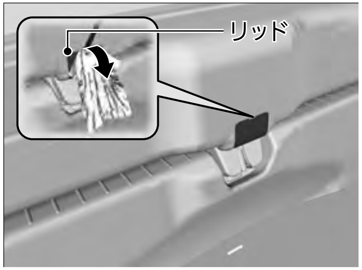
アドバイス

応急処置後は、Honda販売店で点検を受けてください。

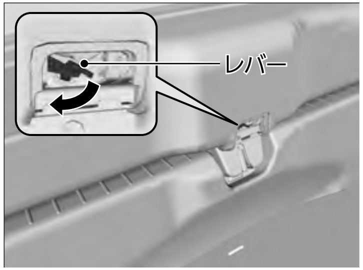
テールゲートが開かないとき

■ 開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
  ▶ リッドが傷付かないよう、マイナスドライバーに布などを巻き付けてください。



2. レバーを下に動かしたままの状態で、テールゲートを押し開ける。

≫開かないときの対処方法

⚠注意

テールゲートを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。

人やものにぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

アドバイス

応急処置後は、Honda販売店で点検を受けてください。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。

仕様..251

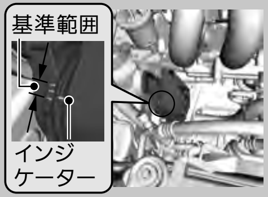
仕様:

■仕様

名称	CR-Z
排気量	1,496 cm^3
車体形状	2ドアハッチバック
乗車定員	4名

■調節

ベルトの
たわみ量



点火プラグ	NGK	DIFR6A13G
	DENSO	DK20PR-D13
電極のすき間	基準値	1.2-1.3mm

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。
交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

■確認

ブレーキペダル（オートマチック車）	遊び	1.0-7.2mm
	床板とのすき間	147mm以上 [約196N (20kgf)の力]
	カーペットとのすき間（参考値）	116.6mm以上 [約196N (20kgf)の力]（ペダル踏面右端）
ブレーキペダル（マニュアル車）	遊び	1.0-7.2mm
	床板とのすき間	142mm以上 [約196N (20kgf)の力]
	カーペットとのすき間（参考値）	109.5mm以上 [約196N (20kgf)の力]（ペダル踏面右端）
クラッチペダル	遊び	4.5-18.5mm
	床板とのすき間	94mm以上（クラッチが切れたとき）
	カーペットとのすき間（参考値）	74.5mm以上（クラッチが切れたとき）
パーキングブレーキ	引きしろ	5～7ノッチ [約196N (20kgf)の力]

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	40ℓ

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式

■バッテリー

容量/タイプ	27AH(5)/34B17L

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5ℓ

■電球

ヘッドライト（ロービーム）	12V-35W※1 12V-55W※2、※3
ヘッドライト（ハイビーム）	12V-60W※3
フォグライト	12V-55W※3
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W（橙色）
車幅灯	LED
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	LED
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W（橙色）
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W
マップランプ	12V-8W
カーゴスペース照明灯	12V-5W
ドア開閉灯	12V-2CP（3.8W）※4

※1：ディスチャージヘッドライト
※2：ハロゲンヘッドライト
※3：ハロゲンバルブ
※4：CP…キャンドルパワー（光度の単位）

■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4

■クラッチフルード

指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4

■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正 ウルトラHMMF※5	2.8ℓ（交換時）
	Honda純正 ウルトラMTF-III※6	1.4ℓ（交換時）

※5：オートマチック車
※6：マニュアル車

■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラGreen※7	
	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20
規定量	オイル交換時	3.4ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	3.6ℓ

※7：最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
規定濃度	50%
規定量	4.4ℓ（交換時：リザーブタンク0.4ℓ含む）

■タイヤ

サイズ	195/55R16 87V	
空気圧 (kPa[kgf/cm²])	前輪 210[2.1] / 後輪 200[2.0]	
リムサイズ	スチールホイール	16×6J
	アルミホイール	16×6J

数字

3モードドライブシステム 169
  3モードスイッチ 169
7速マニュアルシフトモード 162
  シフトインジケーター/M
    (7速マニュアルシフトモード) 表示灯 161

A

ABS (アンチロックブレーキシステム) 177
  ABS警告灯 59,177
A/C (エアコン) 125
AM/FMチューナー付CDプレーヤー 132
  CDプレーヤーの使いかた 139
  各部の名称 132
  基本操作 134
  ラジオの使いかた 136
ASST (モーターアシスト表示) 70
AT (オートマチックトランスミッション) 159
AUX (オーディオ外部入力) 端子 146
AV入力端子 1

C

CHRG (チャージメーター表示) 70
CRUISE CONTROL
  (クルーズ コントロール) 170

E

ECOガイド 73
ECOスコア 7
ECOドライブバー 74
ECONモードスイッチ 169
ECONモード表示灯 65
ETC車載器 .... **別冊**
EPS警告灯 61,240

L

Lモード 164

H

HMMF (Hondaマルチマチックフルード)
  メンテナンス表示灯 165
Honda IMAシステム 8
Hondaインターナビシステム .... **別冊**
Hondaスマートキー 86,89
  Hondaスマートキーシステム警告灯 58
  Hondaスマートキー電池消耗警告 67
  Hondaスマートキー持ち去り警告 104
  エンジンスイッチ 102
  電池交換のしかた 213

I

ISOFIX 48
IMAシステム警告灯 61,240
IMAバッテリー残量表示 70

M

MIST 107
M (7速マニュアルシフトモード) 表示灯 161

N

NORMALモードスイッチ 169
NORMALモード表示灯 65

P

PGM-FI警告灯 57,239

S

SEL/RESETスイッチ 71
SPORTモードスイッチ 169
SPORTモード表示灯 65
SRSエアバッグ 32
  エアバッグシステム警告灯 40,59

U

USBジャック 122

V

VSA (ビークルスタビリティアシスト) 173
  VSA警告灯 60,173
  VSA OFF警告灯 60,174

W

W（ワット）数 252

ア

アイボルト 222,245
アクアクリーンミラー 113
アクセサリー 190
アクセサリーソケット 122,227
アクティブヘッドレスト 117
安全に関する表示 23
安全のための確認事項 27
アンチロックブレーキシステム（ABS） 177
　ABS警告灯 59,177
アンテナ 3
アンビエントメーター 6

イ

一酸化炭素の危険性 55
イモビライザーシステム 97
　イモビライザーシステム表示灯 63
イルミネーションコントロール 110
インフォメーションスイッチ 71
インフォメーション表示灯 64

ウ

ウィンカースイッチ（方向指示器） 105
ウィンドーの開閉 99
ウィンドウォッシャー
　ウィンドウォッシャー液の補給 196
　ウィンドウォッシャースイッチ 107
ウェアインジケーター 209
運転
　エンジンの始動 155
　シフト操作 160,167
　ブレーキ操作 175

エ

エアコン 125
　エアクリーンフィルター 215
　エアコンの使いかた 126
　窓の曇りや霜の取りかた 127
　モード切り換えスイッチ 126
エアバッグ 32
　SRSエアバッグ 32
　エアバッグシステム警告灯/表示灯 40
　エアバッグシステム故障診断記録装置 23
　エアバッグのお手入れ 42
　サイドエアバッグ 35
　サイドエアバッグ自動停止システム 37
　サイドカーテンエアバッグ 38
エコアシストシステム 6
エネルギーフロー表示 71,76
エンジンオイル
　推奨エンジンオイル 196,252
　油圧警告灯 57,238
エンジンスイッチ 101,102
　エンジンスイッチ警告ブザー 103
エンジンの始動 155
　エンジンが始動しない 232
　ジャンプスタート 234
エンジン冷却水 252

オ

追越合図（パッシング） 105
応急修理剤（タイヤパンク） 223
オーディオ装置 131
オーディオリモートコントロールスイッチ 147
オートアイドルストップシステム 180,183
　オートアイドルストップ表示灯 64,180,183
オートエアコン 126
オーバーヒート 237
オドメーター 71,72
温度センサー 72

カ

カーゴスペース照明灯 119
カーゴフロアボックス 124
カードホルダー 120
外気温表示 71,72
鍵（かぎ） 86
カスタマイズ機能 77
ガソリン 187,251
カップホルダー 121

索引

キ

キー
- Hondaスマートキー ... 86,89
- キーが [0] から [I] に回らない ... 21
- キーが [I] から [0] に回らない ... 21
- キー閉じ込み防止装置 ... 93
- キーナンバータグ ... 88
- キーの種類と機能 ... 86
- キーレスエントリー ... 90
- キーレスエントリーでドアが開かない ... 21
- 電池交換のしかた ... 213
- 内蔵キー ... 87,233
- リトラクタブルキー ... 86,87

キー閉じ込み防止装置 ... 93
キーナンバータグ ... 88
キーレスエントリー ... 90
- 電池交換のしかた ... 213

キックダウン ... 159
給油 ... 187
- 給油のしかた ... 187
- 指定燃料 ... 187,251
- 燃料計 ... 69
- 燃料残量警告灯 ... 59

ク

空気圧 ... 252
クラッチ液 ... 252
クリープ現象 ... 159
クルーズコントロール ... 170
- クルーズコントロール表示灯 ... 65
- クルーズメイン表示灯 ... 65

車の改造 ... 190
グローブボックス ... 120

ケ

経過時間表示 ... 71,75
計器 ... 56
警告灯 ... 57
- ABS警告灯 ... 59,177
- EPS警告灯 ... 61,240
- Hondaスマートキーシステム警告灯 ... 58
- IMAシステム警告灯 ... 61,240
- PGM-FI警告灯 ... 57,239
- VSA警告灯 ... 60
- VSA OFF警告灯 ... 60
- エアバッグシステム警告灯 ... 59
- 高水温警告灯 ... 60
- シートベルト非着用警告灯 ... 58
- 充電警告灯 ... 58,238
- ドア/テールゲート開閉警告灯 ... 61
- トランスミッション警告灯 ... 58
- 燃料残量警告灯 ... 59
- ブレーキ警告灯 ... 57,239
- 油圧警告灯 ... 57,238

警告灯の点灯/点滅 ... 238
けん引 ... 245

コ

交換
- カーゴスペース照明灯電球 ... 204
- 後退灯電球 ... 201
- 後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球 ... 201
- 室内灯電球 ... 204
- 車幅灯電球 ... 198
- 制動灯/尾灯電球 ... 201
- 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球 ... 199
- 側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球 ... 201
- ドア開閉灯電球 ... 204
- ハイマウントストップランプ電球 ... 203
- 番号灯電球 ... 203
- フォグライト電球 ... 199
- ヘッドライト電球 ... 197
- ワイパーブレードラバー ... 205

工具 ... 222
高水温警告灯 ... 60
航続可能距離表示 ... 71,75
後退灯 ... 201
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯 ... 201

サ

サービス診断記録装置 23
　データの開示について 23
サイドエアバッグ 35
　サイドエアバッグ自動停止システム 37
　サイドエアバッグ自動停止表示灯 41,63
サイドカーテンエアバッグ 38
サンバイザー 4

シ

シートの調節 114
　フロントシート 114
シートヒーター 123
シートベルト 28
　シートベルトの着用 30
　シートベルトの点検 31
　シートベルト非着用警告灯 58
　シートベルトプリテンショナー 29
　シートベルトリマインダー 29
　妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた 31
時刻の設定 84
室内装備品 120
室内灯 118
指定燃料 187,251
シフトインジケーター 161
シフトインジケーター/M（7速マニュアルシフトモード）表示灯 161
シフトスイッチ 163
シフト操作 160,167
車外の清掃 218
ジャッキ 222,230
ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ） 222,230
ジャッキハンドルバー 222,230
車内の清掃 217
車幅灯 198
ジャンプスタート 234
充電警告灯 58,238
瞬間燃費表示 70
仕様 251
衝撃感知ドアロック解除システム 95

ス

スイッチ操作
　ECONモードスイッチ 169
　NORMALモードスイッチ 169
　SPORTモードスイッチ 169
　イルミネーションコントロールノブ 110
　エンジンスイッチ 101,102
　フォグライトスイッチ 106
　ヘッドライトレベリングダイヤル 109
　方向指示器（ウィンカースイッチ） 105
　ライトスイッチ 105
　リヤデフロスタースイッチ 111
　ワイパー/ウォッシャー 107
スカイルーフ 4
ステアリング 111
スノータイヤ 211
スパークプラグ 251
スピードメーター 69

セ

清掃 217
制動灯 201
セキュリティシステム 97
　イモビライザーシステム 97
　セキュリティアラームシステム 97
セレクトポジション 160
　セレクトポジション表示灯 161
セレクトレバー
　セレクトレバーが動かない 236
　セレクトレバーの操作 161
センターアッパーボックス 2
センターロアボックス 2
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯 199

ソ

側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球 201

タ

タイヤ 208
　ウェアインジケーター 209
　指定空気圧 209,252
　タイヤの点検 208
　タイヤのローテーション 210
　タイヤパンク応急修理キット 223
　冬期のタイヤ 211
　パンク 223
タイヤチェーン 211
タコメーター 69

チ

チェーン 211
チェンジレバーの操作 167
チャージメーター表示（CHRG） 70
チャイルドシート 43
　ジュニアシート 53
　乳児のチャイルドシート 44
　幼児のチャイルドシート 45
駐停車操作 179

テ

低水温表示灯 62
テールゲートの開閉 96
　テールゲートが開かないとき 249
　ドア/テールゲート開閉警告灯 27,61
デフロスター 127
　リヤデフロスタースイッチ 111
点火プラグ 251
電子制御ブレーキアシスト 178
電池交換 213

ト

ドア開閉灯 204
ドアの施錠と解錠 86
　Hondaスマートキー 86
　キー閉じ込み防止装置 93
　キーナンバータグ 88
　キーの種類と機能 86
　キーレスエントリー 90
　キーレスエントリーでドアが開かない 21
　車外でのドアの施錠/解錠 90
　車内での施錠/解錠 94
　ドア/テールゲート開閉警告灯 27,61
　リトラクタブルキー 86,87
ドアミラー 112
冬期のタイヤ 211
　スノータイヤ 211
　タイヤチェーン 211
時計 84
トップテザーアンカレッジ 52
トップテザーストラップ 52
ドライバー 222
トラブルシューティング
　運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 22
　エンジンが始動しない 232
　オーバーヒートした 237
　キーが 0 から I に回らない 21
　キーが I から 0 に回らない 21
　キーレスエントリーでドアが開かない 21
　警告灯が点灯/点滅した 238
　けん引してもらいたい 245
　ジャンプスタートしたい 234
　セレクトレバーが動かない 236
　走行するとブザーが鳴る 22
　ハイオクガソリンは使える？ 22
　パンクした 223
　ヒューズが切れた 241
　ブレーキを踏むと音がする 22
　ブレーキを踏むと振動する 21
トランスミッション警告灯 58
トランスミッションフルード 252
トリップメーター 72

ナ

内蔵キー 87,233

ネ

燃料 187,251
- 燃料計 69
- 燃料残量警告灯 59

ハ

パーキングブレーキ 175
排気ガスの危険性 55
ハイビーム 105
- 電球の交換 198
- ハイビーム表示灯 62

ハイマウントストップランプ 203
ハザードスイッチ 表紙ウラ
発炎筒 222
パッシング 105
発進補助ブレーキ機能 156
バッテリー
- ジャンプスタート 234
- 充電警告灯 58
- 容量 251

発話スイッチ 128
バニティミラー 4
パワーウィンドーの開閉 99
パンク 223
番号灯 203
ハンドル 111
ハンドル位置調節レバー 111
ハンドルロック 101,103
汎用型ISOFIXチャイルドシート 48

ヒ

ヒーテッドドアミラー 113
非常点滅表示灯スイッチ 表紙ウラ
尾灯 201
ヒューズ 241
- ヒューズの設置場所 241,242
- ヒューズの点検と交換 244

表示灯 62
- ECONモード表示灯 65
- NORMALモード表示灯 65
- SPORTモード表示灯 65
- イモビライザーシステム表示灯 63
- インフォメーション表示灯 64
- オートアイドルストップ表示灯 64,180,183
- クルーズコントロール表示灯 65
- クルーズメイン表示灯 65
- サイドエアバッグ自動停止表示灯 41,63
- シフトアップ/ダウン表示灯 65,168
- シフトインジケーター/M（7速マニュアルシフトモード）表示灯 161
- セキュリティアラームシステム作動表示灯 64
- セレクトポジション表示灯 161
- 低水温表示灯 62
- ハイビーム表示灯 62
- フォグライト点灯表示灯 62
- 方向指示器表示灯 62
- ライト点灯表示灯 62

ヒルスタートアシスト 157

フ

ブースターケーブル 234
フォグライト
- 電球の交換 199
- フォグライトスイッチ 106
- フォグライト点灯表示灯 62

ブザー
- 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 22
- 走行するとブザーが鳴る 22

フューエルリッドが解錠できないとき 248
フューエルリッドの開けかた 187
ブレーキシステム 175
- ABS（アンチロックブレーキシステム） 177
- 電子制御ブレーキアシスト 178
- パーキングブレーキ 175
- フットブレーキ 176
- ブレーキ警告灯 57,239
- ブレーキを踏むと音がする 22
- ブレーキを踏むと振動する 21

ブレーキフルード 252
- ブレーキ警告灯 57,239

フロントシート 114
- フロントシートヘッドレスト 117

ヘ

平均車速表示 71,76
平均燃費表示 71,75
平均燃費履歴表示 71,75
ヘッドライト 105
　追越合図（パッシング） 105
　電球の交換 197
　ハイビーム 105
　ハイビーム表示灯 62
　ライト点灯表示灯 62
　ロービーム 105
ヘッドライトレベリングダイヤル 109
ヘッドレスト
　フロントシート 117

ホ

ホイールサイズ 252
ホイールナットレンチ
　（ジャッキハンドル） 222,230
方向指示器（ウィンカースイッチ） 105
　方向指示器表示灯 62
ホーンスイッチ .... **表紙ウラ**
ボンネット内のメンテナンス 194
　ウィンドウォッシャー液の補給 196
　推奨エンジンオイル 196,252
　ボンネット内のメンテナンス項目 194
　ボンネットを開ける 195
　冷却水の点検と補給 237

マ

マイナスドライバー 222
マスタードアロックスイッチ 94,187
マップランプ 119
マルチインフォメーションディスプレイ 71
　警告メッセージ 66

ミ

ミラー 112
　ドアミラー 112
　バニティミラー 4
　ルームミラー 112

メ

メーター 69
　IMAバッテリー残量表示 70
　瞬間燃費表示 70
　スピードメーター 69
　タコメーター 69
　チャージメーター表示（CHRG） 70
　燃料計 69
　マルチインフォメーションディスプレイ 71
　モーターアシスト表示（ASST） 70
メンテナンス 191
　清掃 217
　タイヤの点検と整備 208
　ボンネット内のメンテナンス 194
　メンテナンスに関する注意事項 193
　メンテナンスを安全に行うために 193
　ライト類の点検と整備 197
　リトラクタブルキー/Hondaスマートキー ... 212
　ワイパーブレードラバーの点検と整備 205

モ

モーターアシスト表示（ASST） 70
モード切り換え（エアコン） 126

ユ

油圧警告灯 57,238
有料道路自動料金支払いシステム
　（ETC）車載器 .... **別冊**

索引

ラ

ライトスイッチ 105
追越合図（パッシング） 105
ハイビーム 105
ハイビーム表示灯 62
ライト点灯表示灯 62
ロービーム 105
ライト類の点検と整備 197
カーゴスペース照明灯電球 204
後退灯電球 201
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球 201
室内灯電球 204
車幅灯電球 198
制動灯/尾灯電球 201
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球 199
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球 201
ドア開閉灯電球 204
ハイマウントストップランプ電球 203
番号灯電球 203
フォグライト電球 199
ヘッドライト電球 197
ラジエーター 237

リ

リザーブタンク 237
リトラクタブルキー 86,87
リムサイズ 252
リヤカメラシステム 148
リヤシート 117
リヤデフロスタースイッチ 111

ル

ルームミラー 112

レ

冷却水 237,252
オーバーヒート 237
高水温警告灯 60
低水温表示灯 62
補給 237

ロ

ロービーム 105
電球の交換 197
ロアアンカレッジ 51

ワ

ワイパー/ウォッシャー 107
ワイパーブレードラバー 205

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。
Honda ホームページ　http://www.honda.co.jp/
（Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください）

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。
http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

イイフレアイオ
フリーダイヤル　0120-112010

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町８－１

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名

CR-Z

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。
最新の Honda 販売店情報は、携帯電話からも検索できます。
（検索方法は巻末をご覧ください）

Honda ホームページにある検索ボックスに入力してください。

取説　検 索

http://www.honda.co.jp/manual/
クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。

30SZT600
00X30-SZT-6002

Ⓝ Ⓚ 3000.2010.08.A
ⓒ2010 本田技研工業株式会社

オーナーズマニュアル
Ⓙ